

令和3年度 厚生労働省 介護の仕事魅力発信等事業 ターゲット別魅力発信事業（若年層向け）実施概要書

2022年4月30日

一般社団法人 FACE to FUKUSHI

1. 介護のしごとと魅力発信等事業

ターゲット別魅力発信事業（若年層向け）

2. 各事業詳細

(1)福祉教育事業

(2)裾野拡大事業

(3)介護の仕事研究セミナー事業

(4)介護就職マッチング事業

3. 全体総括

1. 介護のしごとと魅力発信等事業

ターゲット別魅力発信事業（若年層向け）

2. 各事業詳細

(1)福祉教育事業

(2)裾野拡大事業

(3)介護の仕事研究セミナー事業

(4)介護就職マッチング事業

3. 全体総括

1. 介護のしごとと魅力発信等事業（若年層向け）の概要

（1）本事業の目的 | 介護のしごとと魅力発信等事業

事業の背景

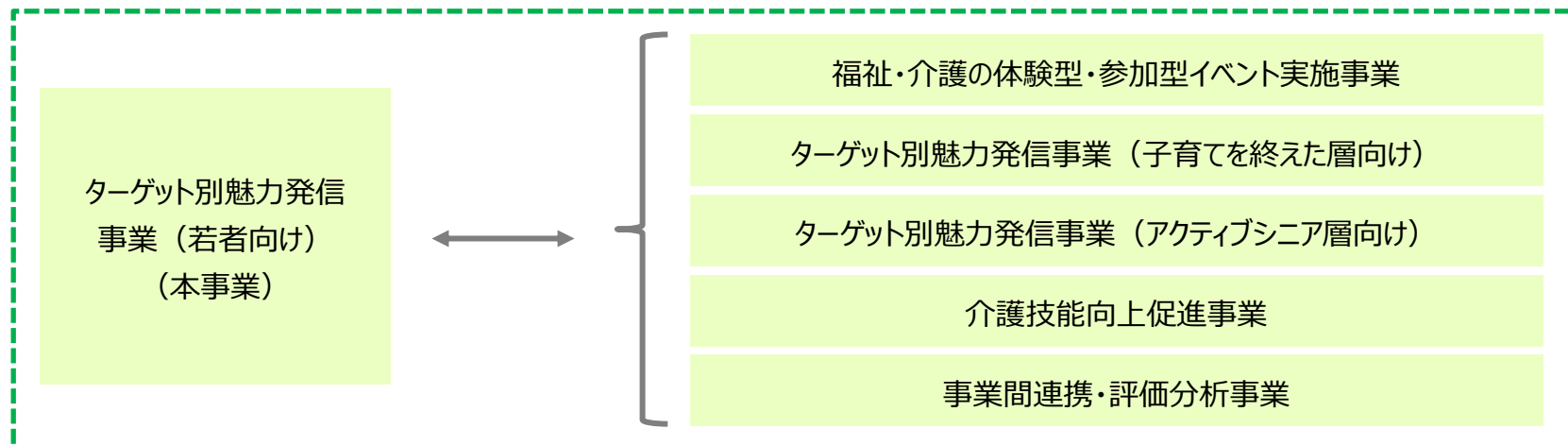
- 介護事業所では、人材の確保が喫緊の課題となっており、政府主導のもと、介護職員の処遇改善を推進するための施策が講じられている。
- しかしながら、介護分野の有効求人倍率は2021年9月時点で3.63倍と全産業平均（1.16倍）と比較して3倍以上高い水準である。

事業の目的

- 福祉・介護の仕事の魅力を伝え、福祉・介護に対して抱いているイメージを向上させるため、福祉・介護について理解を促進するための体験型・参加型イベントの開催や世代横断的な広報活動の展開を行い、福祉・介護分野への多様な人材の参入促進を図ることを目的とする。



ターゲット別魅力発信事業（若者向け）の位置付け



介護のしごとと魅力発信等事業

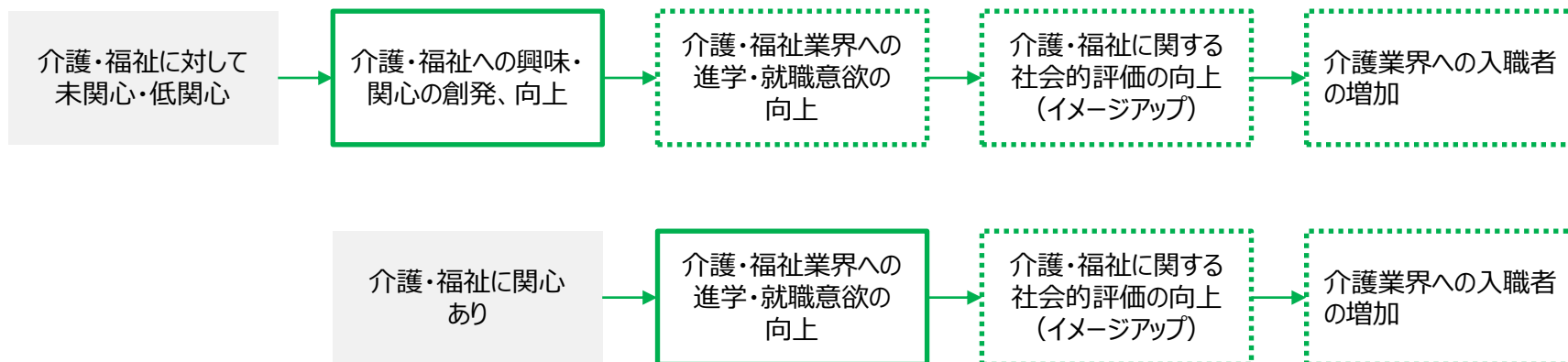
1. 介護のしごと魅力発信等事業（若年層向け）の概要

(1) 本事業の目的 | ターゲット別魅力発信事業（若年層向け）

本事業の目的

- ① 福祉の専門家が、学生の意識レベルに沿った福祉教育を実践することで、**福祉・介護に対する興味・関心を高める**
- ② 福祉・介護に興味を持っている層に対して、介護のリアルな魅力を伝えることで、**介護・福祉業界を進学・就職の選択肢とする**
- ③ 福祉・介護への就職意欲がある学生に対して社会福祉法人と**つながる機会を創出することによって、より深く福祉の魅力を知り、理想的な就職を実現させる**

中長期的な成果 本事業で期待する成果



1. 介護のしごとと魅力発信等事業（若年層向け）の概要

(2) 本事業のコンセプトと各事業の位置づけ

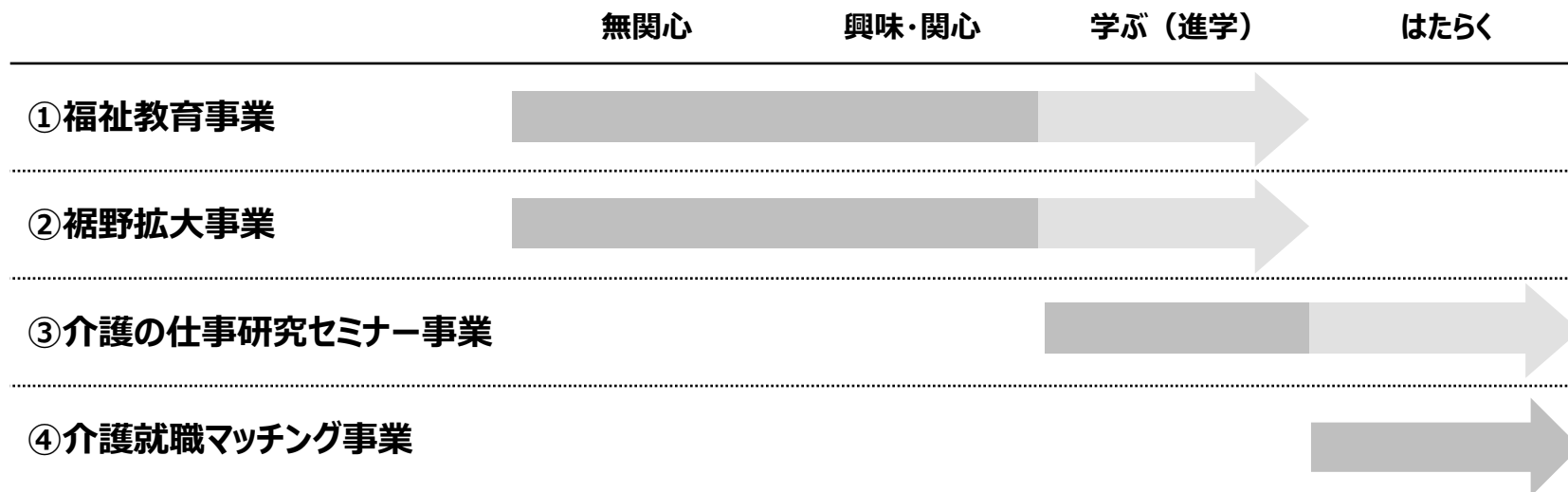
■ 本事業のコンセプト

- 従来の「あるべき論」や「常識」を押し付けるのではなく、若年層の共感を得やすい切り口でアプローチすることで、興味・関心を高めること
- 若年層の意欲・関心度合いに応じたアプローチを行うことで、全工程でサポートすること

■ 各事業の位置づけ

- 以下の図は、各事業がどのような段階の若年層をターゲットにしているのかと期待する効果を示している。

■ 主要な効果 ■ 副次的な効果



1. 介護のしごとと魅力発信等事業（若年層向け）の概要

(3) 各事業の目的と成果目標

✓ 各事業における目的と成果目標は以下のとおりである。

事業	目的	ターゲット	活動	事業の主な成果目標
福祉教育事業	日常と福祉・介護をつなげることにより、学生の福祉・介護に対するイメージを変容させ、興味・関心を高めることで福祉分野への進路を選択肢の一つとする	小中学生、高校生 教員	①出張授業 ②映像作成と映像の活用 ③教員及び福祉教育実践者のネットワーク構築	<ul style="list-style-type: none"> 小中学生、高校生の介護・福祉への関心が高まる 小中学生、高校生の介護・福祉分野への進学・就職意欲が高まる 教員が福祉教育を有益だと感じる
裾野拡大事業	福祉・介護分野への理解・関心が低い、あるいは乏しい学生に向けて福祉の魅力を発信することで、これからの福祉・介護分野の担い手となる多様な人材の発掘と参入促進を図る	大学生 専門学校生 (未関心・低関心)	①オンラインイベント ②オンラインセミナー ③マルチメディア展開による周知広報	<ul style="list-style-type: none"> 未関心・低関心の大学生・専門学校生の介護・福祉への関心が高まる 未関心・低関心の大学生・専門学校生の介護・福祉分野への就職意欲が高まる
介護の仕事研究セミナー事業	福祉・介護に関心のある学生に向けて、介護の魅力を発信することで、福祉・介護業界への就職意欲を高める	大学生 専門学校生 (福祉系・福祉に関心あり)	①ゲストスピーカーによる出張授業 ②業界研究セミナー ③オンデマンド動画の作成	<ul style="list-style-type: none"> 大学生・専門学校生の介護・福祉分野への就職意欲が高まる 大学生・専門学校生が介護・福祉分野の就職関連イベントに参加する
介護就職マッチング事業	法人・学生のニーズに沿った採用手法を開発し、介護・福祉に関心のある学生にアプローチすることで、福祉法人への就職までつなげていく	就活年次大学生 専門学校生 (福祉系・福祉に関心あり)	①学生のデータベース化 ②ダイレクト・リクルーティング型就職サイトの作成	<ul style="list-style-type: none"> サイト利用学生が法人との個別面談、会社説明会、選考等に参加する

1. 介護のしごとと魅力発信等事業（若年層向け）の概要

(4) 実施スケジュール

✓ 各事業の実施スケジュールは以下のとおりである。

実施事業	活動	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1. 福祉教育事業	出張授業	8エリアで実施											
	映像作成と映像の活用	動画作成										動画公開	
	教員及び福祉教育実践者のネットワーク構築	企画及び広報								勉強会実施			
企画委員会（事業1）			第1回		第2回		第3回				第4回		
2. 裾野拡大事業	オンラインイベント	企画・広報			全3回実施								
	オンラインゼミナール	企画・広報						全6回実施					
	マルチメディア展開による周知広報	SNS発信											
3. 介護の仕事研究セミナー事業	ゲストスピーカーによる出前講義	企画・広報・日程等の調整							全9回実施				
	業界研究セミナー	企画・広報							全4回実施				
	オンデマンド動画作成	サイト制作										動画公開	
4. 介護就職マッチング事業	ダイレクトリクルーティング型会就職サイトの開発	サイト制作及びモニター法人、学生の募集										動画公開	
企画委員会（事業2,3,4）			第1回		第2回				第3回			第4回	

1. 介護のしごとと魅力発信等事業（若年層向け）の概要

(5) 運営体制

✓ 本事業の運営体制は下記のとおりである。

事務局

事業統括

事業統括責任者
大原裕介
一般社団法人
FACE to FUKUSHI 共同代表



事務局長
岩本恭典
一般社団法人
FACE to FUKUSHI 事務局長



(1) 福祉教育

プロジェクト責任者
大原裕介
(一般社団法人FACE to FUKUSHI 共同代表)
プロジェクトマネージャー
萩原唯
(社会福祉法人ゆうゆう事務局)



(2) 裾野拡大

プロジェクト責任者
今津新之助
(一般社団法人FACE to FUKUSHI 理事)
プロジェクトマネージャー
高田亜希子
(株式会社ルーツ事務局)



(3) 介護の仕事研究セミナー

プロジェクト責任者
河内崇典
(一般社団法人FACE to FUKUSHI 共同代表)
プロジェクトマネージャー
岩本恭典
(一般社団法人FACE to FUKUSHI 事務局長)



(4) 介護就職マッチング

プロジェクト責任者
河内崇典
(一般社団法人FACE to FUKUSHI 共同代表)
プロジェクトマネージャー
岩本恭典
(一般社団法人FACE to FUKUSHI 事務局長)



企画委員会/連携団体

(1) 福祉教育

【企画委員】
野澤和弘(樟華学園大学副学長/一般社団法人スローコミュニケーション理事長)
原田正樹(日本福祉大学副学長/日本福祉教育・ボランティア学学会会長)
堀田聡子(慶應義塾大学教授)
築瀬達平(医療法人静光園白川病院 医療連携室長)
加藤恵(社会福祉法人半田市社会福祉協議会 半田市障がい者相談支援センター長)
坂野健一郎(社会福祉法人みんないきる 法人本部企画課長)
馬場拓也(社会福祉法人愛川舞寿会 常務理事)
井口啓太郎
(文部科学省 総合教育政策局 男女共同参画共生社会学習・安全課 障害者学習支援推進室 障害者学習支援部一係 係長)

【連携団体】
北海道担当: 北海道医療大学、社会福祉法人ゆうゆう
新潟担当: 新潟青陵大学、社会福祉法人新潟県社会福祉協議会、社会福祉法人みんないきる
千葉担当: 樟華学園大学
神奈川担当: 社会福祉法人愛川舞寿会、株式会社あひけあ、株式会社くるんとびー
愛知担当: 日本福祉大学、社会福祉法人半田市社会福祉協議会
大阪担当: NPO法人みらいず2
福岡担当: 大牟田市役所、介護サービス事業者協議会、大牟田市教育委員会
長崎担当: 社会福祉法人南高愛陽会

(2) 裾野拡大 (3) 介護の仕事研究セミナー (4) 介護就職マッチング

【企画委員】
・伊藤 新一郎
(日本ソーシャルワーク教育学校連盟 事務局長/北星学園大学 社会福祉学部 福祉計画学科 教授)
・午藤 潤子
(白梅学園大学 子ども学部 家族・地域支援学科 准教授)
・杉原 優子
(京都市介護福祉士会 理事/社会福祉法人リガーレ暮らしの架け橋 地域密着型特別養護老人ホーム 施設長)
・岩田 貞昭
(社会福祉法人南山城学園 法人本部 事務局企画広報 課長)
・菊池 龍之
(michinaru株式会社 代表取締役)

(2) 裾野拡大

【連携団体】
・社会福祉法人くらしのハーモニー(京都市宇治市)
・社会福祉法人愛陽会(長崎県諫早市)
・社会福祉法人福祉楽団(千葉県香取市)
・社会福祉法人南山城学園(京都市城陽市)
・社会福祉法人みねやま福祉会(京都市京丹後市)
・NPO法人みらいず2(大阪府大阪市)
・社会福祉法人武蔵会(東京都八王子市)
・社会福祉法人ゆうゆう(北海道当別町)
・社会福祉法人グループリガール(京都市京都市)

1. 介護のしごとと魅力発信等事業

ターゲット別魅力発信事業（若年層向け）

2. 各事業詳細

(1)福祉教育事業

(2)裾野拡大事業

(3)介護の仕事研究セミナー事業

(4)介護就職マッチング事業

3. 全体総括

2. 各事業詳細 (1)福祉教育事業

(1.1) 事業概要

■ 事業の目的

日常と福祉・介護をつなげることにより、学生の福祉・介護に対するイメージを変容させ、興味・関心を高めることで福祉分野への進路を選択肢の一つとする

■ ターゲット

小中学生、高校生、教員

■ 実施内容

1. 出張授業

小中高生に対して介護・福祉従事者や福祉を学ぶ大学生等が福祉教育を実施する。

2. 動画制作と活用

福祉教育に関心のある教員や保護者及び福祉教育関係者等に向けて、福祉教育で活用するための映像や関心のある教員等が新たに福祉教育に取り組む際の参考となる実践事例等をWEBサイトにて掲載する。

作成物：PR映像：2本、授業用映像：4本

3. 教員及び福祉教育実践者のネットワーク構築

福祉教育に関心のある教員等のネットワーク構築を目的に勉強会を行う。

■ 成果目標

次ページ以降の直接アウトカム、KPI参照

■ 成果測定の方法

アンケート、インタビュー、参加者数の測定

2. 各事業詳細 (1)福祉教育事業 (1.2) 事業成果の要約

✓ 本事業において以下の成果が得られた。

活動	No	KPI指標	目標	実績	詳細内容
出張授業	①	実施回数	50回	51回	全エリア合計
	②	参加学生数	5,000人	5,240人	
	③	満足度	80%	高校生：89.3% 中学生：87.4% 教師：92.8%	5段階評価で4以上の回答の割合
	④	介護・福祉への関心度合い	80%	高校生：81.3% 中学生：82.3% 教師：92.2%	授業後の介護・福祉への関心が5段階評価で4以上の回答の割合
	⑤	介護・福祉分野への進学・就職意欲	50%	高校生：20.8% 中学生：47.6%	授業後の介護・福祉分野への進学・就職意欲が5段階評価中4以上の回答の割合
	⑥	福祉教育の継続意向	70%	96.5%	5段階評価で4以上の回答の割合
映像作成と映像の活用	⑦	PV数	1,500	674	動画の総PV数
	⑧	サイト教材活用への関心	80%	96%	「活用したい」、「活用を検討したい」と回答した割合
教員及び福祉教育実践者のネットワーク構築	⑨	福祉教育の有益性	80%	100%	5段階評価で4以上の回答の割合

2. 各事業詳細 (1)福祉教育事業

(1.3) 実施スケジュール

✓ 本事業の実施スケジュールは下記の通りである。

活動	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1. 出張授業	▶										
北海道	▶										
新潟県								▶	▶	▶	
千葉県					▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶
神奈川県			▶					▶	▶	▶	▶
愛知県							▶				▶
大阪府			▶					▶	▶	▶	▶
福岡県					▶	▶	▶				
長崎県					▶						▶
2. 映像作成と映像の活用		教員ヒアリング			動画撮影及び編集					動画公開	
3. 教員及び福祉教育実践者のネットワーク構築						企画及び広報				勉強会実施	
4. 企画委員会		第1回 6/13		第2回 8/16		第3回 10/22				第4回 2/9	

2. 各事業詳細 (1)福祉教育事業

(1.4) 成果目標 | 活動と成果指標

【ターゲット】 学生（小中学校、高校）、教員

✓ 直接アウトカムが本事業の今年度を目指すべき成果である。



2. 各事業詳細 (1)福祉教育事業

(1.4) 成果目標 | KPI指標と測定方法

✓ アウトカムを計測するためにKPI指標とデータの収集法を下記の通り定めた。

活動	ターゲット	アウトカム	KPI指標	目標	データ収集法
出張授業	小中学生、高校生	介護・福祉への関心が高まる	授業後の介護・福祉への関心が授業前と比較して高まったかどうか	70%以上 (5段階評価の4以上の割合)	授業後アンケート
		介護・福祉分野への進学・就職意欲が高まる	授業後の介護・福祉分野への進学・就職意欲が授業前と比較して高まったかどうか		
	小中学校及び高校の教員	介護・福祉への関心が高まる	授業後の介護・福祉への関心が授業前と比較して高まったかどうか		
		福祉教育を継続したいと思う	福祉教育を継続したいかどうか		
映像作成と映像の活用	小中学生、高校生	福祉教育の普及が進む	PV数 サイト・教材活用・内容・実践等に関する問い合わせ	1,500件以上 10件以上	サイト内データの確認 問い合わせ件数の計測・記録
	小中学校及び高校の教員		サイト・教材活用に関心を寄せたかどうか	70%以上 (5段階評価の4以上の割合)	
教員及び福祉教育実践者のネットワーク構築	小中学校及び高校の教員	介護・福祉への関心が高まる	勉強会後の介護・福祉への関心が勉強前と比較して高まったかどうか		70%以上 (5段階評価の4以上の割合)
		福祉教育は有益だと思う	福祉教育は有益だと思うかどうか		

2. 各事業詳細 (1)福祉教育事業

(1.5) 実施内容 | ①出張授業 | 実施校一覧

- ✓ 各地域の実施実績は下記の通りである。
- ✓ 実施校の目標50回に対し実績**51**、参加人数の目標5,000人に対し実績**5,240**人である。

都道府県	実施校数	実施回数	参加人数
北海道	8校	11回	1,484名
新潟県	3校	4回	103名
千葉県	8校	10回	514名
神奈川県	8校	9回	1,468名
愛知県	4校	5回	633名
大阪府	5校	6回	437名
福岡県	5校	5回	530名
長崎県	2校	2回	71名
総計	43校	51回/50回 (目標)	5,240名/5,000名 (目標)

2. 各事業詳細 (1)福祉教育事業

(1.5) 実施内容 | ①出張授業 | 各地域の実施内容 (北海道)

✓ 北海道での実施内容は下記の通りである。

■ 実施テーマ

- ① 社会のリアルとわたし
- ② 当事者のリアル
- ③ 介護・福祉を学ぶ大学生のリアル

■ 実施事業者

北海道医療大学
社会福祉法人ゆうゆう



実施テーマ	実施内容
①社会のリアルとわたし	人口減少社会のこれからのイメージを伝えた上で、地域共生社会の担い手として社会福祉法人等が行っている取り組みをはじめ、障害者や認知症の方が活躍しているケースや福祉的な考え方を伝えることで介護・福祉の魅力や可能性を伝える。
②当事者のリアル	発達障害や認知症等の当事者の方と支援者の方が、その方のストーリーと支援者の関わり等を伝えることでより身近に介護・福祉の世界を感じてもらい、介護・福祉の仕事の内容や役割・可能性をより具体的にイメージしてもらう。
③介護・福祉を学ぶ大学生のリアル	介護・福祉等を学ぶ大学生が現在の進路を選んだ経緯や介護・福祉のどのような点に魅力を感じているのかなどを伝えることで身近なロールモデルとして大学入学後等のイメージを持ってもらい、進路・進学の際の参考にしてもらう。

2. 各事業詳細 (1)福祉教育事業

(1.5) 実施内容 | ①出張授業 | 実施校一覧 (北海道)

- ✓ 北海道の実施校は下記の通りである。
- ✓ 8校を対象に13回授業を実施した。参加人数は、のべ1,484名であった。

No	実施校	実施方法	実施回数	実施日程及び実施テーマ			参加人数
				①	②	③	
1	市立札幌開成中等教育学校 (札幌市)	対面	1回	5/14			160名
2	市立札幌平岸高等学校 (札幌市)	対面	3回	6/15	6/22	6/29	960名
3	札幌市立あいの里東小学校 (札幌市)	オンライン	1回	7/12			80名
4	札幌新陽高等学校 (札幌市)	オンライン	2回	8/20		8/20	120名
5	北海道医療大学 (石狩郡)	対面	1回	9/26			20名
6	北海道当別高等学校 (石狩郡)	対面	3回	11/9・10・11			64名
7	北海道旭川東高等学校 (旭川市)	対面	1回	12/8			13名
8	北海道登別明日中等教育学校 (登別市)	対面	1回	2/7			67名
合計			13回				1,484名

2. 各事業詳細 (1)福祉教育事業

(1.5) 実施内容 | ①出張授業 | 各地域の実施内容 (新潟県)

✓ 新潟県での実施内容は下記の通りである。

■ 実施テーマ

- ① 認知症の方や障害のある方との対話を通じた当事者のリアル (小・中学校向け)

■ 実施事業者

新潟青陵大学
社会福祉法人新潟社会福祉協議会
社会福祉法人みんなでいきる



実施テーマ	実施内容
①認知症の方や障害のある方との対話を通じた当事者のリアル	イメージではなく、直接認知症の方や障害のある方およびその支援者との対話を通じて、福祉の仕事の基本的理解と介護や福祉の仕事の魅力を伝える。魅力を伝えた上で、自身の日常生活における福祉の接点は何かを考えてもらうワークを行う。

2. 各事業詳細 (1)福祉教育事業

(1.5) 実施内容 | ①出張授業 | 実施校一覧 (新潟県)

- ✓ 新潟県の実施校は下記の通りである。
- ✓ 3校を対象に4回授業を実施した。参加人数は、のべ103名であった。

No	実施校	実施方法	実施回数	実施日程及び実施テーマ	参加人数
				①	
1	阿賀野市立京ヶ瀬小学校 (阿賀野市)	対面	1回	1/25	50名
2	上越市立上杉中学校 (上越市)	対面	2回	1/27,2/15	24名
3	柏崎市立鏡が沖中学校 (柏崎市)	対面	1回	1/13	29名
合計			4回		103名

2. 各事業詳細 (1)福祉教育事業

(1.5) 実施内容 | ①出張授業 | 各地域の実施内容 (千葉県)

✓ 千葉県での実施内容は下記の通りである。

■ 実施テーマ

① 社会のリアルとわたし

■ 実施事業者

植草学園大学



実施テーマ	実施内容
① 社会のリアルとわたし	人口減少社会のこれからのイメージを伝えた上で、地域共生社会の担い手として全国様々な社会福祉法人等が行っている取り組みをはじめ、障害者や認知症の方が活躍しているケースや福祉の考え方を伝えることで介護・福祉の魅力や可能性を伝えていく。

2. 各事業詳細 (1)福祉教育事業

(1.5) 実施内容 | ①出張授業 | 実施校一覧 (千葉県)

- ✓ 千葉県の実施校は下記の通りである。
- ✓ 8校を対象に10回授業を実施した。参加人数は、のべ514名であった。

No	実施校	実施方法	実施回数	実施日程及び実施テーマ	参加人数
				①	
1	千葉県立四街道北高等学校 (四街道市)	対面	2回	9/14,28	34名
2	千葉県立佐倉西高等学校 (佐倉市)	対面	1回	9/16	20名
3	千葉県立千葉女子高等学校 (千葉市)	対面	1回	11/20	35名
4	一宮町立一宮中学校 (一宮町)	対面	1回	12/2	91名
5	江田島市立江田島中学校 (広島県江田島市)	オンライン	2回	12/10	86名
6	浦安市立堀江中学校 (浦安市)	対面	1回	1/25	32名
7	植草大学附属高等学校 (千葉市)	対面	1回	2/17	60名
8	千葉市立末広中学校 (千葉市)	オンライン	1回	3/15	156名
合計			10回		514名

2. 各事業詳細 (1)福祉教育事業

(1.5) 実施内容 | ①出張授業 | 各地域の実施内容 (神奈川県)

✓ 神奈川県での実施内容は下記の通りである。

■ 実施テーマ

- ① クリエイティブな介護実践による介護のリアル

■ 実施事業者

社会福祉法人愛川舜寿会
株式会社あおいけあ
株式会社ぐるんとびー



実施テーマ	実施内容
①クリエイティブな介護実践による介護のリアル	先駆的でクリエイティブな介護の取り組みや認知症や看取りケアなど介護のリアルを複数の介護事業所と連携して実施していく。

2. 各事業詳細 (1)福祉教育事業

(1.5) 実施内容 | ①出張授業 | 実施校一覧 (神奈川県)

- ✓ 神奈川県の実施校は下記の通りである。
- ✓ 8校を対象に9回授業を実施した。参加人数は、のべ1,468名であった。

No	実施校	実施方法	実施回数	実施日程及び実施テーマ	参加人数
				①	
1	神奈川県立横須賀南高等学校 (横須賀市)	対面	1回	7/12-15	78名
2	千葉県立松戸向陽高等学校 (松戸市)	対面	1回	7/30	33名
3	神奈川県立二俣川看護福祉高等学校 (横浜市)	対面	2回	10/12,21	295名
4	川崎市立高津高等学校 (川崎市)	対面	1回	12/2	280名
5	神奈川県立座間高等学校 (座間市)	対面	1回	12/21	275名
6	藤沢市立鵜沼中学校 (藤沢市)	対面	1回	2/22	246名
7	神奈川県立津久井高等学校 (相模原市)	対面	1回	3/22	50名
8	愛川町立愛川中原中学校 (愛川町)	オンライン	1回	3/24	211名
合計			9回		1,468名

2. 各事業詳細 (1)福祉教育事業

(1.5) 実施内容 | ①出張授業 | 各地域の実施内容 (愛知県)

✓ 愛知県での実施内容は下記の通りである。

■ 実施テーマ

- ① 当事者から見た地域のリアル
- ② 生きづらさを抱える子どもたちのリアル
- ③ 当事者を取り巻く関係者・機関のリアル

■ 実施事業者

日本福祉大学
市内福祉事業所
社会福祉法人半田市社会福祉協議会



実施テーマ	実施内容
①当事者から見た地域のリアル	地域で暮らす高齢者や障害者等の方の暮らしを知ることで、当事者のリアルに触れ、すべての人が安心して暮らすことのできるまちを考えるプログラムを実施します。 「高齢者」「障害者」という「特別な人」として出会うのではなく、地域で暮らす「人」として出会うことで、互いを知り、授業後も、お互いのことを気にかけてあうことのできる関係性を育みます。
②生きづらさを抱える子どもたちのリアル	一般的に「見えにくい」障害がある、または、さまざまな事情を抱える子どもたちのリアルに触れ、子どもたちが「自分ごと」と捉えることのできるプログラムを検討、実施し、相手の心に寄り添う心を育みます。
③当事者を取り巻く関係者・機関のリアル	当事者と関わりを持つ関係者や機関、また、それを目指す学生のリアルに触れ、福祉や介護へ興味を持つ、または、今後のキャリアを考える中で「ふくし」の視点を持つことができる人材を育成します。

2. 各事業詳細 (1)福祉教育事業

(1.5) 実施内容 | ①出張授業 | 実施校一覧 (愛知県)

- ✓ 愛知県の実施校は下記の通りである。
- ✓ 4校を対象に5回授業を実施した。参加人数は、のべ633名であった。

No	実施校	実施方法	実施回数	実施日程及び実施テーマ			参加人数
				①	②	③	
1	半田市立さくら小学校 (半田市)	対面	2回	11/1,8			68名
2	半田市立亀崎中学校 (半田市)	対面	1回	11/18			151名
3	愛知県立半田東高等学校 (半田市)	対面	1回		3/16		240名
4	愛知県立半田農業高等学校 (半田市)	対面	1回			3/17	180名
合計			5回				633名

2. 各事業詳細 (1)福祉教育事業

(1.5) 実施内容 | ①出張授業 | 各地域の実施内容 (大阪府)

✓ 大阪府での実施内容は下記の通りである。

■ 実施テーマ

① 介護・福祉に関わる大学生のリアル

■ 実施事業者

NPO法人み・らいず2



実施テーマ	実施内容
①介護・福祉に関わる大学生のリアル	ケアや支援の現場で活動する様々な大学生が、自分自身の話や介護・福祉の魅力を伝えることで身近なロールモデルとなり、小・中・高校生に福祉・介護の魅力を伝える演者としてのトレーニングを積み、中高生向けのプレゼンテーションをつくりあげる。

2. 各事業詳細 (1)福祉教育事業

(1.5) 実施内容 | ①出張授業 | 実施校一覧 (大阪府)

- ✓ 大阪府の実施校は下記の通りである。
- ✓ 5校を対象に6回授業を実施した。参加人数は、のべ437名であった。

No	実施校	実施方法	実施回数	実施日程及び実施テーマ	参加人数
				①	
1	城星学園高等学校 (大阪市)	対面	2回	6/11,18	20名
2	大阪府立成美高等学校 (堺市)	対面	1回	12/3	27名
3	門真市立第五中学校 (門真市)	対面	1回	1/28	150名
4	八尾市立龍華中学校 (八尾市)	対面	1回	2/4	200名
5	常翔学園高等学校 (大阪市)	対面	1回	3/14	40名
合計			6回		437名

2. 各事業詳細 (1)福祉教育事業

(1.5) 実施内容 | ①出張授業 | 各地域の実施内容 (福岡県)

✓ 福岡県での実施内容は下記の通りである。

■ 実施テーマ

- ① 認知症のリアル (SOS模擬訓練)
- ② 認知症のリアル (ペアショッピング)
- ③ 介護を支える人たちのリアル
- ④ 福祉とわたしのリアル

■ 実施事業者

大牟田市役所
介護事業所サービス連絡協議会
大牟田市教育委員会



実施テーマ	実施内容
①認知症のリアル (SOS模擬訓練)	訓練は一つの小学校区を単位として行い、住民や介護サービス事業所、小・中学生が参加する。訓練を通して、「大変な人」という高齢者のイメージから、地域住民とともに認知症の人とともに生きるまちづくりについて考える。
②認知症のリアル (ペアショッピング)	中・高校生が認知症の人や身体が不自由な人たちと一緒に街歩きを行う。地域の中で高齢者が置かれている状況を知り、「だれもが過ごしやすいまちづくり」に取り組む。学生4-6名のグループに1-2名の高齢者の方が加わり、一緒に商業施設や公共施設を訪れ、それらの場所の利便性について高齢者の視点から考える。
③介護を支える人たちのリアル	当事者にかかわる介護士の仕事はもちろん、食事を準備する調理師やハード面からバリアフリーの設計などを通して当事者の生活をささえる仕事をしている人たちの仕事や仕事に向き合う思いなどを聞くことから中学生が学ぶ。
④福祉とわたしのリアル	近隣の福祉コースを持つ高校や福祉関係の学部・コースを持つ大学から学生に来てもらい、高校や大学で学習している内容を通して福祉についての概要を学ぶ。また学生たちがそのコースや学部を選んで進学した理由など聞くことを通して、自分の進路を考えることについていきます。感染状況次第では、オープンスクールなど、高校や大学に行くことも考える。

2. 各事業詳細 (1)福祉教育事業

(1.5) 実施内容 | ①出張授業 | 実施校一覧 (福岡県)

- ✓ 福岡県の実施状況は下記の通りである。
- ✓ 5校を対象に5回授業を実施した。参加人数は、のべ530名であった。

No	実施校	実施方法	実施回数	実施日程及び実施テーマ			参加人数
				①	②	③	
1	大牟田市立甘木中学校 (大牟田市)	対面	1回		9/9	9/8	90名
2	大牟田市立宅峰中学校 (大牟田市)	対面	1回		9/30	9/30	170名
3	大牟田市立宮原中学校 (大牟田市)	対面	1回	10/26			102名
4	大牟田市立白光中学校 (大牟田市)	対面	1回		11/9,10	11/9,10	84名
5	大牟田市立歴木中学校 (大牟田市)	対面	1回	11/12	11/12		84名
合計			5回				530名

2. 各事業詳細 (1)福祉教育事業

(1.5) 実施内容 | ①出張授業 | 各地域の実施内容 (長崎県)

✓ 長崎県での実施内容は下記の通りである。

■ 実施テーマ

- ① 「芸術×福祉」をテーマに働く障害者との関わりで伝える当事者及び支援者のリアル
- ② 若手福祉従事者によるトークセッション
- ③ クリエイティブな実践による障害福祉のリアル

■ 実施事業者

社会福祉法人南高愛隣会



実施テーマ	実施内容
①「芸術×福祉」をテーマに働く障害者との関わりで伝える当事者及び支援者のリアル	海外や日本全国でも公演する障害者のある方の太鼓パフォーマンスと、その方の講話により、当事者の方への親近感や理解が深まり、またその方を支援する福祉職員の方の講話によって、福祉の仕事の幅広さ、活躍できる機会の多さを伝える。
②若手福祉従事者によるトークセッション	複数の法人から参画する若手福祉従事者から、福祉の職場を選んだ経緯や、職務内容ややりがい・課題・給料・休暇・人間関係など、赤裸々に語ってもらう。
③クリエイティブな実践による障害福祉のリアル	地域の中での社会福祉法人が行っている取り組みを始め、障がいのある方が活躍しているケースや福祉的な考えを伝えることで介護・福祉の魅力や可能性を伝えていく。

2. 各事業詳細 (1)福祉教育事業

(1.5) 実施内容 | ①出張授業 | 実施校一覧 (長崎県)

- ✓ 長崎県の実施校は下記の通りである。
- ✓ 2校を対象に2回授業を実施した。参加人数は、のべ71名であった。

No	実施校	実施方法	実施回数	実施日程及び実施テーマ	参加人数
				①	
1	雲仙市立国見中学校 (雲仙市)	対面	1回	9/14	20名
2	長崎県立西陵高等学校 (諫早市)	オンライン	1回	3/22	51名
合計			2回		71名

2. 各事業詳細 (1)福祉教育事業

(1.5) 実施内容 | ②映像作成と映像の活用

■ 実施内容

福祉教育に関心のある教員や保護者及び福祉教育関係者等に向けて、福祉教育の普及推進のために介護・福祉の魅力を伝え、福祉教育の授業等で活用するための映像や関心のある教員等が新たに取り組む際の参考となる実践事例等をWEBサイトに掲載する。具体的には、本年度に実施する全国8エリアの取り組み内容や実施主体、実施テーマ等の事例を紹介する。



農福連携って？

衰退していく地域産業を支える
新たなカタチ

MORE →



地域を耕す表現

あらゆる壁を壊す
地域のリアル

MORE →



ある大学生たちの生き方

弱さを公開することで
人を支える大学生のリアル

MORE →



持続化させるまちづくり

超高齢社会に
向き合う人たちのリアル

MORE →

(掲載動画一部)

映像	対象	内容
①介護・福祉の魅力伝えるPRムービー：1本	福祉に関心のある教員及び保護者向け	介護施設で働く若手職員の働き方や利用者等との関わり、職場の様子など、介護・福祉で働くイメージを伝えるムービー等。
②介護・福祉の現場のリアルを伝えるムービー：6本	授業等で活用したい教員等向け	認知症の方や地域で暮らす障害者のリアルなど、またそれらを支える介護・福祉従事者等の関りや仕事のリアル、介護・福祉の役割・考え方等、福祉教育の授業で活用できるムービー等。

2. 各事業詳細 (1)福祉教育事業

(1.5) 実施内容 | ③教員及び福祉教育実践者のネットワーク構築

- ✓ 福祉教育に関心のある教員や福祉教育実践者のネットワーク構築を目的に福祉教育の実践研究会を実施した。
- ✓ 実践研究会参加者には、事前に福祉教育に関する動画（前ページの一部）を視聴してもらった。

■ 実施日程

2月28日（月）17:00-19:00

■ 講師

矢幅 清司 氏（文部科学省初等中等教育局 視学官）

原田 正樹 氏（日本福祉大学社会福祉学部教授）

大原 裕介 氏（社会福祉法人ゆうゆう 理事長/
一般社団法人FACE to FUKUSHI 共同代表）

■ プログラム

- ① 学校・社会福祉協議会・社会福祉法人による福祉教育の最前線
- ② 福祉教育実践の情報交換会

魅力
福祉・介護のリアルを伝える
オンライン
福祉教育の
実践研究会

わたしたちは、

SCHEDULE / オンライン研究会

第一部 学校・社会福祉協議会・社会福祉法人による福祉教育の最前線

第二部 福祉教育実践の情報交換会
グループに分かれて、全国の先生や福祉教育に取り組まれている方と情報交換を行います！

GUEST / 第一部ゲストプロフィール

文部科学省初等中等教育局 視学官
矢幅清司氏
福祉系大学卒業後、郷里の若手職の教員として特別支援学校・高等学校で福祉教育・介護福祉士養成等に携わる。全国の福祉教育推進委員会に選出され、生涯福祉推進を立ち上げ全国福祉系専門学校長会設立にかかわる。その後、文部科学省教科調査官として教科「福祉」の創設を担うとともに福祉教育の推進に取り組んでいる。

日本福祉大学・ボランティア学習学会会長、全国社会福祉協議会・福祉教育推進委員会委員などを務める。地域共生社会の実現には「心」の学びが不可欠であると考えている。「共に生きること、共に学びあうこと」をテーマに、『伴走型支援—新しい支援と社会のカタチ』を著している。

社会福祉法人ゆうゆう 理事長/
一般社団法人FACE to FUKUSHI 共同代表
大原裕介氏
人口減少時代における、あらゆる世代がそれぞれの立場を超えた支え合いによって福祉的実践を推進する共生型事業や民間企業を活用した社会的事業の研究など、社会に必要な様々な実践を創り続ける。
北海道札幌大学の専員教授として、福祉現場の魅力を伝え使者を育成する。

2. 各事業詳細 (1)福祉教育事業

(1.6) 事業成果 | ①出張授業 (全体) | アンケートによる成果測定 | 学生

- ✓ 福祉教育実施後に参加者を対象にアンケートを実施した。
- ✓ 高校生向けアンケートのアンケート項目は下記の通りである。

アンケート①

参加者情報	<ul style="list-style-type: none">• 学校名• 学年• クラス
満足度	<ul style="list-style-type: none">• 本日の授業の満足度を教えてください。
福祉、介護に対するイメージ	<ul style="list-style-type: none">• 授業を受ける前に持っていた福祉、介護に対するイメージを教えてください。• 授業を受けた後に持った福祉、介護に対するイメージを教えてください。• 授業の前後で福祉・介護に対するイメージが変化した場合、どのようなキーワード（ことば）がイメージの変化に影響しましたか。
福祉、介護に対する関心度合い	<ul style="list-style-type: none">• 授業を受ける前の福祉に対する関心度合いで最も当てはまるものを選択してください。• 授業を受けた後の福祉に対する関心度合いで最も当てはまるものを選択してください。
福祉、介護業界への進学・就職意欲	<ul style="list-style-type: none">• 授業を受ける前の福祉に関する就職や進学に関し最も当てはまるものを選択してください。• 授業を受けた後の福祉に関する就職や進学に関し最も当てはまるものを選択してください。
福祉、介護に関するイベント等の参加意欲	<ul style="list-style-type: none">• 福祉・介護施設への見学や福祉、介護を体験するイベントがある場合、参加してみたいですか。
	<ul style="list-style-type: none">• その他ご意見や本日の感想等がございましたら教えてください。

2. 各事業詳細 (1)福祉教育事業

(1.6) 事業成果 | ①出張授業 (全体) | アンケートによる成果測定 | 学生

- ✓ 福祉教育実施後に参加者を対象にアンケートを実施した。
- ✓ 小中学生向けアンケートのアンケート項目は下記の通りである。

アンケート②

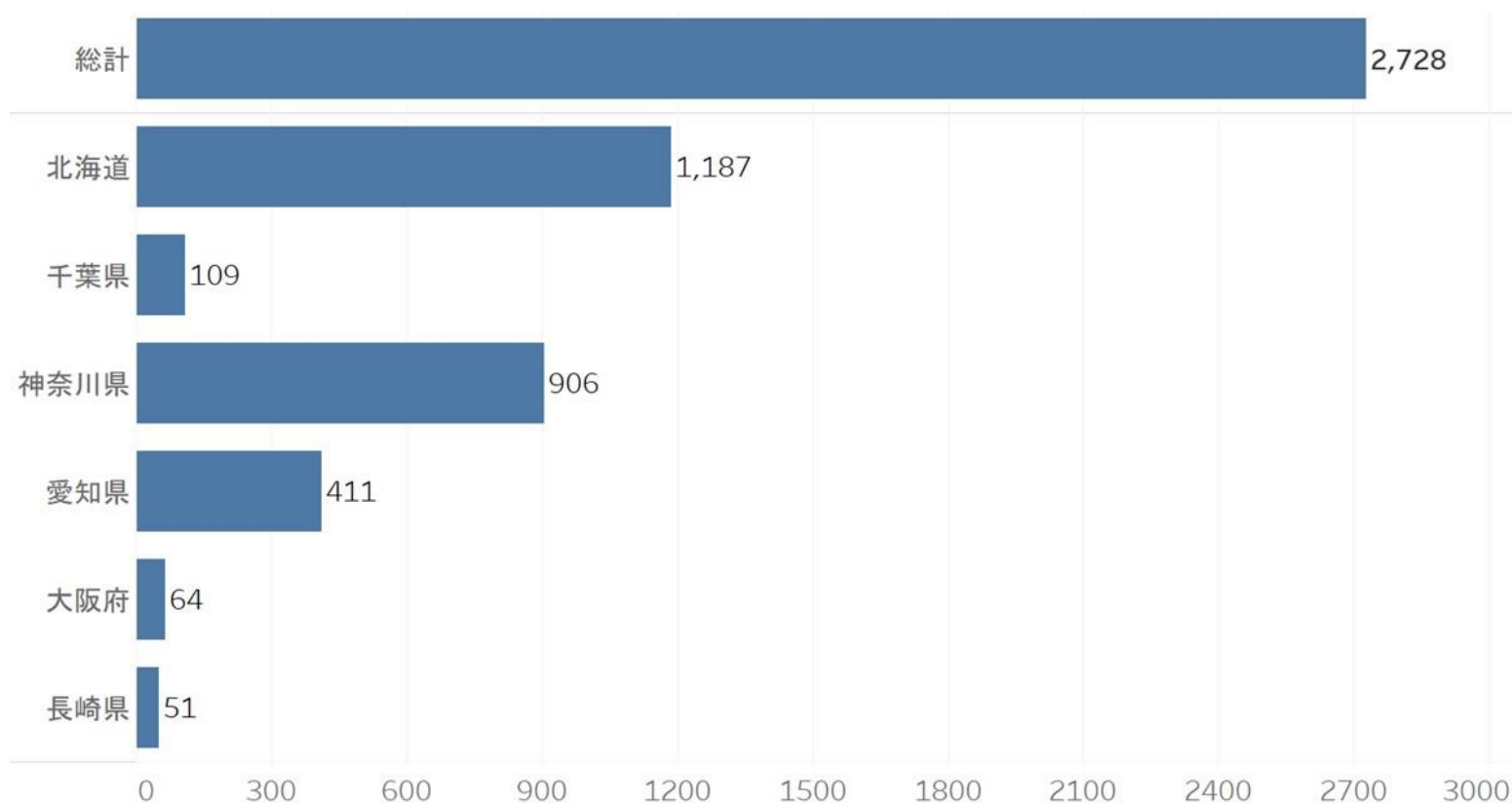
参加者情報	<ul style="list-style-type: none">• 学校名• 学年• クラス
満足度	<ul style="list-style-type: none">• 本日の授業の満足度を教えてください。今日の授業を聞いて、どう思ったか教えてください。
福祉、介護に対するイメージ	<ul style="list-style-type: none">• 授業を受けてみて、福祉、介護に対してどのようなイメージを持ちましたか。• 授業を受けてみて、印象に残った話、キーワードはありましたか？
福祉、介護に対する関心度合い	<ul style="list-style-type: none">• 福祉・介護のことをもっと知りたいと思いましたか？
福祉、介護業界への進学・就職意欲	<ul style="list-style-type: none">• 将来、福祉・介護の仕事をしてみたいですか？
福祉、介護に関するイベント等の参加意欲	<ul style="list-style-type: none">• 福祉・介護施設への見学や福祉、介護を体験するイベントがある場合、参加してみたいですか。
	<ul style="list-style-type: none">• その他ご意見や本日の感想等がございましたら教えてください。

2. 各事業詳細 (1)福祉教育事業

(1.6) 事業成果 | ①出張授業 (全体) | アンケートによる成果測定 | 学生①

- ✓ 高校生向けアンケートの回答数は2,728件であった。

アンケート回答数

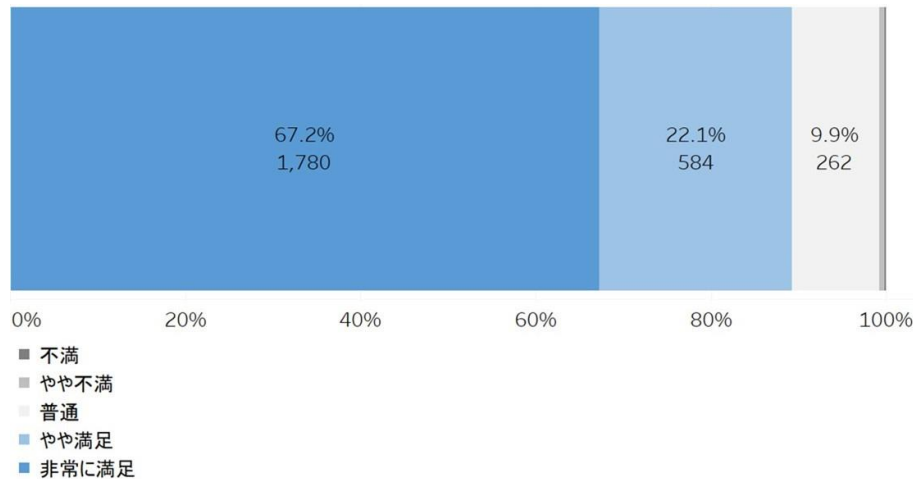


2. 各事業詳細 (1)福祉教育事業

(1.6) 事業成果 | ①出張授業 (全体) | アンケートによる成果測定 | 学生①

- ✓ 回答者の9割近く（「非常に満足」、「やや満足」と回答した割合）が授業に満足していると回答している。
- ✓ 授業前は、介護・福祉に対して限定的なイメージを持っているコメントが多かったが、授業後は、介護・福祉の解釈が広がり、自分ごととしてとらえているコメントが多くみられた。

本日の授業の満足度を教えてください。(N=2,648)



授業を受ける前に持っていた福祉、介護に対するイメージを教えてください。(原文ママ、抜粋)

- お年寄りの介護をメインに行う仕事
- 大変そう
- 障害者の方々は、どのようなことをするか分からなくて少し怖いイメージがある
- 汚いところもある

授業を受けた後に持った福祉、介護に対するイメージを教えてください。

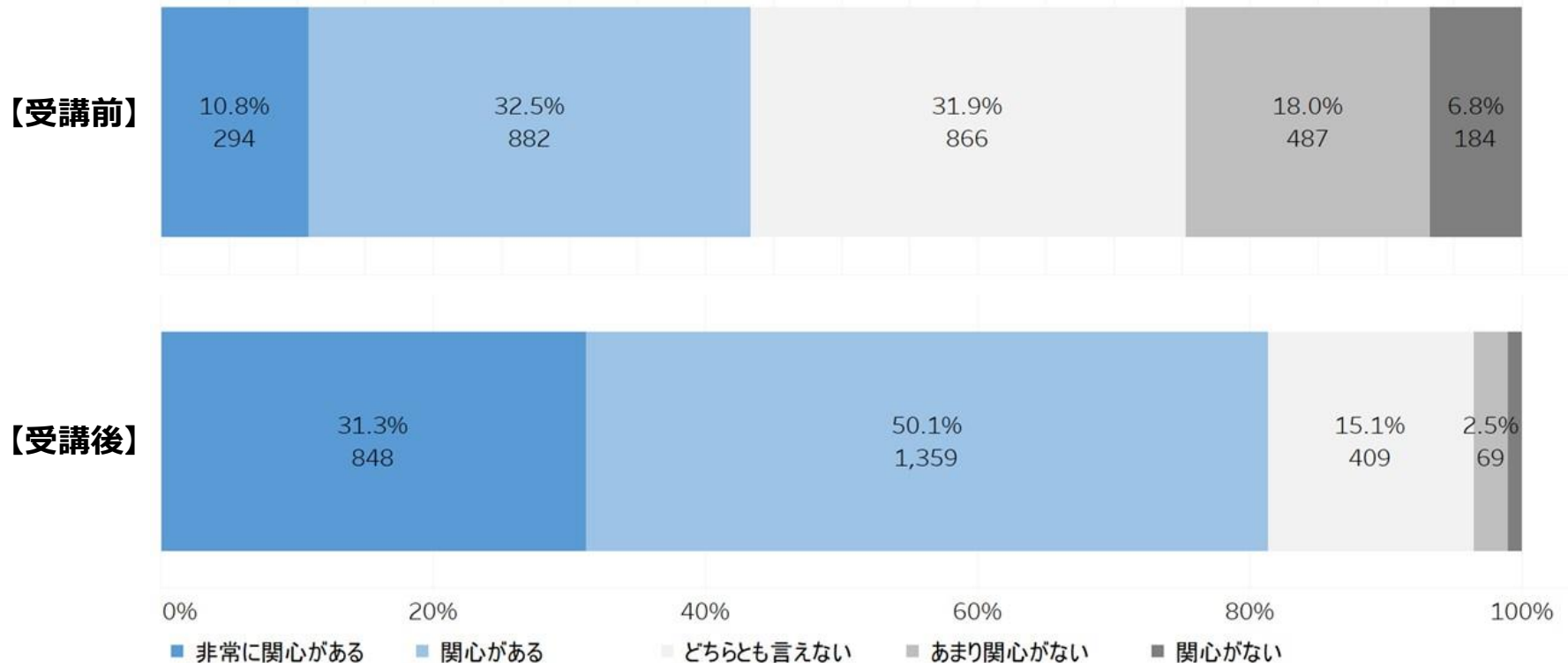
- 社会とのつながりを大切にしたい職業
- 福祉の対象者は高齢者だけじゃないのだなと分かりました。
- 福祉、介護は専門職など限られた人だけが作っていくのではなく、地域の方々と作り上げていくことが大切だと分かりました。
- 思ったよりも身近にあるものだった
- 楽しそう。やりがいがありそう

2. 各事業詳細 (1)福祉教育事業

(1.6) 事業成果 | ①出張授業 (全体) | アンケートによる成果測定 | 学生①

- ✓ 福祉教育受講後の福祉・介護に対する関心度合いが、受講前と比較して高まった。
「非常に関心がある」、「関心があると回答した割合：受講前**43.4%**→受講後**81.4%**」
- ✓ 授業を通じて、福祉・介護に対しての興味・関心を刺激することができたといえる。

福祉に対する関心度合いで最も当てはまるものを選択してください。(N=2,713)



2. 各事業詳細 (1)福祉教育事業

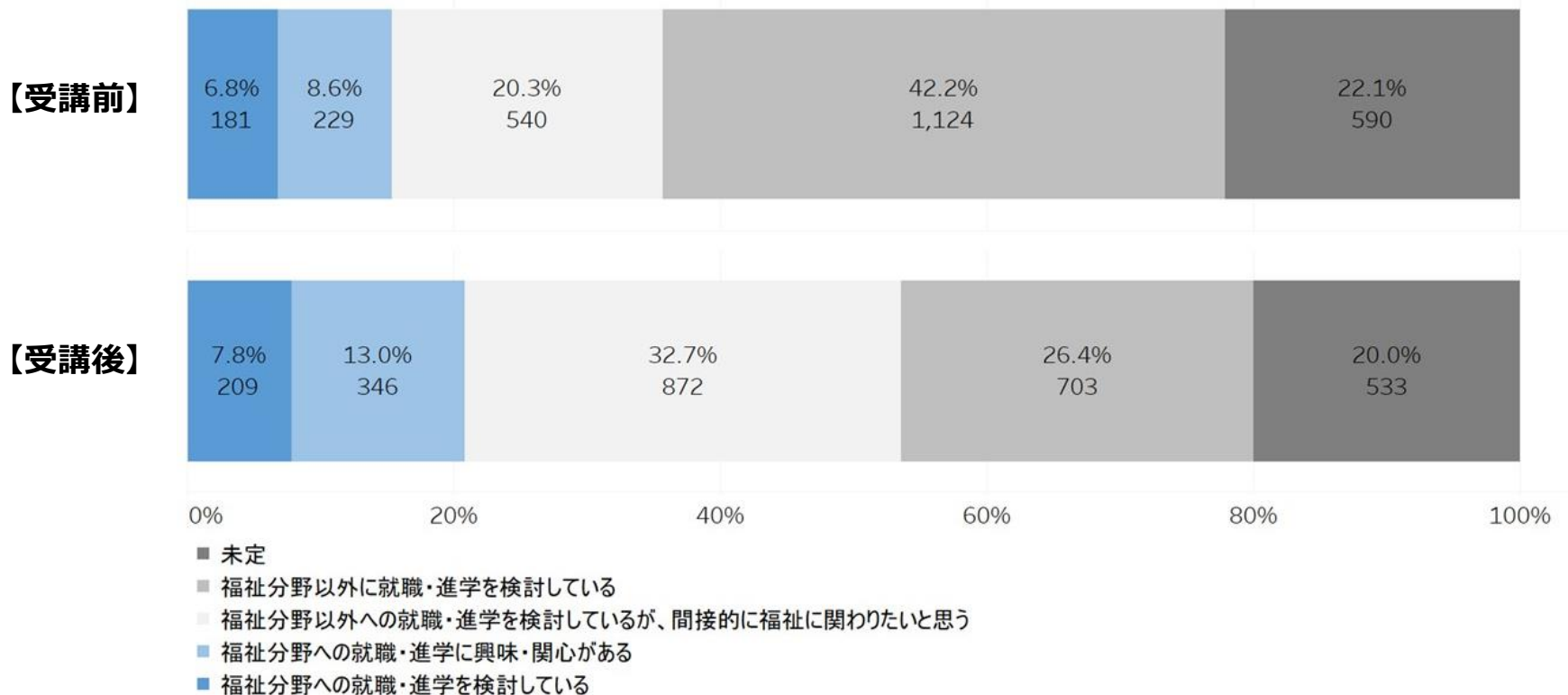
(1.6) 事業成果 | ①出張授業 (全体) | アンケートによる成果測定 | 学生①

✓ 福祉教育を通じて、参加者の福祉分野への就職・進学意欲が少し高まった。

「福祉分野への就職・進学を検討している」、「福祉分野への就職・進学に興味・関心がある」と回答した割合：

受講前15.4%→受講後20.8%

福祉に関する就職や進学に関し最も当てはまるものを選択してください (N=2,664)



2. 各事業詳細 (1)福祉教育事業

(1.6) 事業成果 | ①出張授業 (全体) | アンケートによる成果測定 | 学生①

- ✓ 回答者の8割以上（「是非参加したい」、「参加を検討したい」と回答した割合）がイベント参加を前向きに考えている。

福祉・介護施設への見学や福祉、介護を体験するイベントがある場合、参加してみたいですか。
(N=1,639)

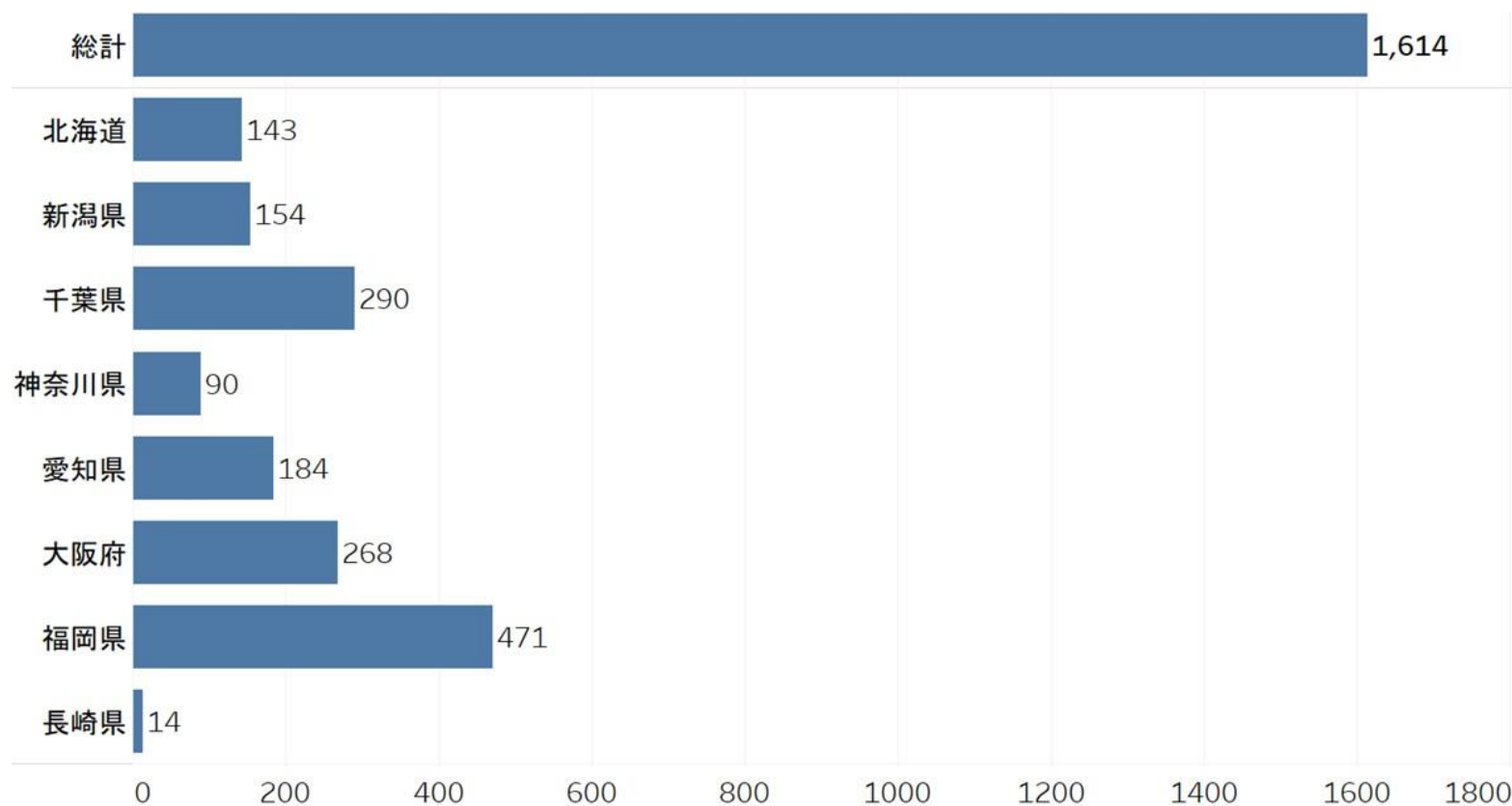


2. 各事業詳細 (1)福祉教育事業

(1.6) 事業成果 | ①出張授業 (全体) | アンケートによる成果測定 | 学生②

✓ 中学生、小学生向けアンケートの回答数は1,614件であった。

アンケート回答数

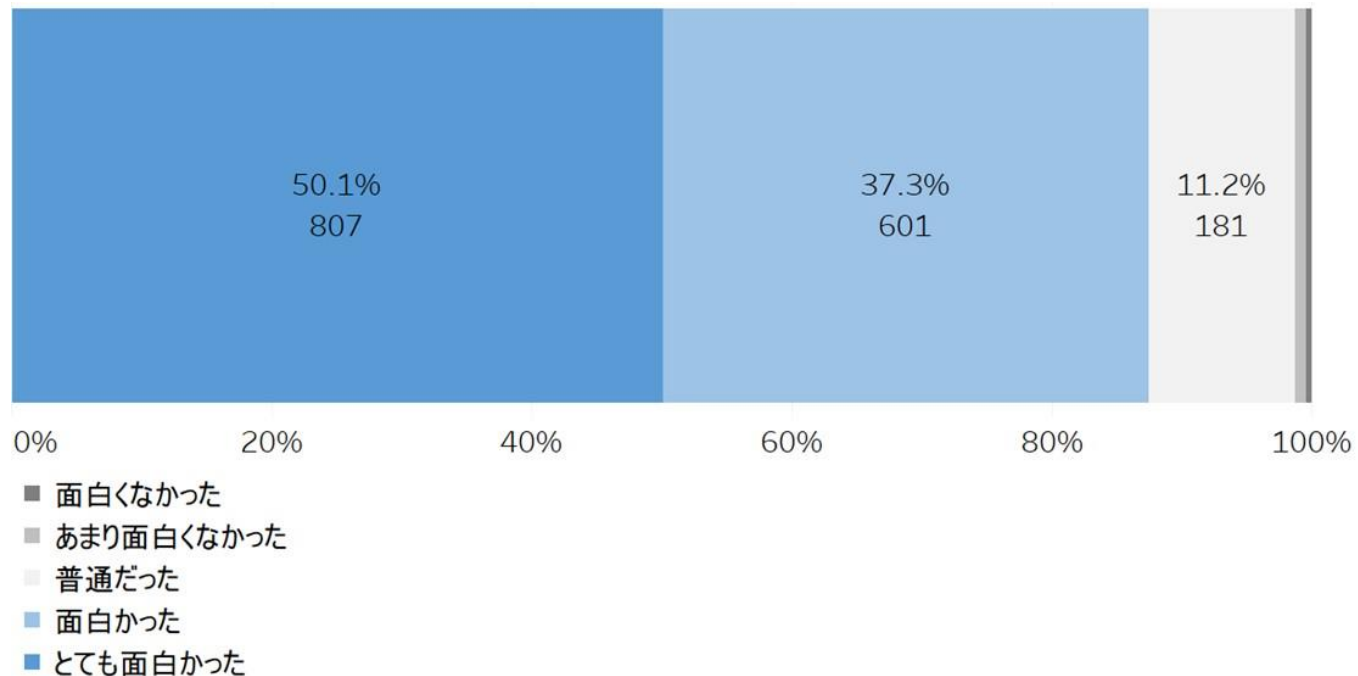


2. 各事業詳細 (1)福祉教育事業

(1.6) 事業成果 | ①出張授業 (全体) | アンケートによる成果測定 | 学生②

- ✓ 回答者の9割近く（「とても面白かった」、「面白かった」と回答した割合）が授業に満足していると回答している。

本日の授業の満足度を教えてください。今日の授業を聞いて、どう思ったか教えてください。
(N=1,610)

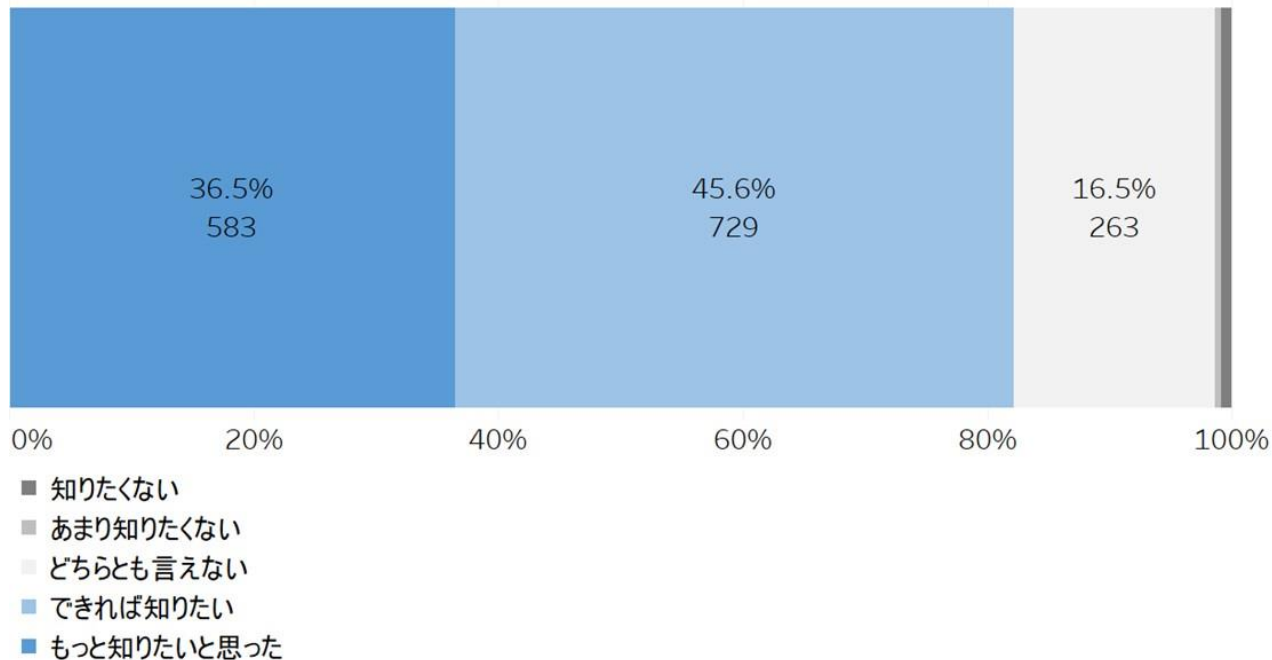


2. 各事業詳細 (1)福祉教育事業

(1.6) 事業成果 | ①出張授業 (全体) | アンケートによる成果測定 | 学生②

- ✓ 回答者の8割以上（「もっと知りたいと思った」、「できれば知りたい」と回答した割合）が福祉・介護に興味・関心を示している。
- ✓ 授業を通じて、福祉・介護に対しての興味・関心を刺激することができたといえる。

福祉・介護のことをもっと知りたいと思いましたか？ (N=1,597)

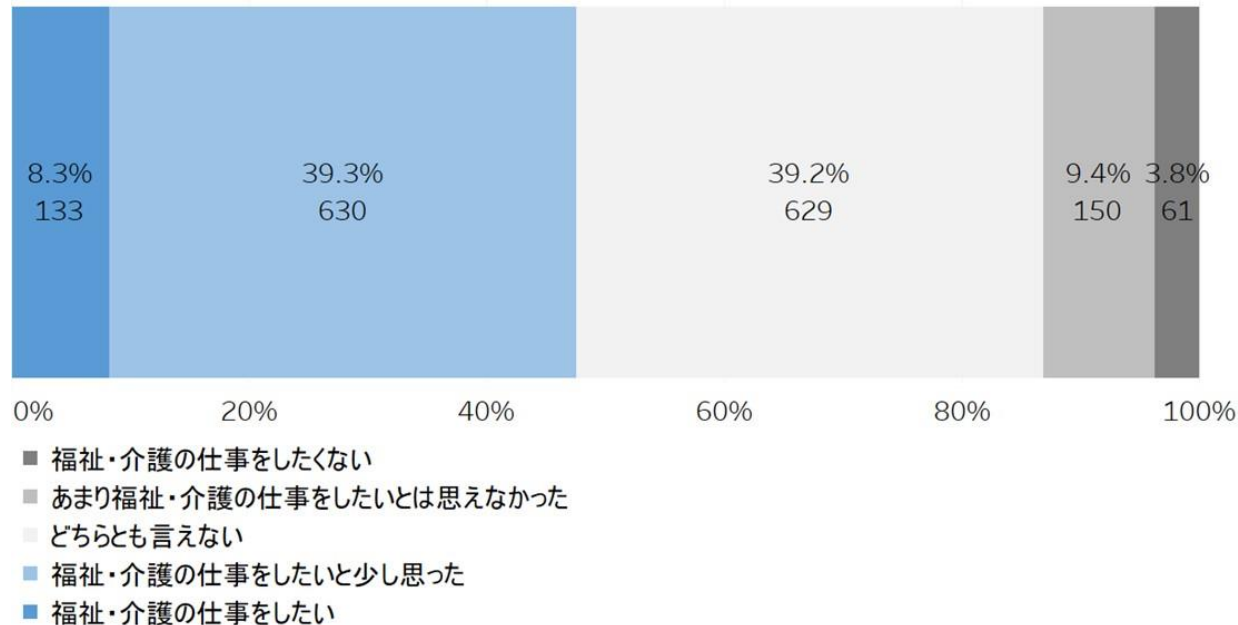


2. 各事業詳細 (1)福祉教育事業

(1.6) 事業成果 | ①出張授業 (全体) | アンケートによる成果測定 | 学生②

- ✓ 回答者の5割近く（「福祉・介護の仕事をしたい」、「福祉・介護の仕事をしたいと少し思った」と回答した割合）が福祉・介護の仕事に関心を示している。

将来、福祉・介護の仕事をしてみたいですか？ (N=1,603)

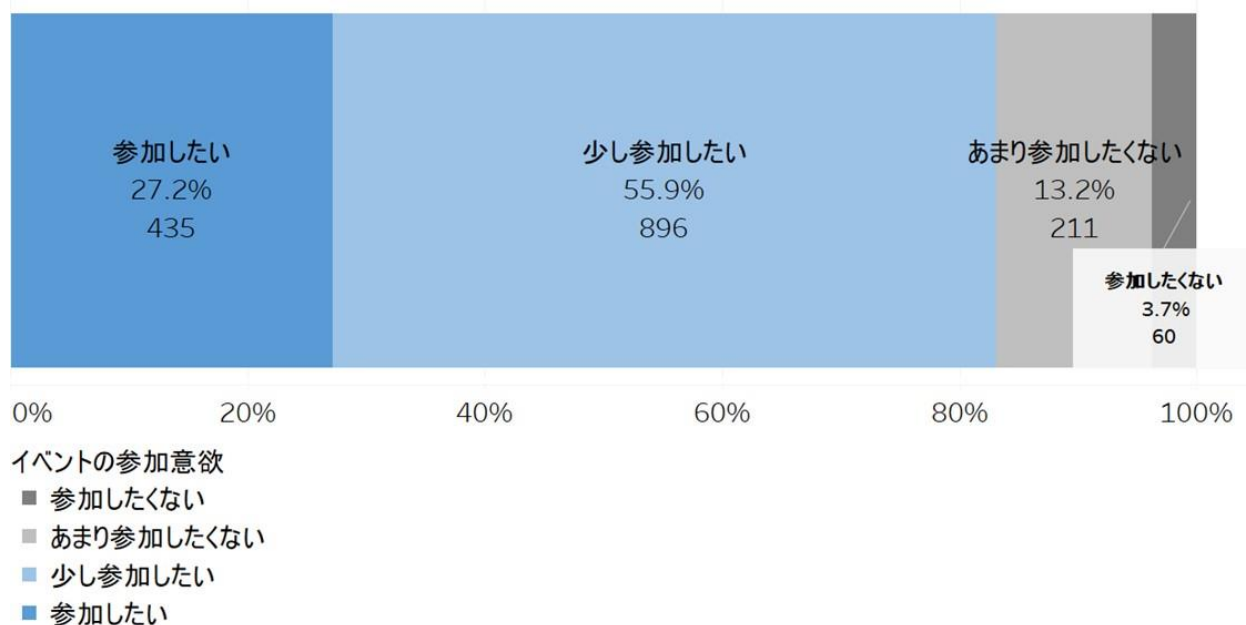


2. 各事業詳細 (1)福祉教育事業

(1.6) 事業成果 | ①出張授業 (全体) | アンケートによる成果測定 | 学生②

- ✓ 回答者の8割以上（「参加したい」、「少し参加したい」と回答した割合）がイベント参加を前向きに考えている。

福祉・介護施設への見学や福祉・介護を体験するイベントがある場合、参加してみたいですか。
(N=1,602)

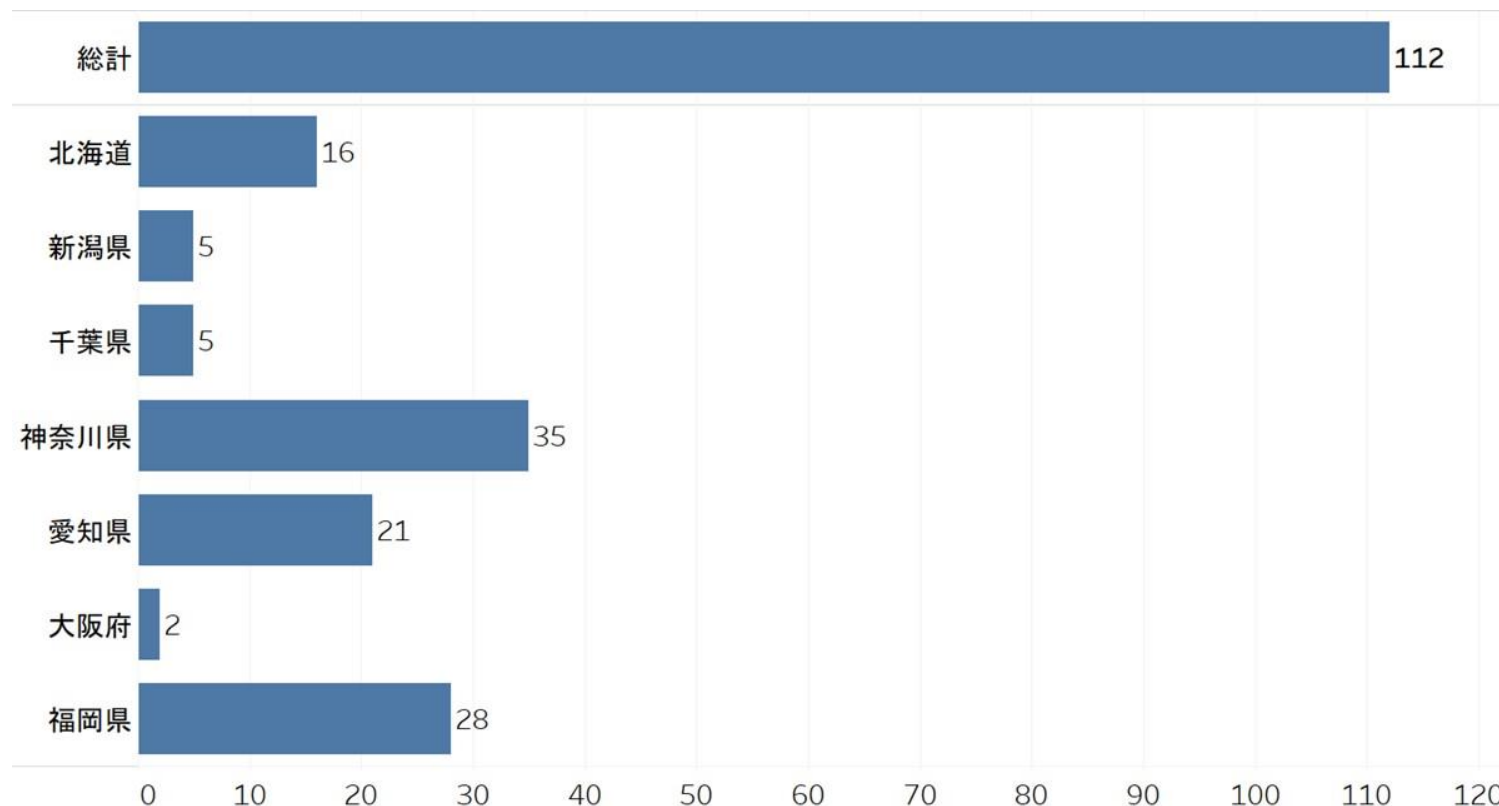


2. 各事業詳細 (1)福祉教育事業

(1.6) 事業成果 | ①出張授業 (全体) | アンケートによる成果測定 | 学生①

- ✓ 教師向けアンケートの回答数は112件であった。

アンケート回答数

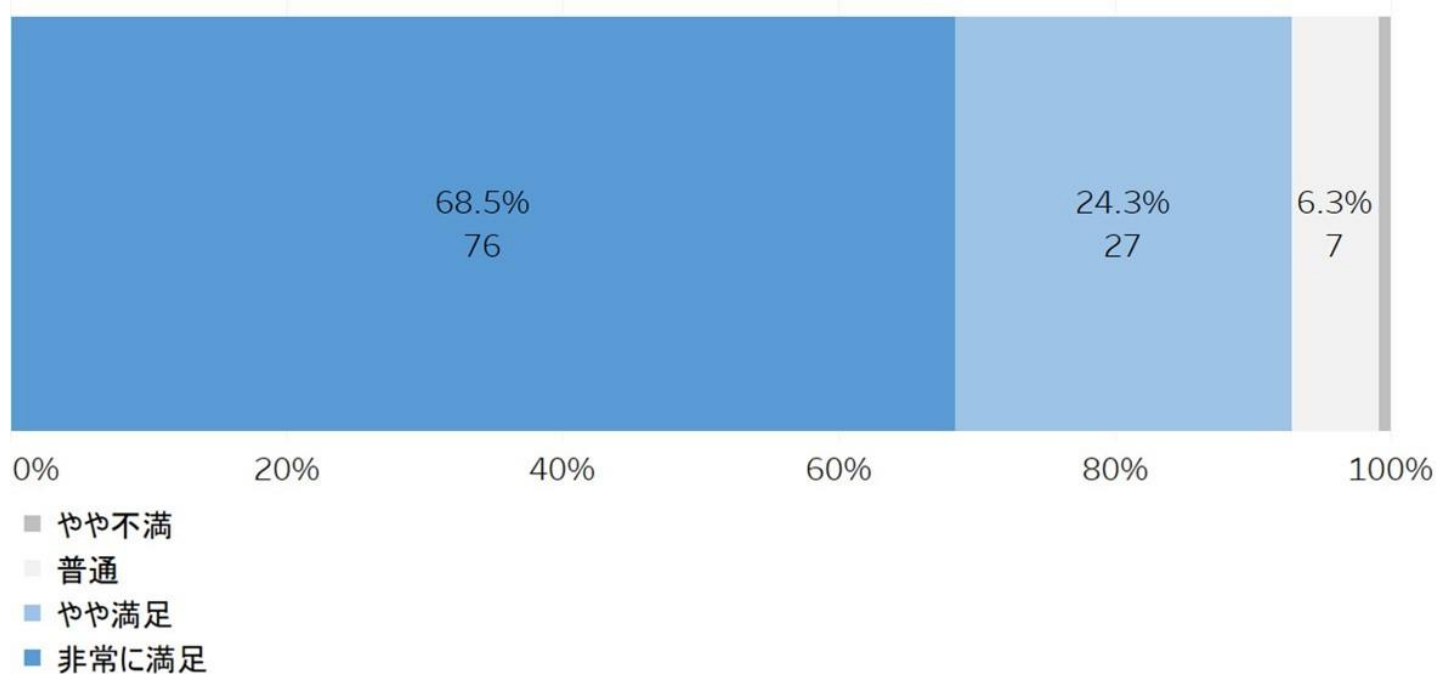


2. 各事業詳細 (1)福祉教育事業

(1.6) 事業成果 | ①出張授業 (全体) | アンケートによる成果測定 | 教師

- ✓ 参加者の9割以上（「非常に満足」、「やや満足」と回答した割合）が授業に満足していると回答している。

本日の授業の満足度を教えてください。(N=111)

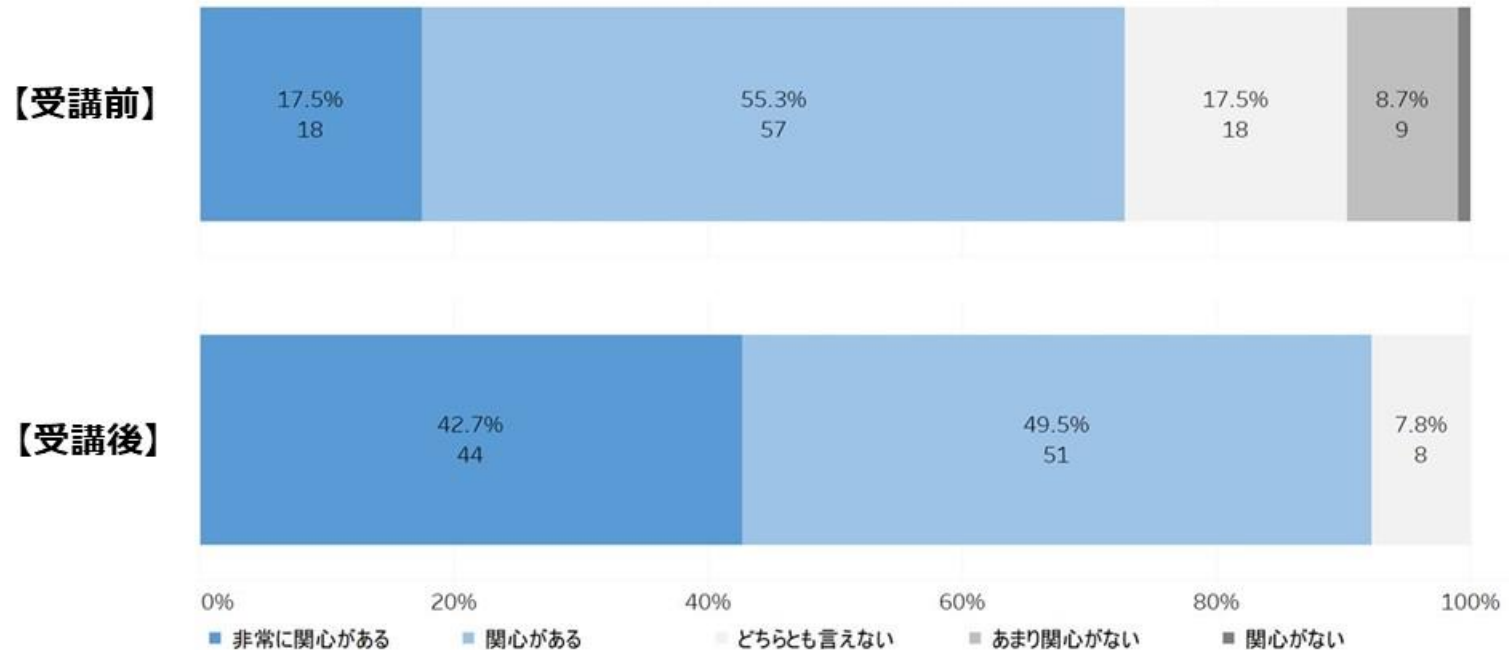


2. 各事業詳細 (1)福祉教育事業

(1.6) 事業成果 | ①出張授業 (全体) | アンケートによる成果測定 | 教師

- ✓ 福祉教育受講後の福祉・介護に対する関心度合いが、受講前と比較して高まった。
「非常に関心がある」、「関心があると回答した割合：受講前**72.8%**→受講後**92.2%**」
- ✓ 授業を通じて、福祉・介護に対しての興味・関心を刺激することができたといえる。

福祉に対する関心度合いで最も当てはまるものを選択してください。(N=103)

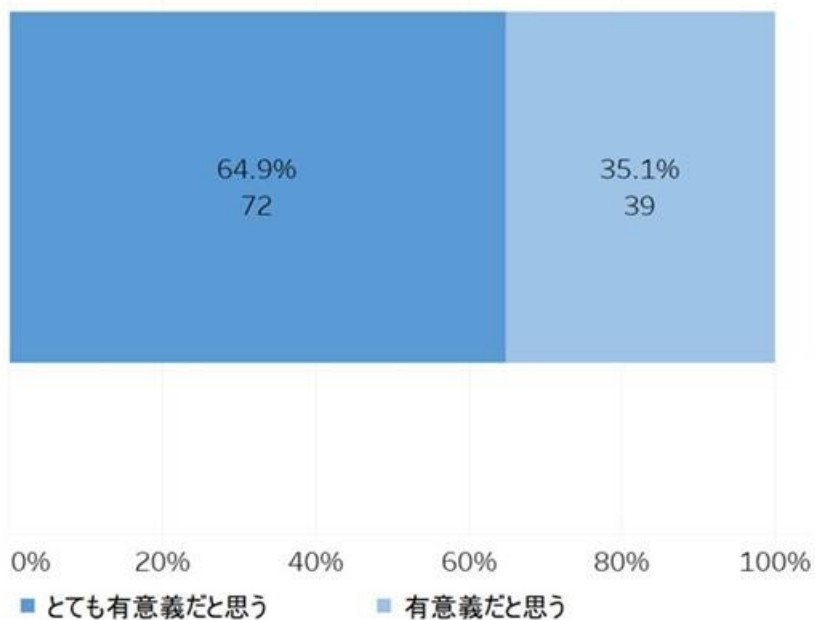


2. 各事業詳細 (1)福祉教育事業

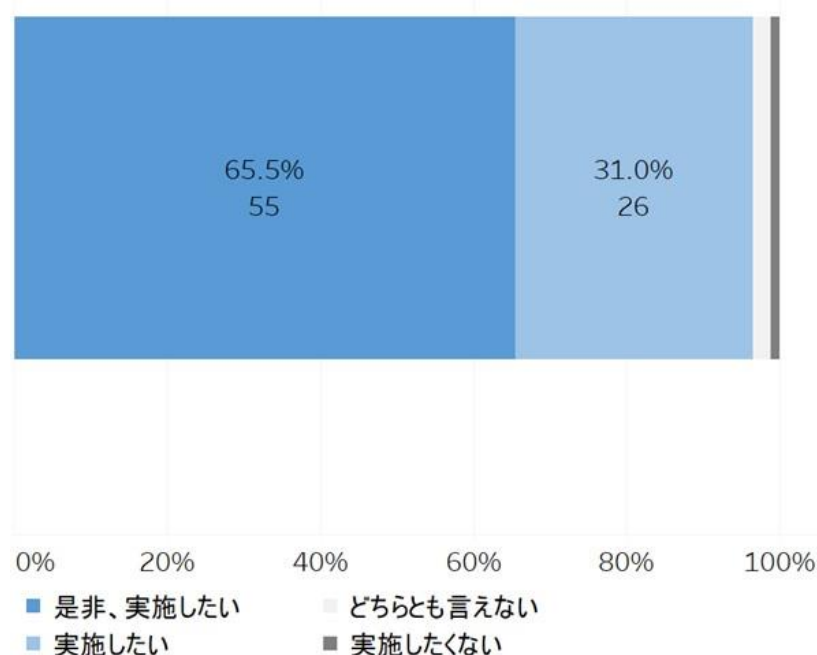
(1.6) 事業成果 | ①出張授業 (全体) | アンケートによる成果測定 | 教師

- ✓ 全ての参加者が福祉教育は、生徒にとって有益だと回答している（「とても有意義だと思う」、「有意義だと思う」と回答した割合）。また、参加者の9割以上（「是非、実施したい」、「実施したい」と回答した割合）が福祉教育を今後も継続したいと回答している。

福祉・介護関係者による福祉教育は、生徒にとって有益だと思いますか？ (N=111)



今後もこのような機会があれば、授業を実施したいと感じますか？ (N=84)

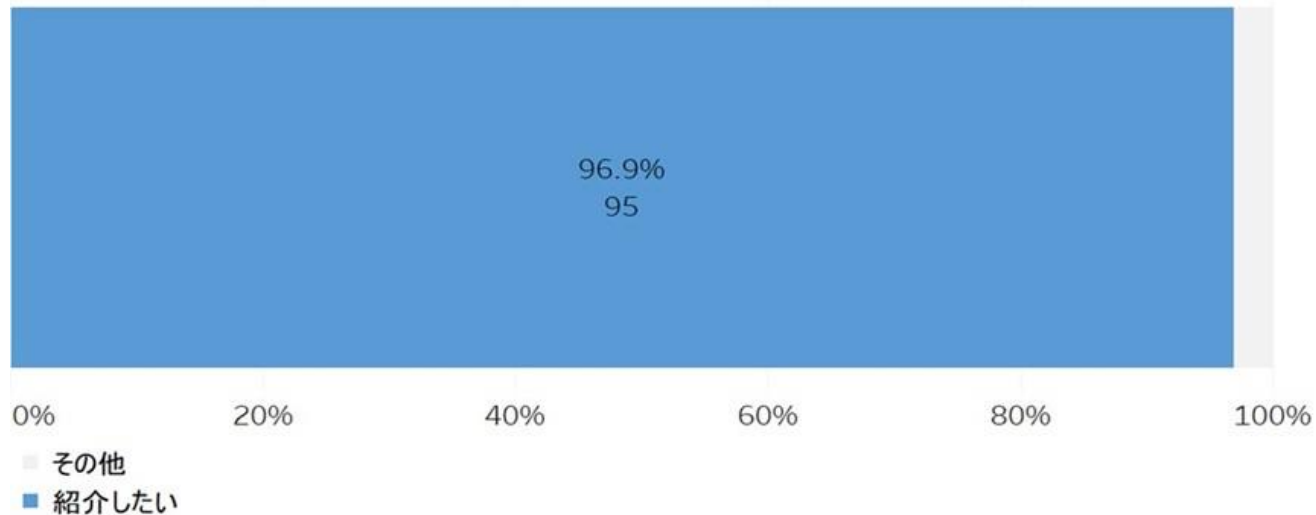


2. 各事業詳細 (1)福祉教育事業

(1.6) 事業成果 | ①出張授業 (全体) | アンケートによる成果測定 | 教師

- ✓ 参加者の9割以上（「紹介したい」と回答した割合）が福祉・介護施設への見学や体験ができるイベントを生徒に紹介したいと回答している。

福祉・介護施設への見学や体験ができるイベントを生徒に紹介したいですか？（N=98）



2. 各事業詳細 (1)福祉教育事業

(1.6) 事業成果 | ①出張授業 | 事例の紹介

- ✓ 福祉教育受講を機に一部の学生においては、福祉教育にとどまらない行動変容が見られた。

Aさん

- 高校3年生
- 高校1年次（令和元年度）に当法人主催の福祉教育を受講し、進路選択に影響を受ける。

福祉教育を通じた意識変容及び行動変容

- 入学当初から医学部を志望していたAさんは、先生に誘われ、自主参加型の福祉教育に参加。
- 講師から、「農福連携」の話を聞いたことをきっかけに、たくさんの患者さんと短時間で関わる医者ではなく、農業と福祉を掛け合わせ、一人ひとりの人生に寄り添う企業をしたいと考えた。
- 令和4年度より、四年生大学の農学部に進学。
- 夏休みには、福祉教育の講師が運営する社会福祉法人でのインターンを予定。

2. 各事業詳細 (1)福祉教育事業

(1.6) 事業成果 | ③教員及び福祉教育実践者のネットワーク構築

- ✓ イベント参加者にイベント後アンケートを実施した。
- ✓ アンケート項目は下記の通りである。

アンケート

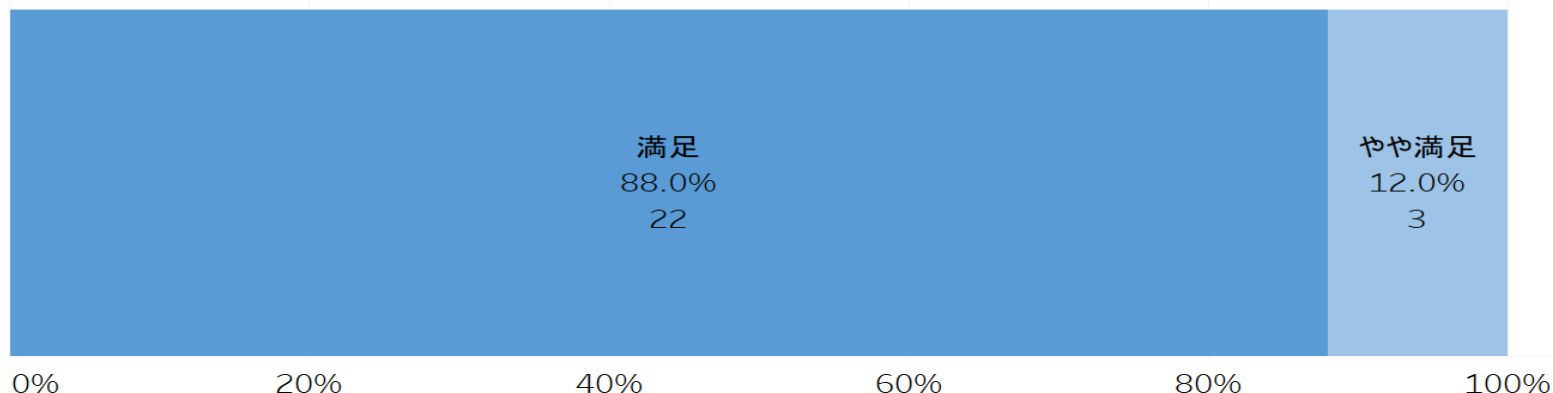
参加者情報	<ul style="list-style-type: none">• ご所属• お名前• メールアドレス
満足度	<ul style="list-style-type: none">• 本日のイベントの満足度を教えてください。• 前問のように回答した理由をご記入ください。
福祉教育の魅力	<ul style="list-style-type: none">• 「福祉と当事者のリアルを伝える福祉教育」に魅力を感じましたか。• 前問のように回答した理由をご記入ください。
福祉教育の動画の有用性	<ul style="list-style-type: none">• 本イベント参加前に福祉教育の動画をご覧いただけましたか。• 前問で「事前に見た」と回答した方はお答えください。動画は福祉の魅力を伝えるコンテンツとして有用だと思いますか。• 前問のように回答した理由をご記入ください。
福祉教育の動画の活用希望	<ul style="list-style-type: none">• 福祉教育の動画を授業で活用したいですか。• 前問のように回答した理由をお聞かせください。
福祉教育の授業での活用希望	<ul style="list-style-type: none">• 「福祉のリアルを伝える福祉教育（ゲスト講話や動画の授業）」を授業で取り入れたいと思いますか。• 前問のように回答した理由をお聞かせください。• 「福祉のリアルを伝える福祉教育」をどのような方法で実施したいですか。• 前問のように回答した理由をお聞かせください。
福祉教育の紹介希望	<ul style="list-style-type: none">• 「福祉のリアルを伝える福祉教育」について、周りの方（同僚等）に紹介したいと思いますか。• 前問のように回答した理由をお聞かせください。
	<ul style="list-style-type: none">• 福祉教育を普及させていくために必要だと思われる取り組み等をご自由にお書きください。• 本イベントに関するご意見やご感想等をご自由にお書きください。

2. 各事業詳細 (1)福祉教育事業

(1.6) 事業成果 | ③教員及び福祉教育実践者のネットワーク構築

- ✓ 全ての参加者がイベントに満足していると回答している（「やや満足している」も含む）。
- ✓ 本イベントにて他地域や他職種と交流する機会を提供することで参加者に新たな知識や気づきを与えることができたといえる。

1 - 1. 本日のイベントの満足度を教えてください。 (N=25※参加者数と同数)



1 - 2. 前問のように回答した理由をご記入ください。（原文ママ、抜粋）

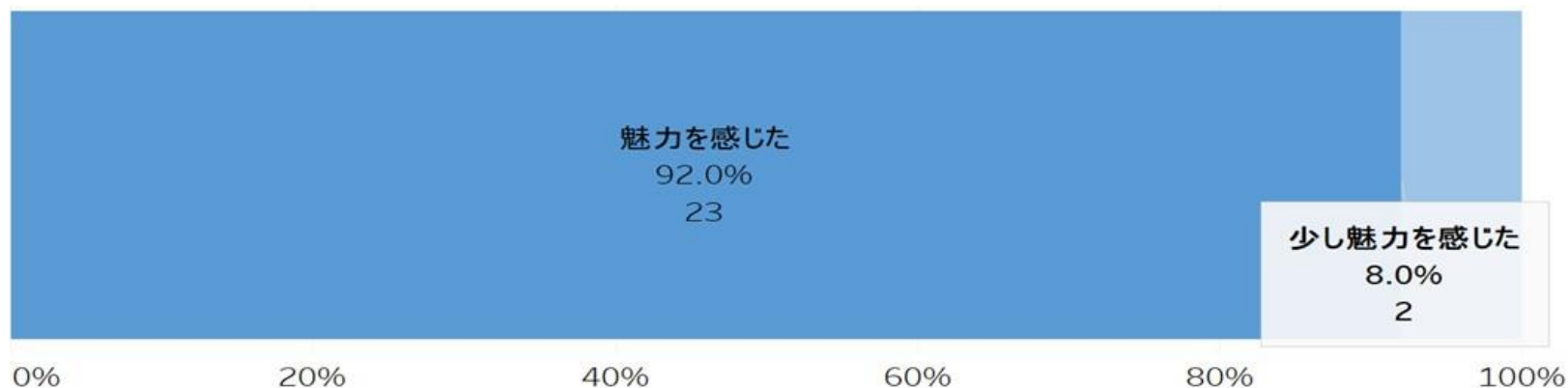
- ・ 特に情報交換で、教育現場ではなかなか知りえない社協や市役所でのリアルを知ることができたから。
- ・ ブレイクアウトルームで職種の違う方と対話することができ、新たな知見と自分自身に気づきを得ることができ大変楽しい時間となりました。
- ・ 福祉と教育の双方が歩み寄り、協同で実践することに魅力を感じたから
- ・ これまでは出前授業についての悩みを福祉の現場で働く人に聞いてもらうことが多かった。今日は学校現場や行政で働く人からの意見を頂戴でき、新たな学びになった。
- ・ 人材育成だけの福祉教育にとらわれていたが新たな取り組みや外部との連携について広いについての考え方を知ることができたからです。

2. 各事業詳細 (1)福祉教育事業

(1.6) 事業成果 | ③教員及び福祉教育実践者のネットワーク構築

- ✓ 参加者の9割以上が「福祉と当事者のリアルを伝える福祉教育」に「魅力を感じた」と回答している。
- ✓ イベントを通じて、多くの参加者に福祉のリアルを伝えることの重要性を実感してもらうことができたといえる。

2-1. 「福祉と当事者のリアルを伝える福祉教育」に魅力を感じましたか。(N=25)



2-2. 前問のように回答した理由をご記入ください。(原文ママ、抜粋)

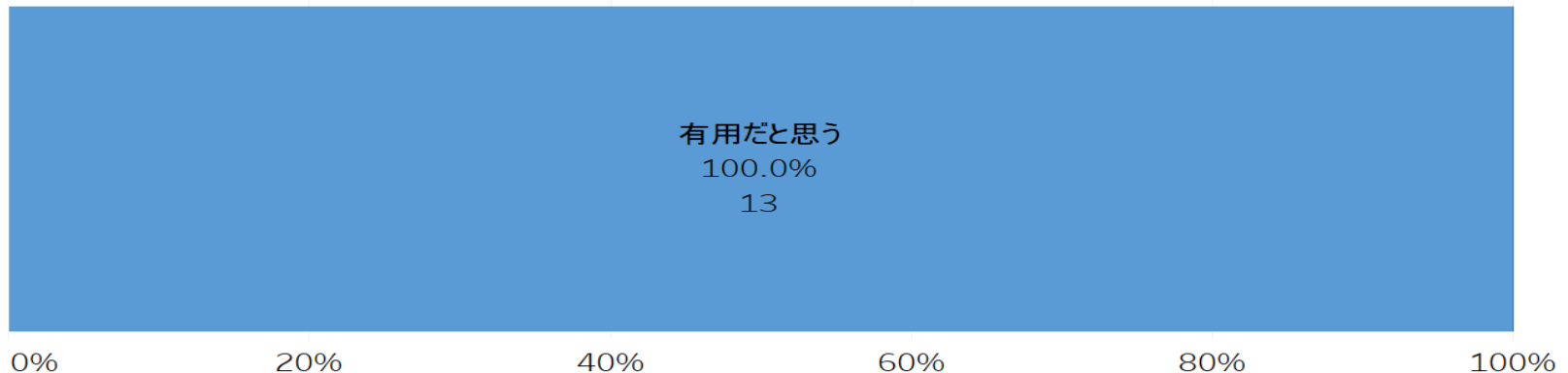
- 福祉を考えていくには、いかに身近に感じるかがポイントだと思います。その点でリアルを伝えることに共感しました。
- 当事者のリアル=当事者のwell-beingにつながると思いました。表面的に見える現象を知るのではなく、その背景やその人自身のライフストーリーを大切にすること、すごく大切なことだと思います。
- 子どもたちに、若者に『福祉とは何か、魅力ある福祉を伝えるためには！』と思っていました。学校の先生にも伝える必要があるということに気がつきました。
- 教育現場では圧倒的にリアルなものを生徒に提示するための教材が少ないのでこの機会を実際に授業の中で活用する材料にしていきたい。
- きれいごとの福祉を伝えるだけでなく、弱みも含めたリアルを伝えるからこそ響く部分があるのかなと感じた。

2. 各事業詳細 (1)福祉教育事業

(1.6) 事業成果 | ②映像作成と映像の活用、③教員及び福祉教育実践者のネットワーク構築

- ✓ 福祉教育に関する動画を閲覧した参加者全員が、動画は福祉の魅力を伝えるコンテンツとして「有用だと思う」と回答している。
- ✓ 動画の魅力や動画の適切な長さが、コンテンツとしての有用性につながっていると考えられる。

3 - 2. 前問で「事前に見た」と回答した方はお答えください。
動画は福祉の魅力を伝えるコンテンツとして有用だと思いますか。(N=13)



3 - 3. 前問のように回答した理由をご記入ください。(原文ママ、抜粋)

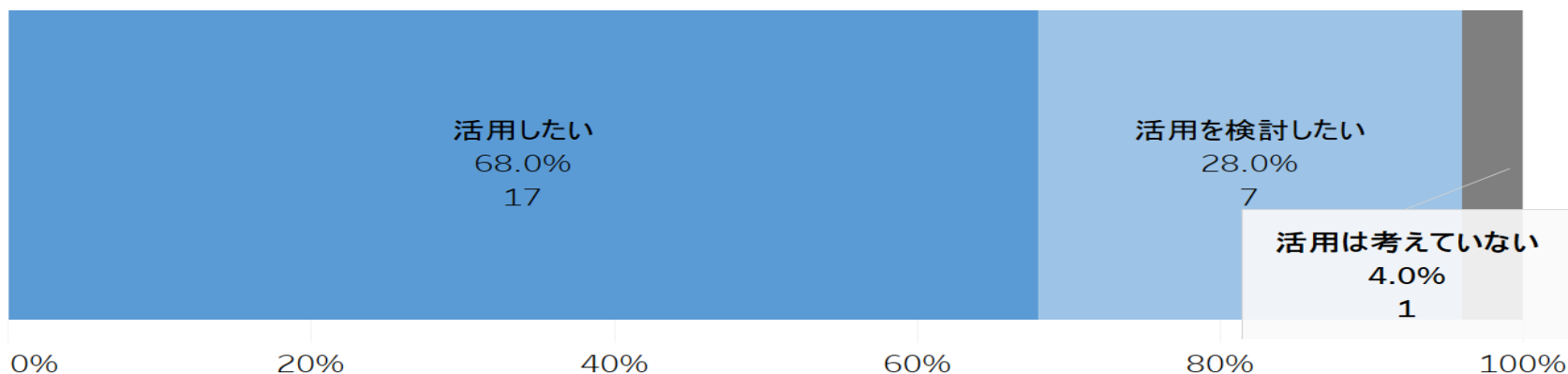
- 一般的な認識を揺らがせることのできる内容なので、学習意欲を喚起しやすいと思います。
- SWの仕事の幅広さを教えるのは難しい。この動画で魅力的に紹介してくれているのでぜひ使ってみたいと思う。
- とてもよい雰囲気動画だったため。特に社会福祉士という仕事の素敵さを伝えるのによいと感じた。
- 当事者のリアルを知るために非常に有用。20分という尺も授業で使いやすい。
- 当事者の方のいきいきされた姿を見て、障害や認知症＝支援のような構図が自分の中でいい意味で崩れた

2. 各事業詳細 (1)福祉教育事業

(1.6) 事業成果 | ②映像作成と映像の活用、③教員及び福祉教育実践者のネットワーク構築

- ✓ 参加者の7割近くが動画を授業で「活用したい」と回答している。
- ✓ 回答より、動画の長さや動画の内容が授業での活用のしやすさにつながっていると考えられる。

4 - 1. 福祉教育の動画を授業で活用したいですか。(N=25)



4 - 2. 前問のように回答した理由をお聞かせください。(原文ママ、抜粋)

※ 4 - 1. に「活用したい」と回答した参加者の回答

- 1単元の中で使用するのに時間もちょうどいい。途中で動画を止めて解説したり、考えさせてメモするのもできそうです。
- 内容が素敵で、20分程度の動画のため、授業前半に動画を見せて、その後感想を書かせたり、グループワークをさせたりと活用しやすいと感じたため。
- コロナで学校で予定していた体験教室が中止となり、学校から資料提供や参考動画の相談があり、今後は活用の機会があれば、また中止時でも活用方法を検討したい。
- 「リアル」に触れるための手段の一つとして大変有効と思います。活用させて頂く場合は、視聴して終わりにならないよう「動画を見て何を考えるか」を主催側でしっかり計画することが大切と思いました。

2. 各事業詳細 (1)福祉教育事業

(1.6) 事業成果 | ③教員及び福祉教育実践者のネットワーク構築

- ✓ 参加者の7割以上が「福祉のリアルを伝える福祉教育」を授業で「取り入れたいと思う」と回答している。

5-1. 「福祉のリアルを伝える福祉教育（ゲスト講話や動画の授業）」を授業で取り入れたいと思いますか。（N=25）



5-2. 前問のように回答した理由をお聞かせください。（原文ママ、抜粋）

※5-1. に「取り入れたいと思う」と回答した参加者の回答

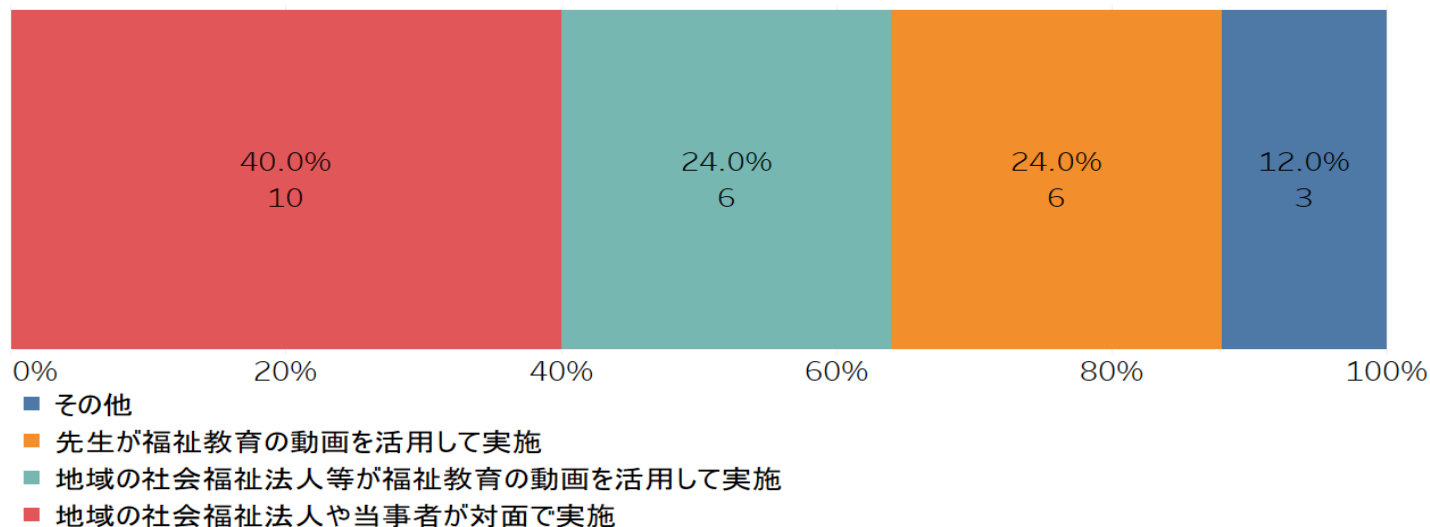
- ・ 私自身が大変勉強になり、まずは知ること、すそ野を広げたいと強く感じたから。
- ・ 介護施設実習や保育実習に送り出しており感じることは、やはりリアルを知ることが大切だということ。伝えることで、その道を目指す生徒も、自分には合わないし他の道を目指す生徒もどちらもいるが、「知る」ことで選択の幅が広がると感じるため。
- ・ 多様な方と出会い、その人なりに考えていく機会づくりのため、「リアルを伝える福祉教育」は欠かせないものと感じました。
- ・ とにかく外部の方と接点を持ち、率直に働く大人の声を聞かせたい。また、コミュニケーションを取らせてもらいたいからです

2. 各事業詳細 (1)福祉教育事業

(1.6) 事業成果 | ③教員及び福祉教育実践者のネットワーク構築

- ✓ 「地域の社会福祉法人や当事者が対面で実施」という回答が最も多く、次いで「先生が福祉教育の動画を活用して実施」、「地域の社会福祉法人等が福祉教育の動画を活用して実施」が多かった。
- ✓ 学校の指導内容や地域差を考慮して様々な形で福祉教育を実施していく必要がある。

6-1. 「福祉のリアルを伝える福祉教育」をどのような方法で実施したいですか。(N=25)



2. 各事業詳細 (1)福祉教育事業

(1.6) 事業成果 | ③教員及び福祉教育実践者のネットワーク構築

- ✓ 参加者の8割以上が「福祉のリアルを伝える福祉教育」を「是非紹介したい」と回答している。

7-1. 「福祉のリアルを伝える福祉教育」について、 周りの方（同僚等）に紹介したいと思いますか。（N=25）



7-2. 前問のように回答した理由をお聞かせください。（原文ママ、抜粋）

※7-1. に「是非紹介したい」と回答した参加者の回答

- もっと、多くの方に興味を持っていただきたいと思うので。教員自身が知らないといけないことが大変多いため、まずは福祉を、地域を知るために伝えたい。
- きっとこのような視点を持つことがどの教科科目であっても必要だと考えるから。
- 私自身、福祉について偏見があった。福祉教育は偏見や固定観念を持つ前であったり、考えが柔軟であったりする子どもたちに有用だと思う
- 講話の中でもあったが、カリキュラムに組み込まれたからと言って福祉をどのように扱えば良いかと悩む学校現場は多いと思う。そういった人に知ってもらい、活用してもらいたいと思うため。
- 周りも同じ課題を抱えているから

2. 各事業詳細 (1)福祉教育事業

(1.7) 事業総括

- ✓ 福祉教育事業の実施を通じて、高校生、中学生、小学生の介護・福祉に対する関心を高める事ができた。
- ✓ それだけでなく、福祉教育の担い手である福祉事業者や学校教員間のネットワークを構築することもでき、福祉教育の更なる普及が期待される。

①福祉教育を全国8エリア40校以上に展開し、全国に福祉教育を普及させることができた

- 北海道から福岡まで全国8エリアの高等学校、中学校、小学校を対象に43校に対して福祉教育を実施することができた。
- 福祉教育参加者数が前年の2,892人から5,241人にまで増加したことに加え、対象エリアの拡大により、福祉教育に携わる福祉実践者を増やすことができ、福祉教育を拡大することができた。

②生徒の日常と介護・福祉をリンクさせた授業を行うことで、介護・福祉に対する関心を向上させることができた

- 各エリアの福祉実践者が地域や事業者の特色を活かし介護・福祉を日常とリンクさせた授業を実施することで、受講生に介護・福祉の魅力を伝えることができた。これにより、介護・福祉に対する関心が薄かった受講生の介護・福祉に対する関心を高めることができた。
- また、一部学生は、福祉教育受講を機に介護・福祉業界を将来の進路の一つとして考えるようになり、介護事業所へのインターン参加などの行動変容も見られた。

③福祉教育の担い手となる福祉事業者や学校教員のネットワークを構築することができた

- 福祉教育実践者である福祉事業者や学校教員向けの研究会を実施することで、福祉教育を推し進めるネットワークを構築することができた。
- また、研修会にて福祉教育の取り組み事例や授業用動画の共有を行うことで、福祉事業者や学校教員の動機づけにつながっており、福祉教育の更なる普及が期待される。

1. 介護のしごとと魅力発信等事業

ターゲット別魅力発信事業（若年層向け）

2. 各事業詳細

(1)福祉教育事業

(2)裾野拡大事業

(3)介護の仕事研究セミナー事業

(4)介護就職マッチング事業

3. 全体総括

2. 各事業詳細 (2)裾野拡大事業

(2.1) 事業概要

■ 事業の目的

福祉・介護分野への理解・関心が低い、あるいは乏しい学生に向けて福祉の魅力を発信することで、これからの福祉・介護分野の担い手となる多様な人材の発掘と参入促進を図る

■ ターゲット

福祉・介護に未関心・低関心の大学生・専門学校生

■ 実施内容

1. オンラインイベント

2. オンラインゼミナール

福祉・介護に未関心・低関心の大学生・専門学校生に向けてオンラインイベントおよびゼミナールを行う。

3. マルチメディア展開による周知広報

福祉・介護分野に対する理解・関心が乏しい大学生等に幅広いアプローチを行うためにイベントを動画メディア、テキストメディアに変換しての二次活用、WEB、note、Twitter、FacebookなどのSNSと連動されたマルチメディア展開を行う。

■ 成果目標

次ページ以降の直接アウトカム、KPI参照

■ 成果測定の方法

アンケート、インタビュー、参加者数の測定

2. 各事業詳細 (2)裾野拡大事業

(2.2) 事業の要約 | 主要成果

✓ 本事業において以下の成果が得られた。

活動	No	KPI指標	目標	実績	詳細内容
オンラインイベント	①	参加人数	300人	199人	
	②	満足度	80%	77.7%	5段階評価で4以上の回答の割合
	③	介護・福祉への関心度合い	80%	79.7%	イベント後の介護・福祉への関心が5段階評価で4以上の回答の割合
	④	介護・福祉分野への進学・就職意欲	50%	53.7%	イベント後の介護・福祉分野への進学・就職意欲が5段階評価中4以上の回答の割合
オンラインゼミナール	⑤	参加人数	120人	379人	
	⑥	満足度	80%	97%	5段階評価で4以上の回答の割合
	⑦	介護・福祉への関心度合い	80%	82.7%	イベント後の介護・福祉への関心が5段階評価で4以上の回答の割合
マルチメディア展開による周知広報	⑧	介護・福祉分野への進学・就職意欲	50%	61.6%	イベント後の介護・福祉分野への進学・就職意欲が5段階評価中4以上の回答の割合
	⑨	リーチ数	600人	995人	フォロワーの増加数

2. 各事業詳細 (1)福祉教育事業

(2.3) 実施スケジュール

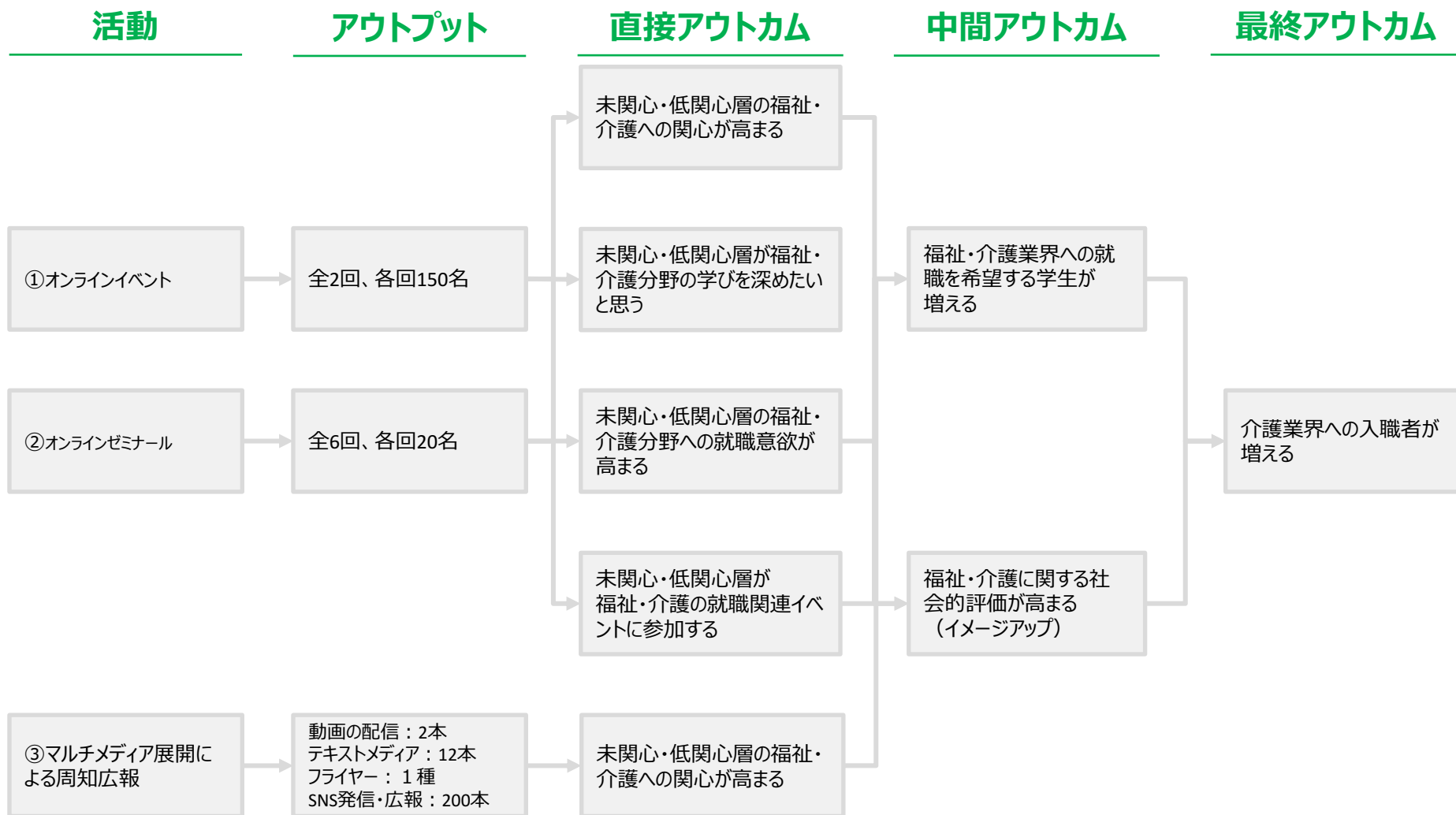
✓ 本事業の実施スケジュールは下記の通りである。

活動	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1. オンラインイベント		企画・講師依頼			第1回 9/11	第2回 10/16	第3回 11/20				
				広報							
2. オンラインゼミナール		企画・講師依頼				第1回 10/6	第2回 11/3	第3回 12/8	広報	第4回 (2/23) 第5回 (2/28)	第6回 3/21
				広報			企画・講師依頼				
3. マルチメディア展開による周知広報	Twitter,Facebook等を用いた情報発信										
4. 企画委員会			第1回 7/1		第2回 9/2,3			第3回 12/22			第4回 3/1,2

2. 各事業詳細 (2)裾野拡大事業

(2.4) 成果目標 | 活動と成果指標 【ターゲット】 未関心・低関心の大学生・専門学校生

✓ 直接アウトカムが本事業の今年度を目指すべき成果である。



2. 各事業詳細 (2)裾野拡大事業

(2.4) 成果目標 | KPI指標と測定方法

✓ アウトカムを計測するためにKPI指標とデータの収集法を下記の通り定めた。

活動	ターゲット	アウトカム	KPI指標	目標	データ収集法
オンラインイベント	介護・福祉分野への関心が低い（あるいは関心がない） 大学生・専門学校生	福祉・介護への関心が高まる	参加後の福祉・介護に対する関心が参加前より高まったかどうか	80%以上（5段階評価の4以上の割合）	イベント後アンケート
		福祉・介護分野の学びを深めたいと思う	今後も福祉・介護の学びを深めていきたいかどうか		
		福祉・介護分野への進学・就職意欲が高まる	参加後の福祉・介護分野への進学・就職意欲が参加前より高まったかどうか	50%以上（5段階評価の4以上の割合）	
		福祉・介護の就職関連イベントに参加する	就職関連イベント参加者数		
オンラインゼミナール		福祉・介護への関心が高まる	参加後の福祉・介護に対する関心が参加前より高まったかどうか	80%以上（5段階評価の4以上の割合）	セミナー後アンケート
		福祉・介護分野の学びを深めたいと思う	参加後も福祉・介護の学びを深めていきたいかどうか		
		福祉・介護分野への進学・就職意欲が高まる	参加後の福祉・介護分野への進学・就職意欲が参加前より高まったかどうか	50%以上（5段階評価の4以上の割合）	
		福祉・介護の就職関連イベントに参加する	就職関連イベント参加者数		
マルチメディア展開による周知広報		福祉・介護への関心が高まる	情報発信によってリーチした人数	600名以上	各メディアのアクセス数、コメント数等の解析

2. 各事業詳細 (2)裾野拡大事業

(2.5) 実施内容 | ①オンラインイベント | SOCIAL WORKERS TALK2021

- ✓ 「福祉的なつながり」を生み出すゲストを広く「ソーシャルワーカー」と捉え、オンラインにて対談イベントを実施した。



SOCIAL WORKERS TALK 2021 「つながりのデザイン」

社会は「つながり=関係性」で成り立っています。そして「福祉」とは、個人と個人、個人と社会などの「つながり」を支えるものであり、「つながりをデザインする」という営みは、「福祉的」ともいえるのではないのでしょうか。そうした「福祉的なつながり」を生み出すゲストたちを広く「ソーシャルワーカー」と捉え、これからの社会における「つながり」や「福祉」の可能性や価値をともに探索していきます。

9/11 (土) 14時～15時30分

「つながりのデザイン」関連対談企画

「つながりのデザインって何だろう？」

馬場 拓也 社会福祉法人豊川興寿会 常務理事
田中 悠介 designと 代表 / デザイナー
今津 新之助 SOCIAL WORKERS LAB ディレクター



10/16 (土) 14時～16時

Vol.1 「地域とのつながりが生まれる場所」

金野 千恵 建築家 teco 主宰 / 京都工芸繊維大学 特任准教授
飯田 大輔 社会福祉法人福祉楽団 理事長 / 株式会社忍する藤研究所 代表取締役



11/20 (土) 14時～16時

Vol.2 「カルチャー、メディア、ふくし」

小野 裕之 greenz.jp ビジネスアドバイザー / 株式会社散歩社 代表取締役
中田 一会 マガジンハウス「こここ」編集長 / 株式会社きてん企画室 代表



2. 各事業詳細 (2)裾野拡大事業

(2.5) 実施内容 | ②オンラインゼミナール | 壤 (JYOU) スピンオフゼミ

- ✓ 広義で福祉的活動を行っているゲストを招き、ゲストと共に福祉について探求するゼミナールを実施した。



WEBメディア「壤 (JYOU)」 スピンオフゼミ

SOCIAL WORKERS LABが今年3月にリリースしたメディア「壤 (JYOU)」では、多様な業界・領域に散らばる福祉の視点をもったひと・もの・ことを可視化し、すき込むことで、「私たちはどうすれば幸せに暮らせるのか」や、「そもそも幸せな暮らしとはなにか」を模索してきました。今回は、「壤 (JYOU)」のインタビュー記事でお話しいただいたゲストの方々をお迎えして、スピンオフゼミを開催します。

10/6 (水) 20時～21時30分

Vol.1 「居てもいい場所」をデザインする
にじんだ線で描かれるこれからの建築

山崎 健太郎 建築家



11/3 (水) 20時～21時30分

Vol.2 答えをくれたのは子どもたち
「おやこ保育園」から溶けはじめる
家族の線、社会の線

小笠原 舞 こどもみらい探求社 共同代表



12/8 (水) 20時～21時30分

Vol.3 ラベルを剥いだのちに見つかる
「自分らしさ」を祝福する

大谷 明日香 Creative Studio REING 代表



2. 各事業詳細 (2)裾野拡大事業

(2.5) 実施内容 | ②オンラインゼミナール | 壤 (JYOU) スピンオフゼミ

- ✓ 従来より福祉に触れてきた学生が、自身の感覚として福祉をどう捉えているかを話すイベントや「福祉とまちづくり」、「高齢福祉」をテーマとしてゼミナールを実施した。

さようなら!

ひとつと。

こんにちは!

じぶんごと、

2022年2月23日(水)

19時30分～21時

対象: 25歳以下の学生または社会人

参加費無料/オンライン開催

【登壇学生】高橋 侑里、山本 斐海、鷺谷 建

【モデレーター】大澤 健

福祉とまちづくりの交差するところ

— これからの地域社会のあり方・つくり方 —

国家NPO法人
クリエイティブサポートレッツ

代表 久保田 器

東部の知的障害者「たけし」との出会いをきっかけに、静岡県浜松市を拠点に、年齢・性別・年齢など一人ひとりが違っていることを前提に、それぞれがあるがまま共生できる地域づくりに取り組む。

社会福祉法人
みなやま福祉会


理事 柳田 啓

静岡県北隣の東門津市で、乳幼児、児童発達支援、養育院、障がい者の療育や通いの場、高齢者のグループホームや在宅生活支援など、京丹波で築き上げてきた誰もが心豊かで安心した生活を築くことを支える活動を展開

2022年2月28日(月)

19時～21時

参加費無料/オンライン開催



2022.03.21(月)
20時～22時

ゲスト
山本 遼 R65不動産 代表取締役
藤岡 聡子 ほっちのロッジ 共同代表
福祉環境設計士

モデレーター
竹端 寛 兵庫県立大学環境人間学部准教授
福祉社会学者

まで生きたい?

2. 各事業詳細 (2)裾野拡大事業

(2.5) 実施内容 | ③マルチメディアに展開による周知広報

■ 実施概要

- 福祉・介護分野に未関心・低関心な大学生・専門学校生に対して、幅広いアプローチを行うためにSNS等を用いた周知広報を実施する。
- SNSでの発信を通じて、福祉・介護分野と触れうる多様な接点を作り、オンラインイベント、ゼミナールへの参加を促す。
- オンラインイベントやゼミナールを動画メディア、テキストメディアに変換し、二次活用を行うことで介護・福祉の魅力を周知する。

媒体	投稿内容（記載内容）
Twitter	<ul style="list-style-type: none">イベントの告知イベント関連の記事の紹介福祉・ソーシャルワーカーに関する投稿
Facebook	<ul style="list-style-type: none">イベントの告知イベント関連の記事の紹介福祉・ソーシャルワーカーに関する投稿
note	<ul style="list-style-type: none">イベント内容の紹介
Peatix	<ul style="list-style-type: none">イベント紹介と申込ページ

SOCIAL WORKERS LAB (SWLAB) @swlab_official · 2021年9月23日 ...

【Event! WEBメディア「壊 (JYOU)」スピンオフゼミ開催!】
SWLABが昨年度制作したメディア「壊 (JYOU)」[jyou.media](#)でインタビューした方々をゲストにお迎えして、その視点や価値観・あり方などを紐解いていくゼミを開催します。

ゲストにお迎えする方々と、日程の詳細はスレッドへ↓

[jyou.media](#)
壊 (JYOU) - さわって確かめたいあります。元々!

【note記事公開!】
9/11(土)に開催した対談企画の様子を、記事にしました。*

「これからの社会における『つながり』や『福祉』の可能性と価値に対する、示唆に富む濃密な時間となりました。」（記事中より）

内容はnoteからご確認ください📌

SOCIAL WORKERS TALK 2021
「つながりのデザイン」関連対談企画

つながりのデザインって何だろう?

note.com
つながりのデザインって何だろう? | SOCIAL WORKERS TALK 2021 | 関連...
SOCIAL WORKERS LAB (以下SWLAB) は、ソーシャルワーカーという概念を介し、多様な人々が出会い、関わり、学び合う社会実験プロジェクト。3年目...

2. 各事業詳細 (2)裾野拡大事業

(2.6) 事業成果 | ①オンラインイベント

- ✓ イベント実施後にアンケートを実施した。
- ✓ アンケート項目は下記の通りである。

アンケート

参加者情報	<ul style="list-style-type: none">• お名前• あなたの職業を教えてください
満足度	<ul style="list-style-type: none">• 満足度をお聞かせください• 印象に残ったことをお聞かせください
福祉との関わり	<ul style="list-style-type: none">• あなたと「福祉」との関わりについて教えてください（複数回答可）• あなたの身のまわりにはどのような「福祉」がありますか。本日のイベントを通じて気付いた、身のまわりの「福祉」についてお聞かせください。
福祉に対する関心度合い	<ul style="list-style-type: none">• イベントに参加する前の「福祉」に対する関心度について、お聞かせください• イベント後の「福祉」に対する関心度について、お聞かせください• 本イベントを通じて、「福祉」に対する関心度について何かしらの変化を感じられた方は、その理由をお聞かせください（特に変化がなかった場合は「特になし」とご記載ください）
今後実施したいこと	<ul style="list-style-type: none">• 「福祉」について、今後実施してみたいことを教えてください（複数回答可）
福祉、介護業界への進学・就職意欲	<ul style="list-style-type: none">• イベントに参加する前の「福祉」を自らの仕事にしていくこと（就職や転職、副業や複業の一つなど）について、お聞かせください。• イベント後の「福祉」を自らの仕事にしていくこと（就職や転職、副業や複業の一つなど）について、お聞かせください。• 本イベントを通じて、「福祉」を仕事にしていくこと（就職や転職、副業や複業の一つなど）について、何かしらの変化を感じられた方は、その理由をお聞かせください（特に変化がなかった場合は「特になし」とご記載ください）
	<ul style="list-style-type: none">• ご自由にご要望やご感想をいただけましたら幸いです（任意回答）

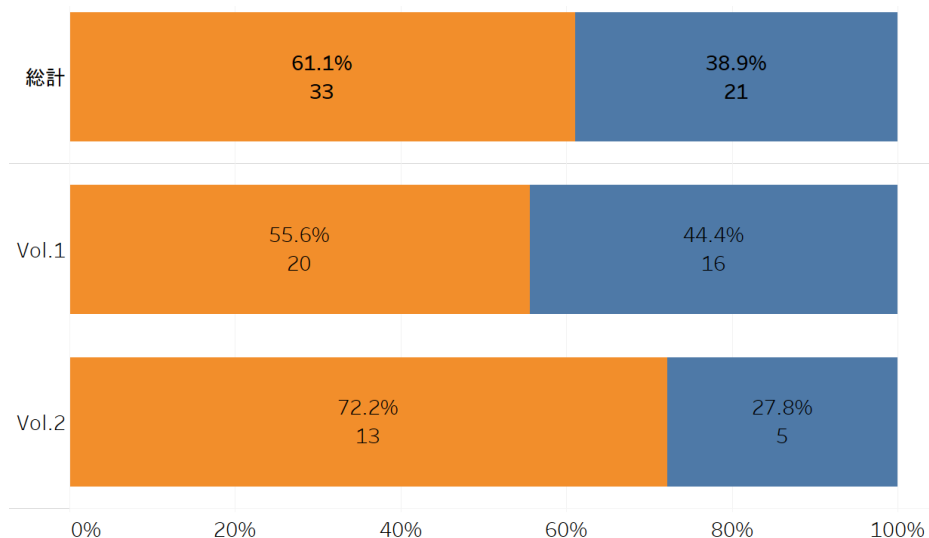
2. 各事業詳細 (2)裾野拡大事業 (2.6) 事業成果 | ①オンラインイベント

- ✓ 回答者を属性ごとにみると、学生が21名であった。
- ✓ 学生参加者のうち、大学3年生が最も多かった。

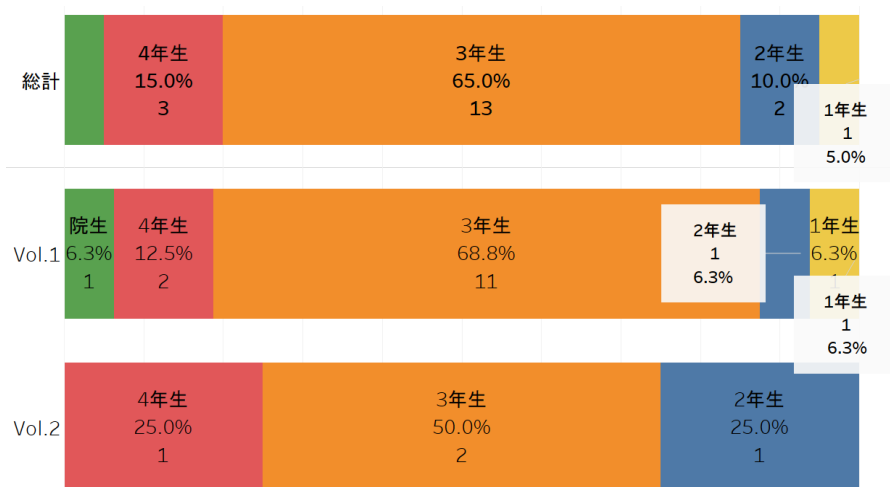
参加者数 (総計と各回)

第1回	136名 (うち学生51名)
第2回	63名 (うち学生21名)
総計	199名 (うち学生72名)

回答者数 (総計と各回)



回答者数 (学生、総計と各回)



1-2 あなたの職業を教えてください

- 学生 (N=21)
- 社会人 (N=33)

2. 各事業詳細 (2)裾野拡大事業

(2.6) 事業成果 | ①オンラインイベント

- ✓ 全回答者のうち、8割近く（5段階評価の4以上の割合）がイベントに満足していると回答している。
- ✓ 参加者ごとに満足度を見ると、学生の8割ほど（5段階評価の4以上の割合）がイベントに満足している。

2-1 満足度をお聞かせください (N=54)



2-2 印象に残ったことをお聞かせください (原文ママ、抜粋)

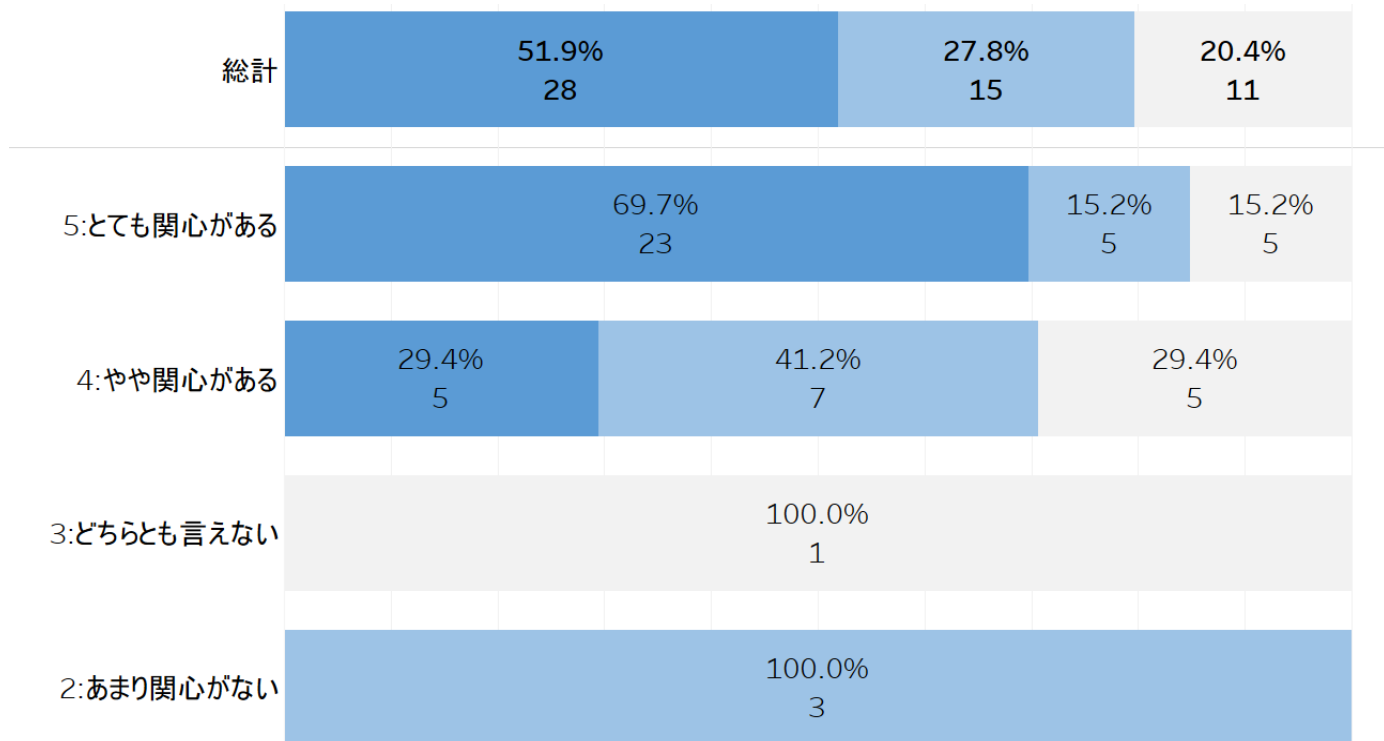
- 福祉を福祉業界の専門家だけでなく、**多様な分野・職種の人が協働して担っていくことが重要である**と感じさせて頂きました。
- 福祉の施設を地域に開いた形にして、**自然に人が集まるような機能を持たせること、で多世代交流を促すことができる**というお話が印象的でした。
- ガツガツ押し付けるのではなく**世の中をほぐす役割としてのメディアや取り組みのお話**が印象に残りました。

2. 各事業詳細 (2)裾野拡大事業

(2.6) 事業成果 | ①オンラインイベント

- ✓ 「福祉」に対する関心度合いが高まったと（5段階評価の4以上）回答した割合が8割近くを占めており、イベントを通じて福祉に対する関心度合いを高めることが出来たといえる。
- ✓ イベント参加前に「あまり関心がない」と回答していた参加者全員の関心度合いを高めることができた。

3-3 イベント後の「福祉」に対する関心度について、お聞かせください (N=54)



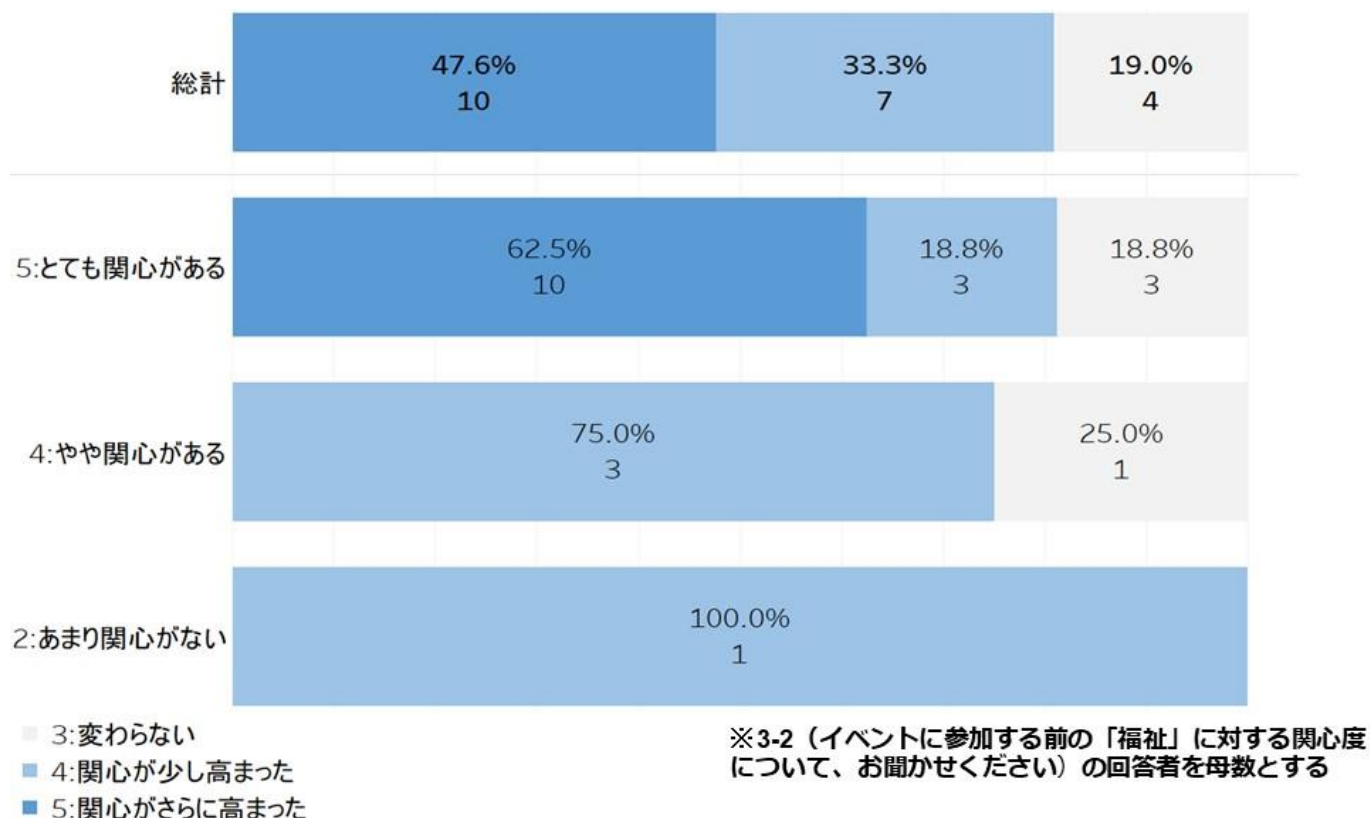
- 3:変わらない
- 4:関心が少し高まった
- 5:関心がさらに高まった

※3-2（イベントに参加する前の「福祉」に対する関心度について、お聞かせください）の回答者を母数とする

2. 各事業詳細 (2)裾野拡大事業 (2.6) 事業成果 | ①オンラインイベント

- ✓ 学生の回答を見ると、イベント参加前の福祉に対する関心度合いに関わらず、イベントを通じて福祉に対する関心度合いを高めることができたといえる。

3-3 イベント後の「福祉」に対する関心度について、お聞かせください (学生N=21)



(2.6) 事業成果 | ①オンラインイベント

3-4 本イベントを通じて、「福祉」に対する関心度について何かしらの変化を感じられた方は、その理由をお聞かせください（特に変換がなかった場合は「特になし」とご記載ください）（原文ママ、抜粋）

- 福祉の定義自体が拡張され、公共である認識が非常に強まったからです。
- 今回の建築のように、さまざまな視点から福祉を考えることができると思ったから。
- 福祉、ケアというものは思っているよりも幅広い概念であると感じた。社会の中での福祉に対する需要は増えているにもかかわらず、福祉の側はまだそこに追いついていない、体制が古いままであるように感じ、福祉楽団さんのようにやり方をアップデートしていくことの必要性和面白さを感じたから。
- 福祉に関して自分に何ができるのだろうかと思っていましたが、趣味のように活動する形でも良いというのを聞き、できることがたくさんあるのではないかと思いました
- もともと福祉にはとても興味がありましたが、新たな視点（例えばそれぞれの考え方や興味関心の度合いがあっいい。それが自然で、すべてを極めるように強いる必要はない）が得られた気がします。

(2.6) 事業成果 | ①オンラインイベント

3-5 あなたの身のまわりにはどのような「福祉」がありますか。本日のイベントを通じて気付いた、身のまわりの「福祉」についてお聞かせください（原文ママ、抜粋）

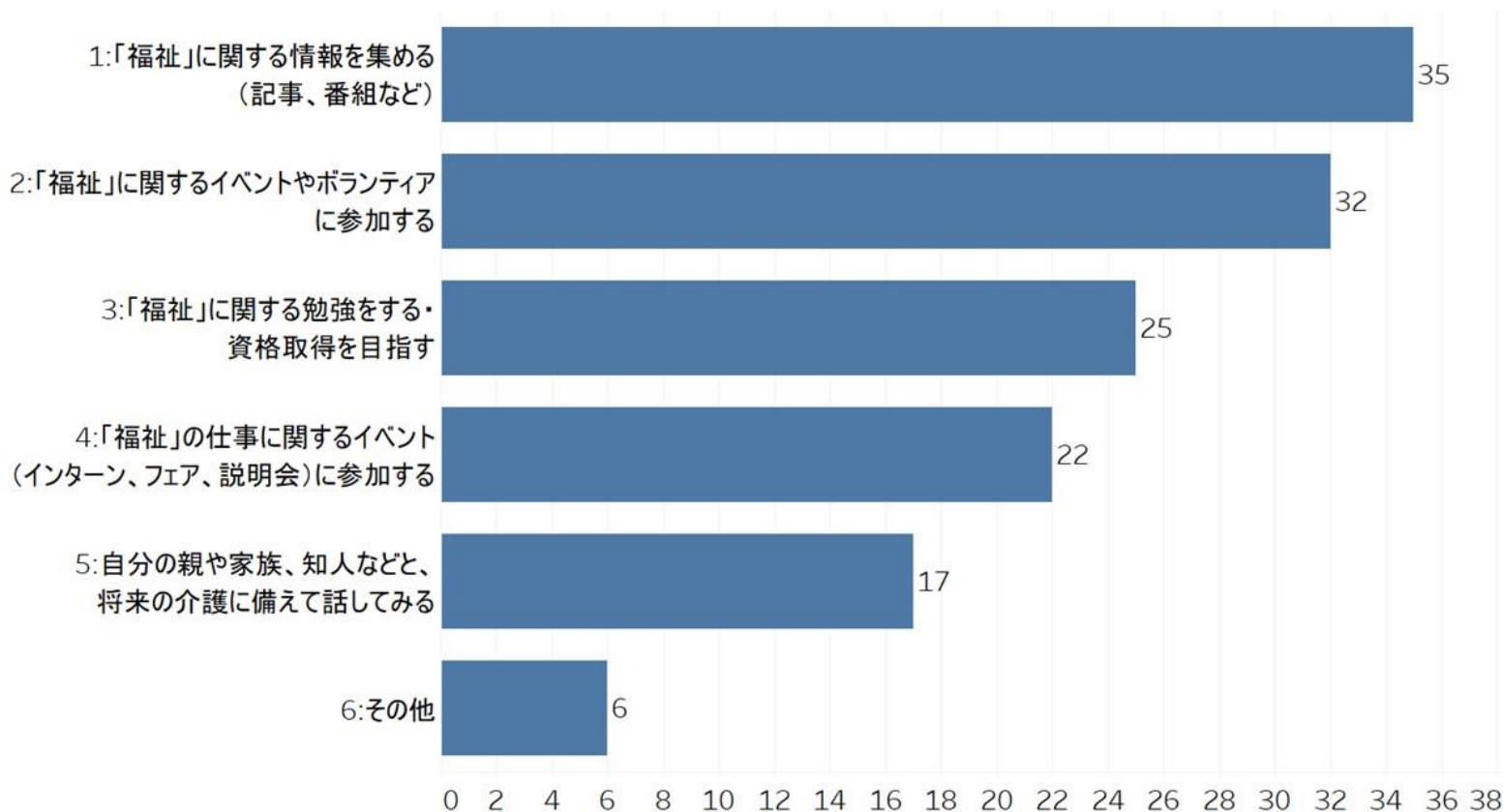
- **人と人と出会い、感じることも福祉だと感じた。そして、一休みする空間があるということもケアだとわかった。**
- **今回のお話を通して、多様な人々が自然と同じ時間を過ごすことができるような公園や商店街、図書館といった公共空間も、一種の福祉であると学ばせて頂きました。**
- **地域内における人々のつながり。(町内会でもなんでも)**
- **目線を同じくする、という意味合いで、コロナ禍において疎遠になってしまった友人に声をかける、これも福祉的な行動だと感じました。**
- **資格はないけど、人が人を思って関わろうとするつながり（良くも悪くもなる）**
- **祖父母との暮らし、地域の方々への挨拶、三世帯での暮らし、もっと言うと知らない知識を分け合う暮らし、野菜や手芸などをいただく暮らし、お歳暮やお中元をあげる暮らし、自分がいかにテイカーであるかがわかりました。**

2. 各事業詳細 (2)裾野拡大事業

(2.6) 事業成果 | ①オンラインイベント

- ✓ 「1:『介護』に関する情報を集める（記事、番組など）」という回答が最も多かった。次いで、「2:『福祉』に関するイベントやボランティアに参加する」という回答が多かった。

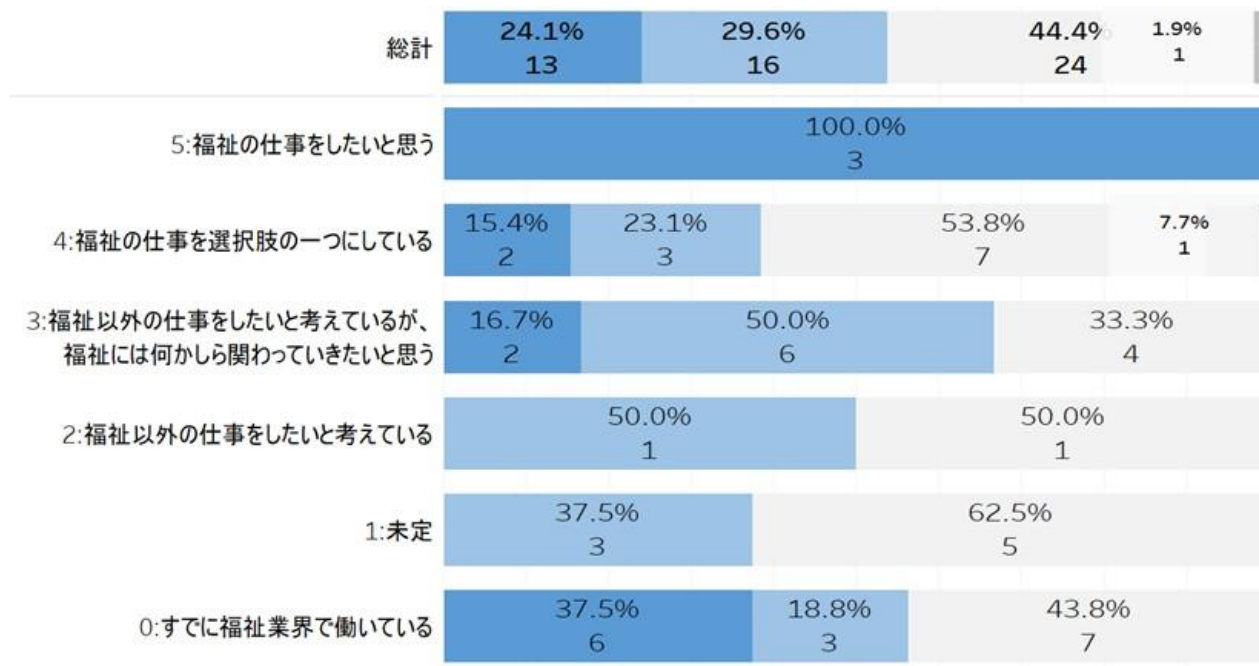
3-6. 「福祉」について、今後実施してみたいことを教えてください（複数回答可）



2. 各事業詳細 (2)裾野拡大事業 (2.6) 事業成果 | ①オンラインイベント

- ✓ 参加者の5割以上がイベントを通じて福祉の仕事をする意欲が高まった（5段階評価の4以上）と回答している。
- ✓ イベント前に「福祉以外の仕事をしたいと考えている」と回答した参加者の半数が福祉の仕事への意欲が高まったと回答しており、元々の就職意欲に関わらず、参加者の一定数の就職意欲を高めることができた。

4-2 イベント後の「福祉」を自らの仕事にしていくこと (就職や転職、副業や複業の一つなど) について、お聞かせください (N=54)



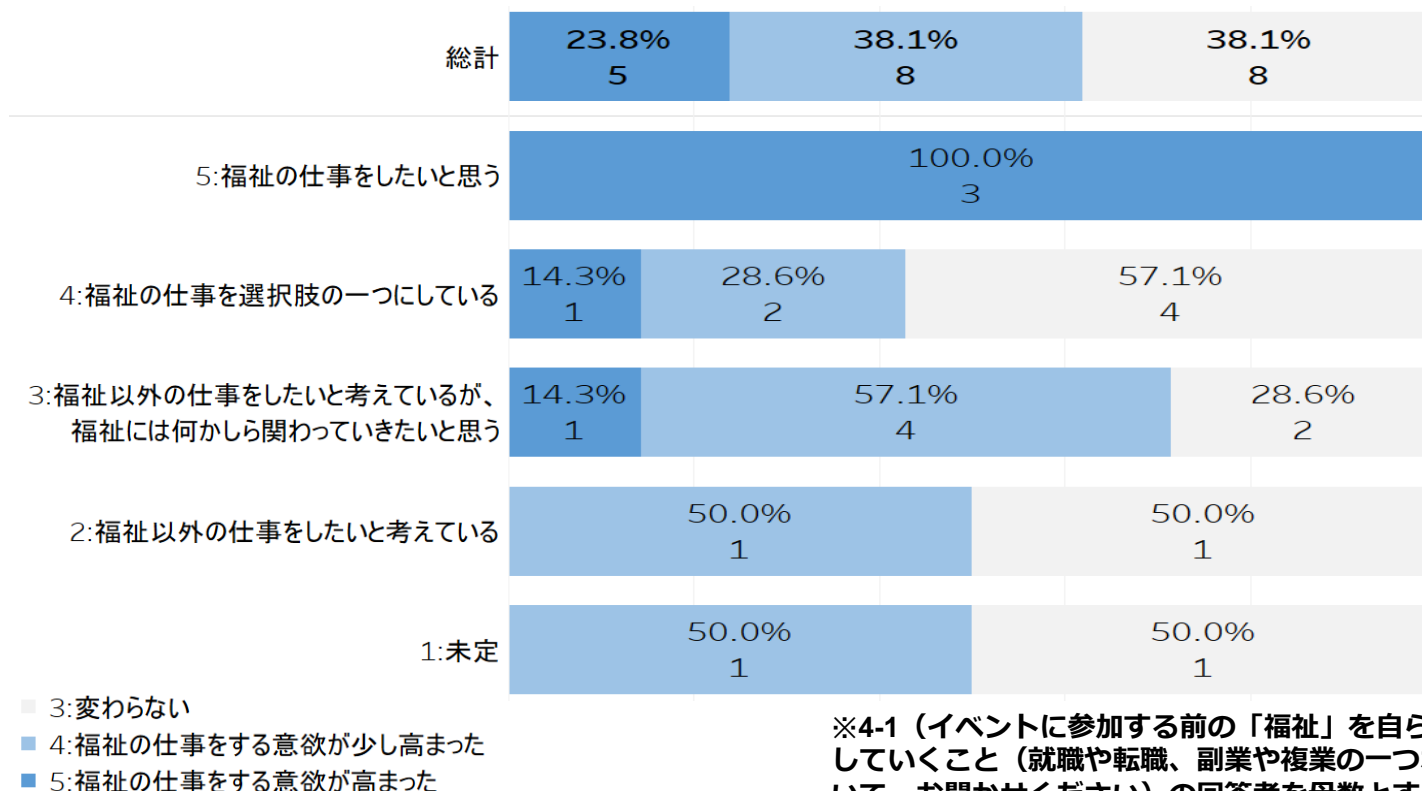
- 2:福祉の仕事をする意欲が少し下がった
- 3:変わらない
- 4:福祉の仕事をする意欲が少し高まった
- 5:福祉の仕事をする意欲が高まった

※4-1 (イベントに参加する前の「福祉」を自らの仕事にしていくこと (就職や転職、副業や複業の一つなど) について、お聞かせください) の回答者を母数とする

2. 各事業詳細 (2)裾野拡大事業 (2.6) 事業成果 | ①オンラインイベント

- ✓ 学生の回答を見ると、参加者の5割以上がイベント後に「福祉の仕事をする意欲が高まった」と回答している。
- ✓ イベント前に「未定」、「福祉以外の仕事をしたいと考えている」、「福祉以外の仕事をしたいと考えているが、福祉には何かしら関わっていききたいと思う」と回答した参加者の半数以上の福祉の仕事への意欲を高めることができた。

4-2 イベント後の「福祉」を自らの仕事にしていくこと (就職や転職、副業や複業の一つなど) について、お聞かせください (学生N=21)



※4-1 (イベントに参加する前の「福祉」を自らの仕事にしていくこと (就職や転職、副業や複業の一つなど) について、お聞かせください) の回答者を母数とする

(2.6) 事業成果 | ①オンラインイベント

4-3 本イベントを通じて、「福祉」を仕事にしていくこと（就職や転職、副業や複業の一つなど）について、何かしらの変化を感じられた方は、その理由をお聞かせください（特に変化がなかった場合は「特になし」とご記載ください）（原文ママ、抜粋）

- **福祉が想像以上に奥が深いものであり、実際に関わってみないとその楽しさ、面白さ含め理解できることは少ないと感じられた。**
- **やはり福祉は身近なものであるため、私たちの生活と切り離せないと感じたから。**
- **従来型の福祉から、福祉の分野の外にも視野を広げ幅広い活動を行っていくことが今後求められる、そういった意味で福祉の可能性は無限大だと感じ、自分も何かしらそこに携われたらと感じたから。**
- **福祉以外のことを学んできたからこそ福祉で生かせることがあるかもしれないと感じたから。**
- **私自身の主軸は農・食に置くと思いますが、そこに福祉を混ぜていきたいとはつくづく考えていました。上記の通り、新たな視点が得られ、そのことで混ぜ方についてのアイデアをさらに膨らますきっかけとなりました。**
- **本イベントを通じて、福祉は様々な背景をもった人々による協働であって左記によって福祉を達成すると解釈できました。ですので、従前の福祉の考え方でのかわりではなく、自分の土俵で福祉に関わりたと思いました。**

2. 各事業詳細 (2)裾野拡大事業

(2.6) 事業成果 | ②オンラインゼミナール

- ✓ イベント実施後にアンケートを実施した。
- ✓ アンケート項目は下記の通りである。

アンケート

参加者情報	<ul style="list-style-type: none">• お名前• あなたの属性を教えてください
満足度	<ul style="list-style-type: none">• 本イベントの満足度をお聞かせください• 本イベントで印象に残ったことをお聞かせください
福祉との関わり	<ul style="list-style-type: none">• あなたと「福祉」との関わりについて教えてください（複数回答可）• あなたの身のまわりにはどのような「福祉」がありますか。本日のイベントを通じて気付いた、身のまわりの「福祉」についてお聞かせください。
福祉に対する関心度合い	<ul style="list-style-type: none">• イベントに参加する前の「福祉」に対する関心度について、お聞かせください• イベント後の「福祉」に対する関心度について、お聞かせください• 本イベントを通じて、「福祉」に対する関心度について何かしらの変化を感じられた方は、その理由をお聞かせください（特に変化がなかった場合は「特になし」とご記載ください）
今後実施したいこと	<ul style="list-style-type: none">• 「福祉」について、今後実施してみたいことを教えてください（複数回答可）
福祉、介護業界への進学・就職意欲	<ul style="list-style-type: none">• イベントに参加する前の「福祉」を自らの仕事にしていくこと（就職や転職、副業や複業の一つなど）について、お聞かせいただければ幸いです• イベント後の「福祉」を自らの仕事にしていくこと（就職や転職、副業や複業の一つなど）について、お聞かせいただければ幸いです• 本イベントを通じて、「福祉」を仕事にしていくこと（就職や転職、副業や複業の一つなど）について、何かしらの変化を感じられた方は、その理由をお聞かせください（特に変化がなかった場合は「特になし」とご記載ください）
	<ul style="list-style-type: none">• その他自由にご要望やご感想をいただけましたら、うれしいです（任意回答）

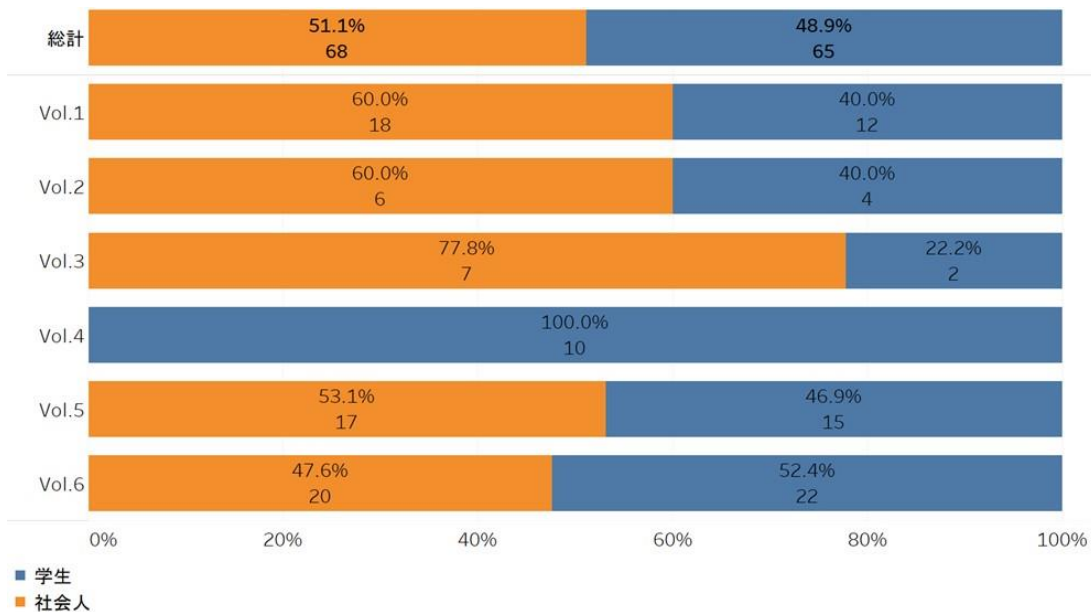
2. 各事業詳細 (2)裾野拡大事業 (2.6) 事業成果 | ②オンラインゼミナール

✓ 参加者数及び回答者は下記の通りである。

参加者数 (総計と各回)

第1回	74名 (うち学生26名)
第2回	36名 (うち学生14名)
第3回	38名 (うち学生19名)
第4回	34名 (学生のみ)
第5回	67名 (うち学生32名)
第6回	97名 (うち学生42名)
総計	346名 (うち学生167名)

回答者数 (N=133)

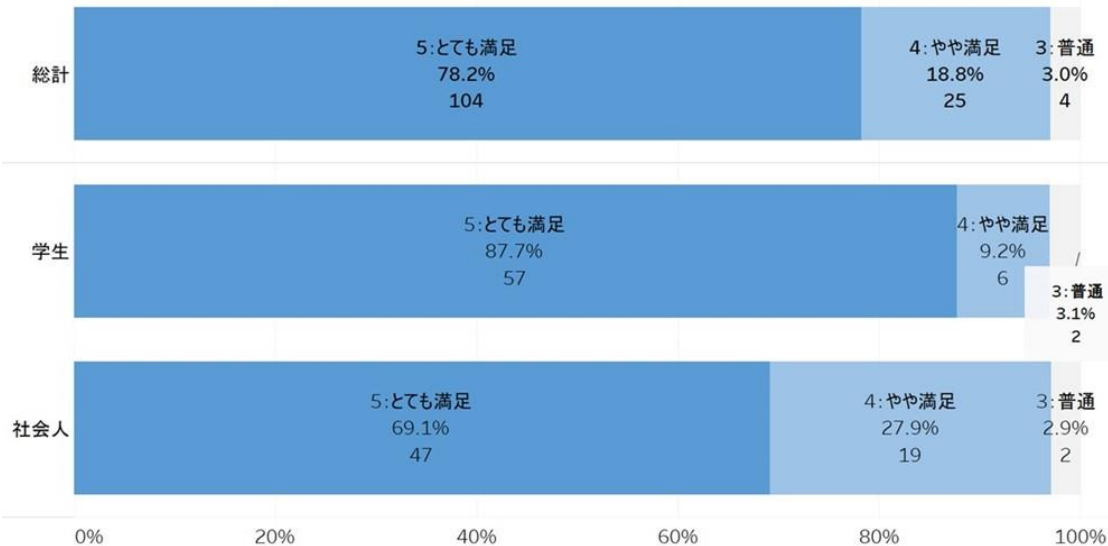


2. 各事業詳細 (2)裾野拡大事業

(2.6) 事業成果 | ②オンラインゼミナール

- ✓ 全回答者のうち、9割以上（5段階評価の4以上の割合）がイベントに満足していると回答している。
- ✓ 参加者ごとに満足度を見ると、全ての学生がイベントに満足している（5段階評価の4以上）と回答している。

2-1 本イベントの満足度をお聞かせください (N=133)



2-2 本イベントで印象に残ったことをお聞かせください（原文ママ、抜粋）

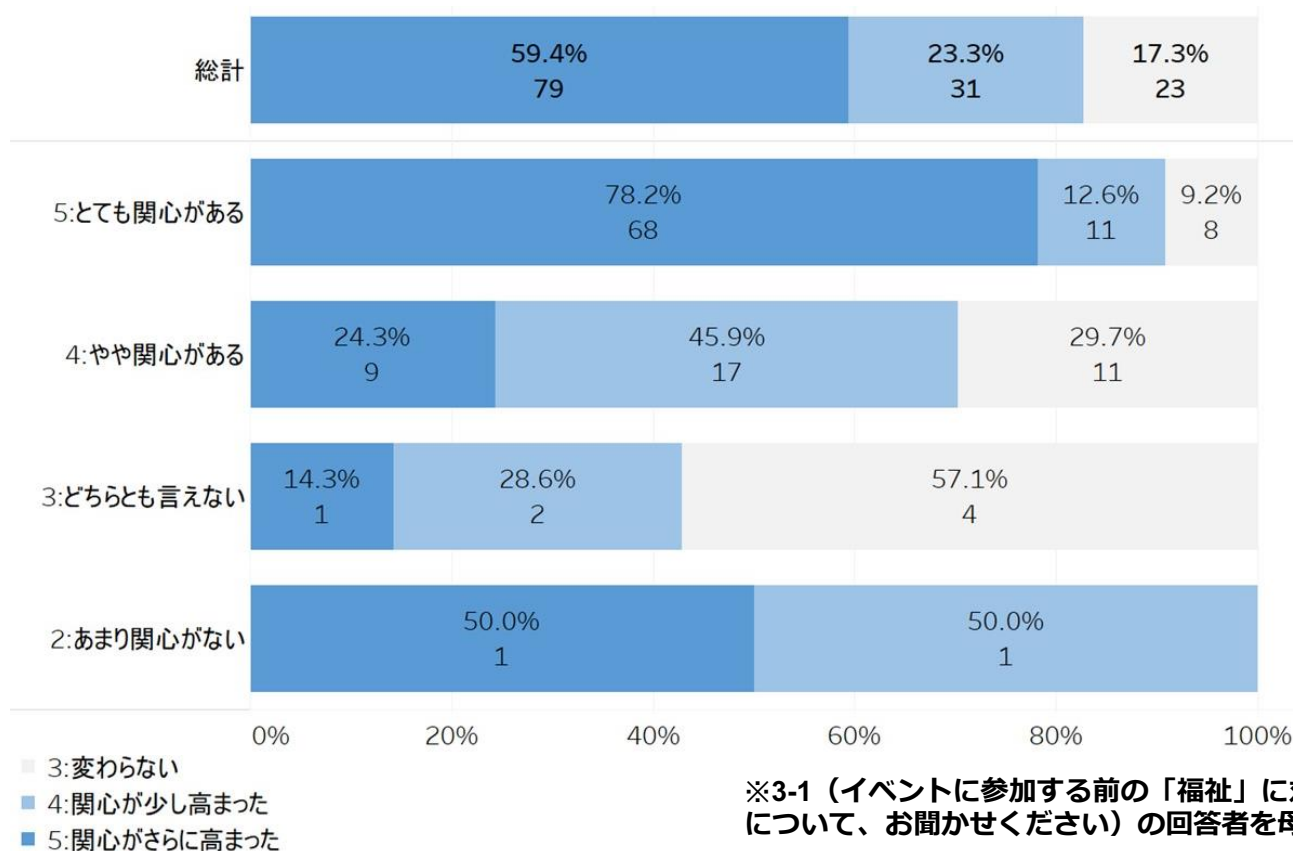
- 山崎さんの建築と人の関係の考え方や空間の意味の持たせ方など改めていまの「普通」にたいして疑問をもって見ることの大切さを気づかせていただきました。
- 他人と違う視点を持って物事を考えてみると見えてこなかったものが見えるということ。
- 「近くの異業種、同業種」という言葉が印象的でした。より客観的に自分のやっていることを見るため、素人である感覚を大切にすること、外の人と話すことをこれから大事にしていきたいと思いました。
- 他人に対して自分ごとにすることと自分に対しての自分ごとにすることの共通点に「感情が動く」という共通点があることが自分の中で印象に残りました。

2. 各事業詳細 (2)裾野拡大事業

(2.6) 事業成果 | ②オンラインゼミナール

- ✓ 参加者のうち、8割程度がイベント後に福祉に対する関心度合いが高まった（5段階評価の4以上）と回答している。
- ✓ イベント前に福祉に対して「あまり関心がない」と回答した参加者もイベントを通じて、関心が高まった。

3-2 イベント後の「福祉」に対する関心度について、お聞かせください (N=133)

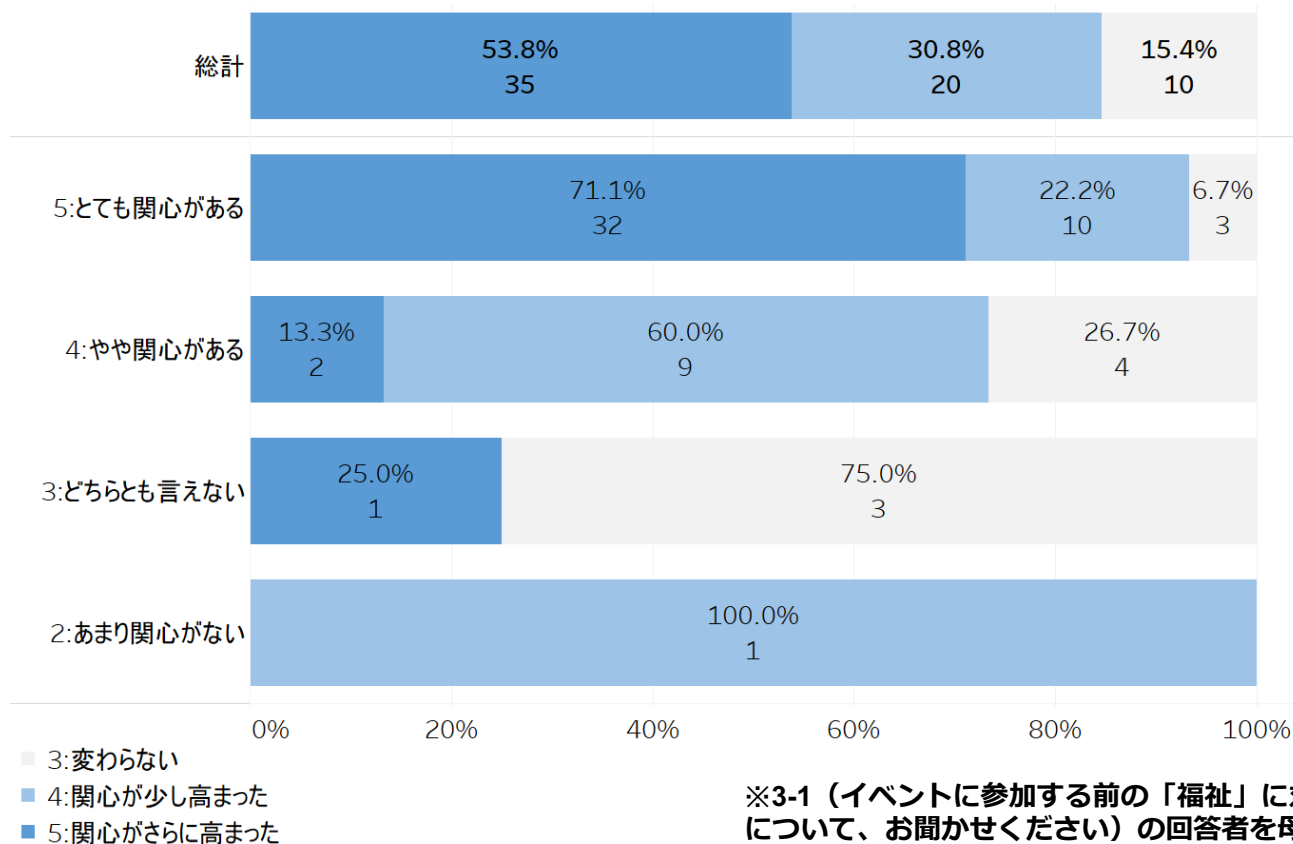


2. 各事業詳細 (2)裾野拡大事業

(2.6) 事業成果 | ②オンラインゼミナール

- ✓ 学生の回答を見ると、ほとんどの参加者のイベント前の福祉に対する関心度合いが高いことが分かる。
- ✓ イベントを通じて、イベント前より福祉に対する関心度合いが高い参加者の関心度合いを高めることができたが、イベント前の関心度合いに「どちらとも言えない」と回答した参加者の関心度合いに変化は見られなかった。

3-2 イベント後の「福祉」に対する関心度について、お聞かせください (N=65)



(2.6) 事業成果 | ②オンラインゼミナール

3-3 本イベントを通じて、「福祉」に対する関心度について何かしらの変化を感じられた方は、その理由をお聞かせください。

(特に変化がなかった場合は「特になし」とご記載ください)

- 福祉のdoをいかに魅力的に広げていくかということに焦点を当てすぎていましたが、福祉のbeingを別領域に持っていくことで、その領域での在り方や価値の広がりをお手伝いすることができるんだという、福祉の新しい可能性に気づきました。
- 凸凹のまま、あるがままに、という福祉的な考え方は違和感に気づくためにも、自分を守るためにも、ものすごく大切なものになりそうだと思います。
- 福祉の考え方が自分の価値観とフィットする感覚を味わったというスピーカーの方のお話や、それぞれ多様な関わり方で福祉に関心を寄せている先輩方のお話がどれも自分に新たな価値観を与えてくれたため、福祉への関心がさらに高まった。
- 福祉とまちづくりに関して、コミュニティや知り合いを増やしていくというお話の中で「人」が最も重要であることに気が付き、人に目を向けたことを行いたいと考えているため、より福祉への関心度が上がった。

(2.6) 事業成果 | ②オンラインゼミナール

3-4 あなたの身のまわりにはどのような「福祉」がありますか。本日のイベントを通じて気付いた、身のまわりの「福祉」についてお聞かせください。(原文ママ、抜粋)

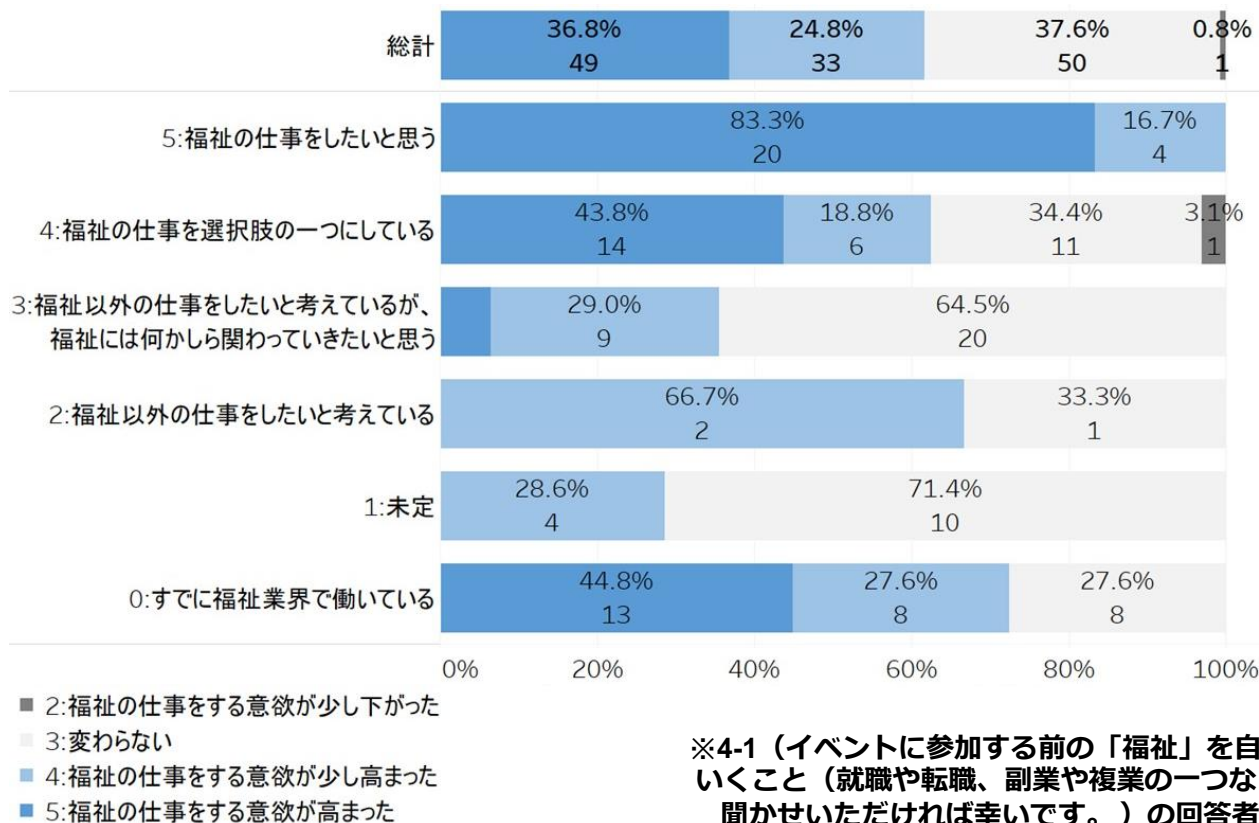
- **近所の一人暮らしのおばあさんとの挨拶は、地域のコミュニティづくりへの小さな第一歩として身の回りの福祉に当たるのではないかと思います。**
- **身の回りにあるもののほとんどは福祉だと思います。私の周りにいる人々や、物、建物などは全て私と関わり合っており、私や他者の人生をよりよくするために存在すると思うからです。人々の生活をよりよくするものは全て福祉だし、そこに人がいれば福祉は存在するし、福祉ってそういうものなのかなと思います。**
- **地域のボランティアです。少し手伝いが欲しい時にそのサポートをすることで、その方が助かることが福祉につながると思いました。**
- **自分の周りのことで疑問に思ったことやここをもっとよくしていきたいと考えたら発信し続けることは一見全く福祉に関係ないように見えて、社会をよりよくするための一種の福祉なのではないかと感じた。**
- **私の身の回りにある福祉は、人と人との関わり合いに関係する全てのことです。サービス・制度だけにとどまらない、一緒に何かを成し遂げようとする活動・行動が地域における福祉の向上につながっているのでは、？と思います。**

2. 各事業詳細 (2)裾野拡大事業

(2.6) 事業成果 | ②オンラインゼミナール

- ✓ 参加者の5割以上がイベントを通じて福祉の仕事をする意欲が高まった（5段階評価の4以上）と回答している。
- ✓ イベント前に「福祉以外の仕事をしたいと考えている」と回答した参加者の5割以上が福祉の仕事への意欲が高まったと回答しており、元々の就職意欲に関わらず、参加者の一定数の就職意欲を高めることができた。

4-2 イベント後の「福祉」を自らの仕事にしていくこと (就職や転職、副業や複業の一つなど) について、お聞かせいただければ幸いです。(N=133)



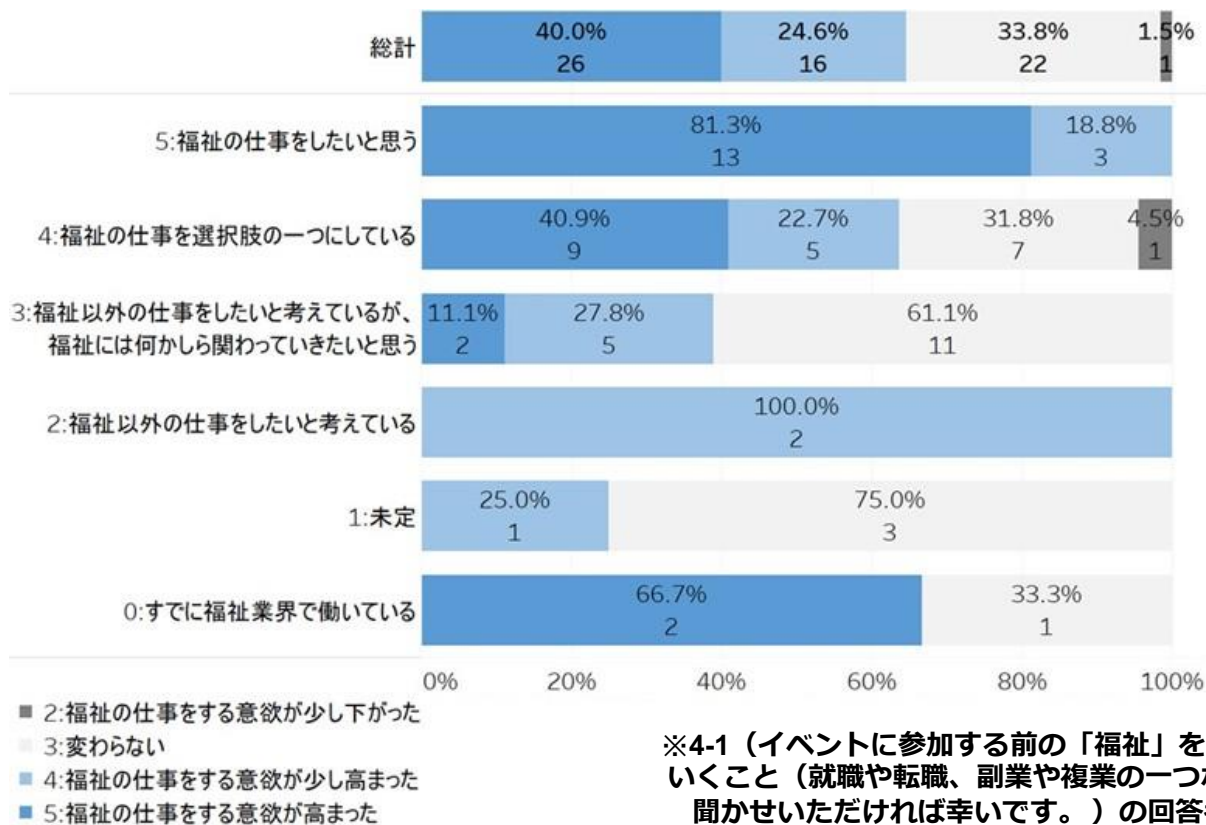
※4-1 (イベントに参加する前の「福祉」を自らの仕事にしていくこと(就職や転職、副業や複業の一つなど)について、お聞かせいただければ幸いです。)の回答者を母数とする

2. 各事業詳細 (2)裾野拡大事業

(2.6) 事業成果 | ②オンラインゼミナール

- ✓ 学生の回答を見ると、6割以上が福祉の仕事をする意欲が高まった（5段階評価の4以上）と回答している。
- ✓ イベント前から福祉の仕事をする意欲が高い参加者の意欲をイベントを通じてさらに高めることができた。
- ✓ また、「福祉以外の仕事をしたいと考えている」と回答した参加者の福祉の仕事に対する意欲を高めることができた。

4-2 イベント後の「福祉」を自らの仕事にしていくこと (就職や転職、副業や複業の一つなど) について、お聞かせいただければ幸いです。(N=65)



(2.6) 事業成果 | ②オンラインゼミナール

4-3 本イベントを通じて、「福祉」を仕事にしていくこと（就職や転職、副業や複業の一つなど）について、何かしらの変化を感じられた方は、その理由をお聞かせください。

(原文ママ、抜粋)

- やってみたいとより強く思うようになりました。自分がいいなと思うような暮らしが、既に日本の一部の地域にはあって、それができるかもしれない、と前向きに思えたからです。
- 今まで自分は漠然と福祉の仕事をしていきたいと考えていましたが、今回のイベントを通して私が福祉の仕事をしたいはっきりとした理由や意義のようなものについて深く考えたことがなかったことに気付かされました。今一度、自分の中の他人事と自分事を見つめ直し、今後どのような活動がしたいのかを考えようとするきっかけとなりました。
- 福祉とは暮らしを支えること、そこにすごく魅力を感じるため。
- 福祉とは様々な角度から語ることができ、福祉職といっても業務内容も対象も多種多様だと思います。福祉とは人間を扱っているため幅があり、とても自由な世界であることを再確認しました。自由な世界の中で自分の好きなことや人やまちを自分なりの福祉の仕事につなげることができたらなと思いました。
- 福祉の仕事に関わると、相手のことを考えるあまり自分のことが疎かになってしまいそうだと感じていましたが、責任についてのお話などからぼんやりですが自分ができることを全てやる必要はないと考え始めました。福祉に関わることへの不安が少しなくなったように感じます。

2. 各事業詳細 (2)裾野拡大事業

(2.6) 事業成果 | インタビューによる成果測定

- ✓ 本事業のイベント参加を機に一部の学生において本事業のイベント参加以外にも意識変容、行動変容が見られた。

Aさん

- 非福祉系学部
- 大学3年生
- トークイベント1回、その他イベントに参加

イベント等の参加を通じた意識変容及び行動変容

- イベントに参加することが、自分の価値観、良いところ、考え方を思い出すきっかけとなっていると感じている。
- 地域活動を通して人と関わるのが好きだと思っており、このまま理学療法士を目指していいのか悩んでいた。
- イベント参加を機に、自分なりの働き方があるのではないかと考えるようになり、理学療法士も諦めずに地域活動も続けられる仕事を見つけていけばいいのだと思えた。
- イベント経由で知った社会福祉法人に興味を持ち、働くなら、こういった法人で働きたいと思えた。

2. 各事業詳細 (2)裾野拡大事業

(2.6) 事業成果 | インタビューによる成果測定

- ✓ 本事業のイベント参加を機に一部の学生において本事業のイベント参加以外にも意識変容、行動変容が見られた。

Bさん

- 非福祉学部
- 大学4年生
- 昨年のゼミナール・トークイベントに参加。今年後、トークイベント、ゼミナール全回参加

イベント等の参加を通じた意識変容及び行動変容

- 面白い人達が福祉を面白くしようとしていることと感じ、自分自身も福祉の道に進みたいと思うようになった。
- 福祉業界に就職予定
- 1年目の配属先として現場を希望。自分の体験として、現場で人と関わらないと見えてこないものがあるということをゼミナールの話を聞いて思った。関わり、ケアという関係をどのように捉えて、自分がどのように関わっていくのかを考えていきたい。

2. 各事業詳細 (2)裾野拡大事業

(2.6) 事業成果 | インタビューによる成果測定

- ✓ 本事業のイベント参加を機に一部の学生において本事業のイベント参加以外にも意識変容、行動変容が見られた。

cさん

- 非福祉学部
- 大学2年生
- トークイベント1回、ゼミナール2回

イベント等の参加を通じた意識変容及び行動変容

- イベント参加を通じて、介護を面白そうと思った。小規模多機能は、一人一人と向き合うところがとても面白そう。利用者に合わせたアクションに至るまでの過程が面白い。
- 理学療法士の資格を取るなら、将来的には、地域や在宅、介護に重なる部分で働きたいと思う。
- 今後については、介護現場の見学を希望している。

2. 各事業詳細 (2)裾野拡大事業

(2.6) 事業成果 | ③マルチメディア展開による周知広報

- ✓ SNS発信・広報の結果は下記の通りである。
- ✓ 投稿数は目標値である200にわずかに届かず、146にとどまった。リーチ数は目標値の600名を超え、995名となった。

■ SNS投稿数とリーチ数

	投稿数	リーチ数 (フォロワー増加数)
目標値	200	600
実績値 (合計)	146	995
note	9	87
Peatix	-	425
Twitter	119	280
Facebook	14	203
ここ記事	1	-
プレリリース	1	-
他メディア	2	-

2. 各事業詳細 (2)裾野拡大事業

(2.6) 事業成果 | ③マルチメディア展開による周知広報

- ✓ SNS発信は、note、Twitter、Facebook等に行い、多くのユーザーに視聴してもらうことができ、介護の魅力をSNS媒体にて届けることができた。

■ Twitter

月	投稿数	インプレッション
8	7	7,634
9	16	12,491
10	36	129,389
11	28	132,823
12	5	1,898
1	0	0
2	13	9,677
3	14	10,401
計	119	304,313

■ Facebook

投稿数	総リーチ	総エンゲージメント
14	1,745	881

■ note

題名	PV
「つながりのデザインってなんだろう？」	320
SOCIAL WORKERS TALK 2021 Vol.1 イベント①	336
JYOUスピノフゼミ Vol.1 山崎健太郎 ゼミ①	278
JYOUスピノフゼミ Vol.2 小笠原舞 ゼミ②	218
JYOUスピノフゼミ Vol.3 大谷明日香 ゼミ③	163
学生企画ゼミ ゼミ④	221
SOCIAL WORKERS TALK 2021 Vol.2 イベント②	193
まちづくりと福祉 ゼミ⑤	147
100まで生きたい? ゼミ⑥	160
合計	2,036

2. 各事業詳細 (2)裾野拡大事業

(2.7) 事業総括

- ✓ 若年層から共感を得やすく、かつ介護・福祉と親和性の高い分野からのアプローチにより、介護・福祉に対する理解・関心が乏しい若年層の興味・関心を高めることができた。
- ✓ 未関心・低関心層への更なるアプローチを行うためには、教育機関等との協働を考えていく必要がある。

①介護・福祉と親和性の高い分野からのアプローチを行うことで未関心・低関心層の関心を高めることができた

- 若年層から共感を得やすい社会トレンド（まちづくり、建築、デザイン、SDGs等）と福祉・介護とを結びつけた対話や講義を実施することで介護・福祉分野への理解・関心が乏しい層を含めた幅広い若年層にアプローチすることができた。
- このような学生の関心があるテーマと福祉を結びつけたアプローチを行った結果、介護・福祉に関心がなかった参加者の興味・関心を高めることができた。

②多様な媒体を用いた情報発信を行うことができた

- note、Twitter、Facebookを始めたとしたSNS等の多様な媒体を用いることで、様々な層に福祉の魅力を届けることができた。
- またマルチメディア展開による周知広報により、福祉・介護分野と触れうる多様な接点を生み出すことができ、その結果としてイベントやゼミナールへの参加を促進させることができた。

③今後、介護・福祉への理解が乏しい層を含めた幅広い層に対するアプローチ方法を考えていく必要がある

- 今年度の事業の実施により、一定の成果をあげることができた。しかし、自主的に参加申し込みをする必要があったため、もともと福祉に興味・関心がある参加者が多く、興味・関心を持っていない層へのアプローチが十分にできなかった。
- より幅広い若年層にアプローチするためには教育機関等との協働を通じた取り組みが必要となる。

1. 介護のしごとと魅力発信等事業

ターゲット別魅力発信事業（若年層向け）

2. 各事業詳細

(1)福祉教育事業

(2)裾野拡大事業

(3)介護の仕事研究セミナー事業

(4)介護就職マッチング事業

3. 全体総括

2. 各事業詳細 (3)介護の仕事研究セミナー事業

(3.1) 事業概要

■ 事業の目的

福祉・介護に関心のある学生に向けて、介護の魅力を発信することで、福祉・介護業界への就職意欲を高める

■ ターゲット

福祉分野に関心がある大学生・専門学校生

■ 実施内容

1. ゲストスピーカーによる出前授業

「暮らしをつくる仕事、暮らしをつくるカイゴ」をテーマに、大学生・専門学校生向けに大学・専門学校の授業内でゲストスピーカーによる講義を実施する。

2. 業界研究セミナー

「暮らしをつくる仕事、暮らしをつくるカイゴ」をテーマに、大学生・専門学校生向けに業界研究ができるオンラインセミナーを実施する。

3. オンデマンド動画等の制作

実施したセミナーの様子をまとめたWeb記事や冊子、ダイジェスト動画を作成する。

■ 成果目標

次ページ以降の直接アウトカム、KPI参照

■ 成果測定の方法

アンケート、インタビュー、参加者数の測定

2. 各事業詳細 (3)介護の仕事研究セミナー事業

(3.2) 事業の要約 | 主要成果

✓ 本事業において以下の成果が得られた。

活動	No	KPI指標	目標	実績	詳細内容
ゲストスピーカーによる出前授業	①	実施校数	4校	8校	
	②	参加人数	のべ200名	686名	
	③	満足度	80%	90.3%	5段階評価で4以上の回答の割合
	④	介護・福祉への関心度合い	80%	83.4%	授業後の介護・福祉への関心が5段階評価で4以上の回答の割合
	⑤	介護・福祉分野への進学・就職意欲	80%	32.0%	授業後の介護・福祉分野への進学・就職意欲が5段階評価中4以上の回答の割合
業界研究セミナー	⑥	参加人数	のべ120名	240名	
	⑦	満足度	80%	100%	5段階評価で4以上の回答の割合
	⑧	介護・福祉への関心度合い	80%	93.1%	セミナー後の介護・福祉への関心が5段階評価で4以上の回答の割合
	⑨	介護・福祉分野への進学・就職意欲	50%	96.6%	セミナー後の介護・福祉分野への進学・就職意欲が5段階評価中4以上の回答の割合
	⑩	就職イベント参加割合	50%	4.2%	セミナー経由で介護・福祉の就職関連イベントに参加した人数
オンデマンド動画等の制作	⑪	PV数	1,000	122	動画の総視聴回数

2. 各事業詳細 (3)介護の仕事研究セミナー事業

(3.3) 実施スケジュール

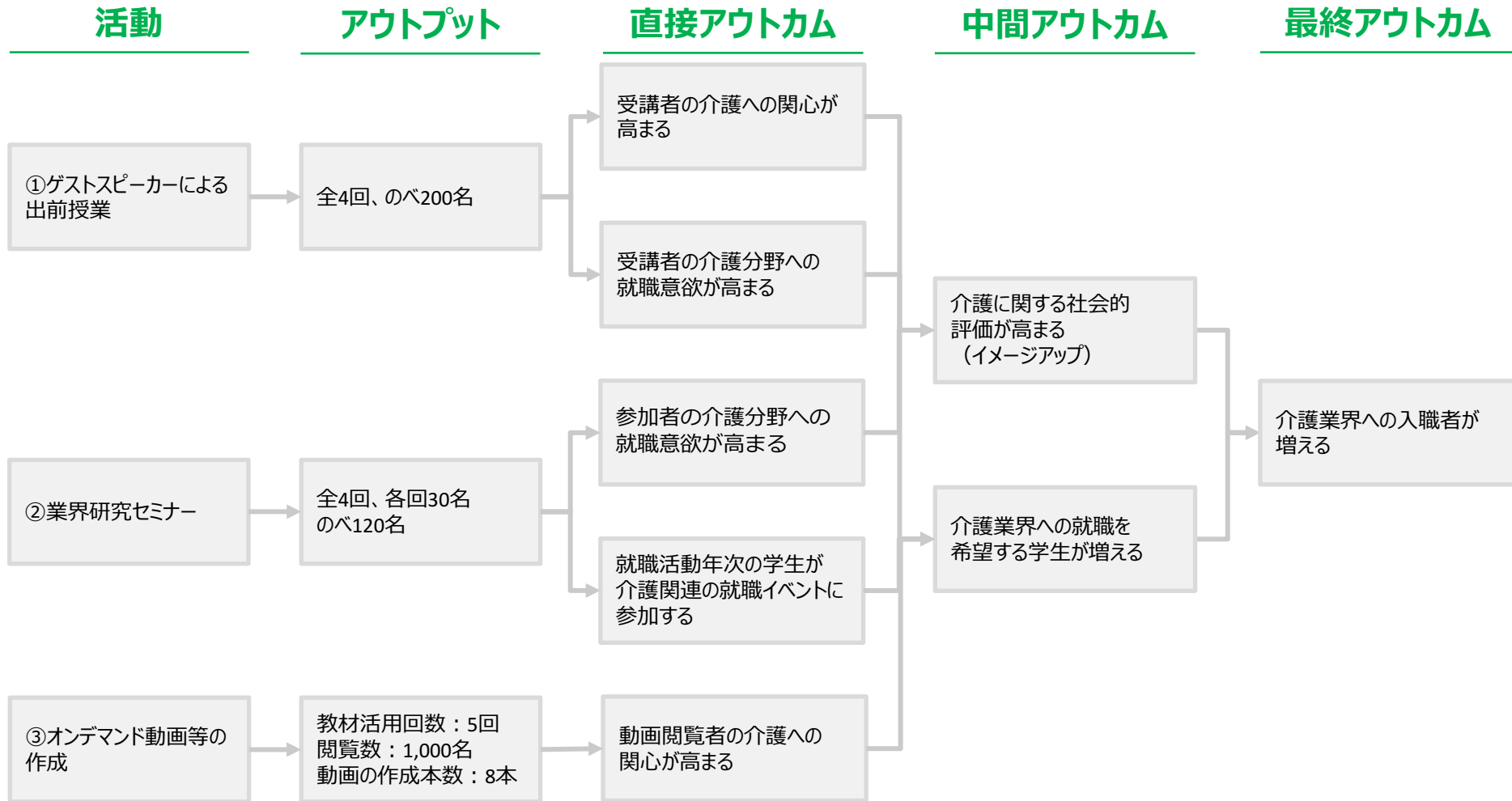
✓ 本事業の実施スケジュールは下記の通りである。

活動	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1. ゲストスピーカーによる出前講義		企画・ ゲストスピーカー依頼				広報	全9回実施					
		講義内容及び日程の調整										
2. 業界研究セミナー		企画・講師依頼					第1回 10/30	第2回 11/21	第3回 12/19	第4回 1/16		
		広報										
3. オンデマンド動画等の作成		サイト制作会社との打ち合わせ									動画公開	
		動画撮影										
4. 企画委員会			第1回 7/1		第2回 9/2,3			第3回 12/22			第4回 3/1,2	

2. 各事業詳細 (3)介護の仕事研究セミナー事業 【ターゲット】 介護に関心を持っている大学生・専門学校生

(3.4) 成果目標 | 活動と成果指標

✓ 直接アウトカムが本事業の今年度を目指すべき成果である。



2. 各事業詳細 (3)介護の仕事研究セミナー事業 (3.4) 成果目標 | KPI指標と測定方法

✓ アウトカムを計測するためにKPI指標とデータの収集法を下記の通り定めた。

活動	ターゲット	アウトカム	KPI指標	目標	データ収集法
ゲストスピーカーによる 出前授業	介護・福祉分野に 関心のある大学生・ 専門学校生	介護への関心が高まる	授業後の福祉・介護に対す る関心が授業前と比較して 高まったかどうか	80%以上 (5段階評価の 4以上の割合)	授業後アンケート
		介護分野への就職意 欲が高まる	授業後の介護分野への就職 意欲が授業前と比較して高 まったかどうか	70%以上 (5段階評価の 4以上の割合)	セミナー後アンケート
介護の就職関連 イベントに参加する (就活年次の学生)		セミナー後の介護分野への就 職意欲がセミナー前と比較し て高まったかどうか	50%以上	就職イベント申込 フォーム	
介護への関心が高 まる		動画視聴後の介護に対する 関心が視聴前と比較して 高まったかどうか	80%以上 (5段階評価の 4以上の割合)	動画視聴後アンケート	
業界研究セミナー					
オンデマンド動画等の 作成					

2. 各事業詳細 (3)介護の仕事研究セミナー事業

(3.5) 実施内容 | ①ゲストスピーカーによる出前授業

■ 実施概要

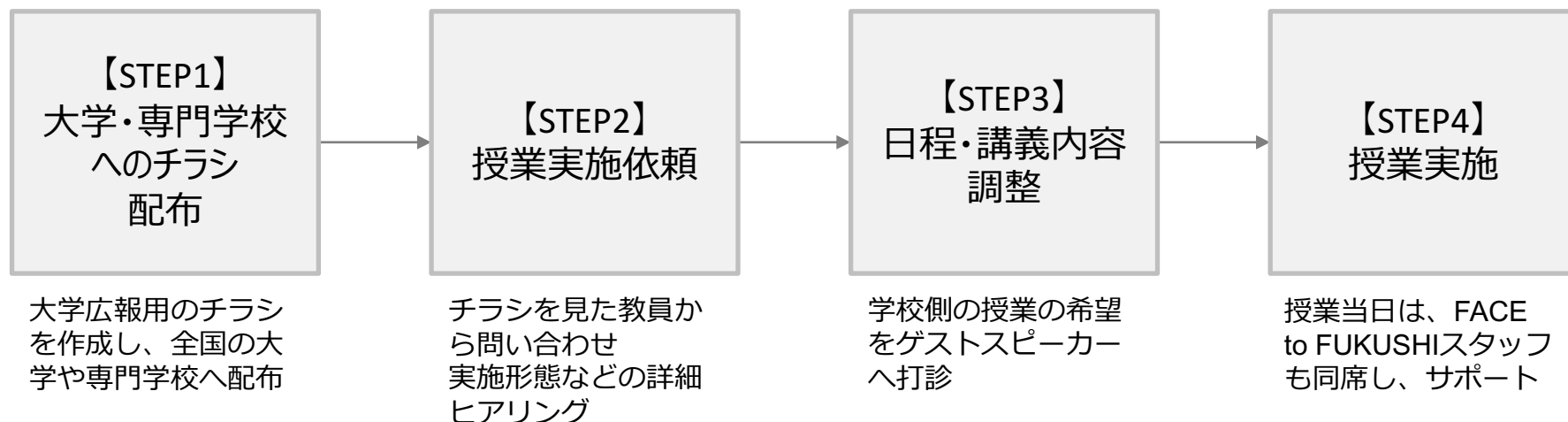
「くらしをつくる仕事、くらしをつくるカイゴ」をテーマに、大学生・専門学校生向けに大学・専門学校の授業内でゲストスピーカーによる講義を実施する。

「授業」という半強制的な場を用意することで、自らイベントに参加申し込みをするほど積極的ではない学生にもアプローチできる。

■ ターゲット

福祉には関心があるが、介護のことはよくわからず関心は低い大学生・専門学校生（主に初年次）

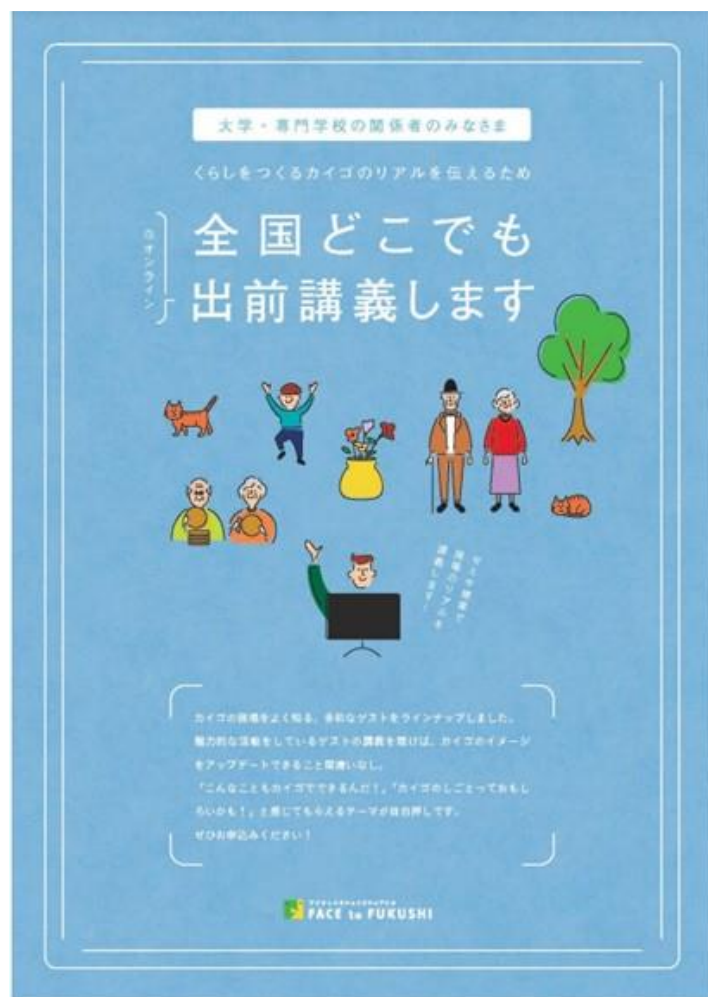
■ 実施の流れ



2. 各事業詳細 (3)介護の仕事研究セミナー事業

(3.5) 実施内容 | ①ゲストスピーカーによる出前授業 | チラシ

- ✓ 福祉に関心のある学生にアプローチすることを目的に、大学・専門学校の関係者に向けて出前講義のチラシを配布した。



【講話のテーマ】

- 代議士になって、暮らしに役立つことを
—活動家のファンタジーの世界—
選挙活動で経験されている「ONLINE」は「ONLINE」、ファンタジーの世界を築くことで、選挙の中で使われる、貯りて選挙後の生活に役立つことを実感しています。選挙活動の楽しさ、実践の様子をお話します。
- 認知まで、自分らしく暮らす
—認知症の予防と実践—
地域に開かれた施設では、多世代との交流が当たり前になり、そこでは「認知症」の心配もありません。「いぬ、とね、いぬのいぬ」をつなぐこと。誰もが付きつく「死」を知ることで、「生きることの大切さ」を伝えます。
- はたらくが暮らしを豊かにする
—高齢者の就業支援—
働く機会を豊かにして、はたらくことで健康の向上につながり、生活の中で生まれる喜びを増やすことができます。はたらくにない意味を込めた活動が、暮らしの豊かさを生み出しています。そんなアイデアをシェアして活動を行います。
- 世代の暮らしが広がる
—世代が交流するコミュニティ—
日よりの暮らしで世代が通ずる「コミュニティ」には、未来を共にする社会が生まれています。高齢者層の暮らしに関わらず、みんなが交流するコミュニティが実現がたくありません。具体的な取り組みについてお話しします。
- 福祉と地域を繋ぐのアイデア
—地域を豊かに、活動—
福祉にだけ頼らない、地域と地域を繋ぐアイデアを話し、思いを届ける活動が実現し入力できる事業が実現しました。話が終わることによって、施設や地域がどう変わったのか、施設と地域の連携のテーマをお話します。

【対象】
活動のすべての大学・専門学校
所属/所属の大学・専門学校、研究の学生に限定するものではありません。

【費用】
この出張講義は、大学や学部の負担はありません。
なお、遠方への移動を伴う場合には、交通費の負担をお願いいたします。

【費用とご留意】

- ・ 授業料や他のアンケートにご協力をお願いいたします。
- ・ 登壇は必ず必ず40分以内の時間を確保してください。
- ・ 登壇前に講師と目撃談話をするため、ご要望に添えない場合もあります。
- ・ オンラインでの実施を想定しておりますが、得意での実施をご希望の場合は事前にご相談ください。

【お申し込みの流れ】

1. 専用フォームからお申し込みください。
2. 事務局からメールにて詳細についてお問い合わせします。
3. 事務局が実施の日程の上、実施可否及び、会場についてお問い合わせします。

【お申し込みフォーム】
https://lpaq.jp/2023/04/09/face-to-fukushi/

上記URLにアクセスいただき、フォームからお申し込みください。

【主催・お問い合わせ】
フェイス面談研究会（事務局）〒100-8302 東京都千代田区千代田1-1-1-1010
代表 / 100-8302 千代田
TEL: 06-4769-4100
WEB: https://lpaq.jp/2023/04/09/face-to-fukushi/

※本プログラムは厚生労働省の事業「若者の活躍の促進（若年層の活躍促進）」として実施いたします。

2. 各事業詳細 (3)介護の仕事研究セミナー事業

(3.5) 実施内容 | ①ゲストスピーカーによる出前授業

- ✓ 8校より実施依頼を受け、9回出前講義を実施し、目標であった実施校4校以上を達成した。
- ✓ 合計686名が受講しており、目標であった受講者数200名以上を達成した。

No	実施校	実施方法	講師	実施日時	受講人数
1	長崎国際大学	オンライン併用	櫛田啓氏（社会福祉法人みねやま福祉会）	2021年 11月11日	5名
2	名古屋市立大学	オンライン併用	櫛田啓氏（社会福祉法人みねやま福祉会）	2021年 11月17日	56名
3	立命館大学	オンライン併用	田中伸弥氏（社会福祉法人ライフの学校）	2021年 11月17日	88名
4	花園大学	対面	河本歩美氏（社会福祉法人京都福祉サービス協会）	2021年 11月22日	15名
5	神戸女学院大学	対面	河本歩美氏（社会福祉法人京都福祉サービス協会）	2021年 11月24日	5名
6	長崎国際大学	オンライン併用	河本歩美氏（社会福祉法人京都福祉サービス協会）	2021年 11月25日	6名
7	関西学院大学	オンライン	田中伸弥氏（社会福祉法人ライフの学校）	2021年 12月13日	280名
8	金城学院大学	オンライン併用	櫛田啓氏（社会福祉法人みねやま福祉会）	2021年 12月16日	61名
9	東海大学	オンライン	田中伸弥氏（社会福祉法人ライフの学校）	2022年 1月7日	170名
合計					686名

2. 各事業詳細 (3)介護の仕事研究セミナー事業 (3.5) 実施内容 | ②業界研究セミナー

■ 実施概要

「くらしをつくる仕事、くらしをつくるカイゴ」をテーマに、大学生・専門学校生向けに業界研究ができるオンラインセミナーを実施する。セミナーを通じて参加学生の介護のイメージをアップデートする。

セミナーに参加した学生の介護分野への就職意欲を高め、次のステップ（就職フェアへの参加、動画配信サイトの視聴）につなげていく。

■ ターゲット

介護分野への就職に関心がある大学生・専門学校生（主に就活年次）

日程	タイトル	講師
10月31日（日） 14:00-16:00	①非日常の暮らしをつくる	NPO法人しゃらく 理事長 小倉譲 氏 社会福祉法人豊悠福祉会 山之口 ゆい 氏
11月21日（日） 14:00-16:00	②日常の暮らしをつくる	社会福祉法人みねやま福祉会 理事 櫛田啓 氏 社会福祉法人京都福祉サービス協会 地域共生社会推進センター代表 河本歩美 氏
12月19日（日） 10:00-12:00	③最後まで、自分らしい 暮らしをつくる	社会福祉法人 愛川舜寿会 常務理事 馬場拓也 氏 介護施設の若手現場職員（リガーレ）
1月16日（日） 13:00-16:00	④教えて先輩！ケアのしごとを選んだ理由	介護施設の若手現場職員

2. 各事業詳細 (3)介護の仕事研究セミナー事業 (3.5) 実施内容 | ②業界研究セミナー | チラシ

✓ 福祉に関心のある学生にアプローチすることを目的に、セミナーのチラシを配布した。

Kaigo Work Seminar

し つかく
ご いくら
と りしを
の の

カ イ ゴ の 業 界 研 究 セ ミ ナ ー

介護の仕事は、目の前の人の暮らしをつくること。それは単に、「高齢者のお世話」という部分的なイメージだけでは語れません。なぜなら介護は、どんな状況でもあきらめず、その人らしさに寄り添い、楽しい人生をサポートできるかけがえのない営みだから。そんな介護の、本質的な魅力を感じとれるセミナーを3ヶ月連続で開催します。

Vol.1 「非日常のくらしをつくる」
2021.10.31 SUN14:00-16:00

Vol.2 「日常のくらしをつくる」
2021.11.21 SUN14:00-16:00

Vol.3 「最後まで、自分らしいくらしをつくる」
2021.12.19 SUN10:00-12:00

FACE to FUKUSHI

セミナー概要 (オンライン開催)

vol.1

「非日常のくらしをつくる」

「非日常」は誰にとっても大変なものです。介護付有料老人ホームやファッションショーという独自の視点で、日々のくらしの中に彩りやワクワクを演出しているゲストが登場。質疑応答をお楽しみください。

2021年10月31日 (日) 14:00-16:00

講師 NPO法人 しゅらく 理事長 小倉 謙
社会福祉法人豊田福祉会 山之内 ゆい

vol.2

「日常のくらしをつくる」

日常って何だろう。多世代が同じ空間で過ごさずが日常もあれば、高齢者になってもはたらくことで、生きがいを感じる日常もあります。それらをサポートするゲストが語る「その人らしい日常」とは?

2021年11月21日 (日) 14:00-16:00

講師 社会福祉法人みねやま福祉会 理事 棚田 啓
社会福祉法人京都福祉サービス協会 地域共生社会推進センター代表 阿本 歩美

vol.3

「最後まで、自分らしいくらしをつくる」

どんな人でも必ず迎えるのは「老の終わり」であり、介護の仕事では迎えてくれるのが「暮ら」です。実際に意取りを経験した現場職員が、エピソードを交えながら、介護の仕事の魅力を語ります。

2021年12月19日 (日) 10:00-12:00

講師 社会福祉法人 雙川祥寿会 高橋 拓也
社会福祉法人リゾール暮らしの駅付樓 若手職員

詳細・申込

<https://kaigo.fzf.or.jp/category/seminar/>
上記URLにアクセスいただき、
参加したい日程のページからお申込みください。
対象：福祉/介護で就職を考えている大学生、専門学校生、
大学1・2年生も参加OKです！

主催・お問い合わせ

カイゴの仕事研究室 (事務局) 一般社団法人FACE to FUKUSHI
〒530-0001 大阪市北区梅田1-3-1-4F-104
MAIL: kaigo@fzf.or.jp TEL: 06-4799-0108
WEB: <https://kaigo.fzf.or.jp/>

※本プログラムは厚生労働省認定事業「介護のしごと魅力向上促進事業 (ターゲット型活動推進型事業 (若手職員向け))」として実施いたします。

2. 各事業詳細 (3)介護の仕事研究セミナー事業 (3.5) 実施内容 | ③オンデマンド動画等の作成

■ 実施概要

- リアルタイムでのセミナー以外でも、介護の魅力を発信できるように本事業のセミナーやその他介護に関するセミナーのオンデマンド動画およびレポートを制作する。
- オンデマンド動画を閲覧することが可能な動画配信サイトを制作する。授業教材としての活用や動画配信サイトの学生への案内を行うために動画配信サイト活用に関するフライヤーを作成し、大学、専門学校の教員向けに周知する。

■ ターゲット

福祉に関心がある大学生、専門学校生
(主に1~3年生)

The screenshot shows a website titled 'カイゴの仕事研究室' (Kaiyoko's Career Research Seminar). The navigation bar includes 'トップ', 'セミナー', 'レポート', 'リクルート', 'ABOUT', 'お知らせ', and 'お問い合わせ'. The main content area displays a grid of video thumbnails for various seminars. Each thumbnail includes a title, a date, and a '観る' (Watch) button. The thumbnails are arranged in three rows and three columns.

Thumbnail Title	Date	Action
教えて先輩！ケアのしごとを選んだ理由	2022.02.21 NEW	観る・働き方
2022.01.25	2022.01.25	観る・働き方
2021.12.19 (日) 10:00-12:00	2021.12.19 (日) 10:00-12:00	暮らしをつくる
2022.01.25	2022.01.25	暮らしをつくる
2021.12.19 (日) 10:00-12:00	2021.12.19 (日) 10:00-12:00	暮らしをつくる
2021.11.21 (日) 14:00-16:00	2021.11.21 (日) 14:00-16:00	暮らしをつくる
2021.12.24	2021.12.24	暮らしをつくる
2021.11.21 (日) 14:00-16:00	2021.11.21 (日) 14:00-16:00	暮らしをつくる
2021.12.24	2021.12.24	暮らしをつくる

(業界研究記事の一部)

2. 各事業詳細 (3)介護の仕事研究セミナー事業

(3.5) 実施内容 | ③オンデマンド動画等の作成 | Webサイトの公開

- ✓ Webサイト (OPEN FUKUSHI) 上で、これまでのイベント (カイゴの業界研究セミナー等) の動画を視聴することが可能である。
- ✓ また、アーカイブ動画の利用申請を受け付けることでWebサイト上でとまらない動画の活用を促進している。



(Webサイト (OPEN FUKUSHI) トップページ)



(利用申請ページ)



(掲載動画一部)

2. 各事業詳細 (3)介護の仕事研究セミナー事業

(3.5) 実施内容 | ③オンデマンド動画等の作成 | 動画配信サイトの制作

- ✓ 介護の魅力を伝えるための媒体として、レポート冊子「介護で働く魅力発信BOOK」を作成し、フクシゴト（福祉の業界研究サイト）会員に送付した。
- ✓ 冊子を通して福祉・介護への興味を促し、動画閲覧へとつなげる。



(冊子一部)



2. 各事業詳細 (3)介護の仕事研究セミナー事業

(3.6) 事業成果 | ①ゲストスピーカーによる出前授業

- ✓ イベント参加者にイベント後アンケートを実施した。
- ✓ アンケート項目は下記の通りである。

アンケート

参加者情報	<ul style="list-style-type: none">• 学年（卒業見込み年）を選択してください。• 本日の出前講義の参加形態を教えてください。• 今の学部・学科を選んだ理由について教えてください。
介護・福祉との関わり	<ul style="list-style-type: none">• あなたと「介護・福祉」との関わりについて、あてはまるものをすべて教えてください（複数回答可）
満足度	<ul style="list-style-type: none">• 出前講義の満足度を教えてください。• 出前講義の満足度の理由、及び印象に残ったエピソードや言葉を教えてください。
講義時間	<ul style="list-style-type: none">• 講師の講義の時間はどうでしたか。
介護・福祉に対する 関心度合い	<ul style="list-style-type: none">• 出前講義前の、「介護・福祉」に対する関心度について、最もあてはまるものを選択してください。• 出前講義後の、「介護・福祉」に対する関心度について、最もあてはまるものを選択してください。• 出前講義を通じて、「介護・福祉」に対する関心度において変化を感じられた方は、その理由をお聞かせください。
介護・福祉業界への 進学・就職意欲	<ul style="list-style-type: none">• 出前講義を受講前の、「介護・福祉」分野への就職意欲について、最もあてはまるものを選択してください。• 出前講義を受講後の、「介護・福祉」分野への就職意欲について、最もあてはまるものを選択してください。• 出前講義を通じて、「介護・福祉」分野への就職意欲において変化を感じられた方は、その理由をお聞かせください。
イベント参加意欲	<ul style="list-style-type: none">• 「介護・福祉」に関連したイベントの参加意欲についてお聞かせください。• どういったイベントに参加を希望されているのかお聞かせください。
	<ul style="list-style-type: none">• ご意見や本日の感想等がございましたら、お聞かせください。

2. 各事業詳細 (3)介護の仕事研究セミナー事業

(3.6) 事業成果 | ①ゲストスピーカーによる出前授業

- ✓ 全9回の授業を通じて、大学1年生、2年生の学生の割合が8割以上を占めている。
- ✓ 実施校ごとに規模及び学生の学年が異なる。依頼校の幅広いニーズに対応できたといえる。

Q4 学年（卒業見込み年）を選択してください。（N=518）

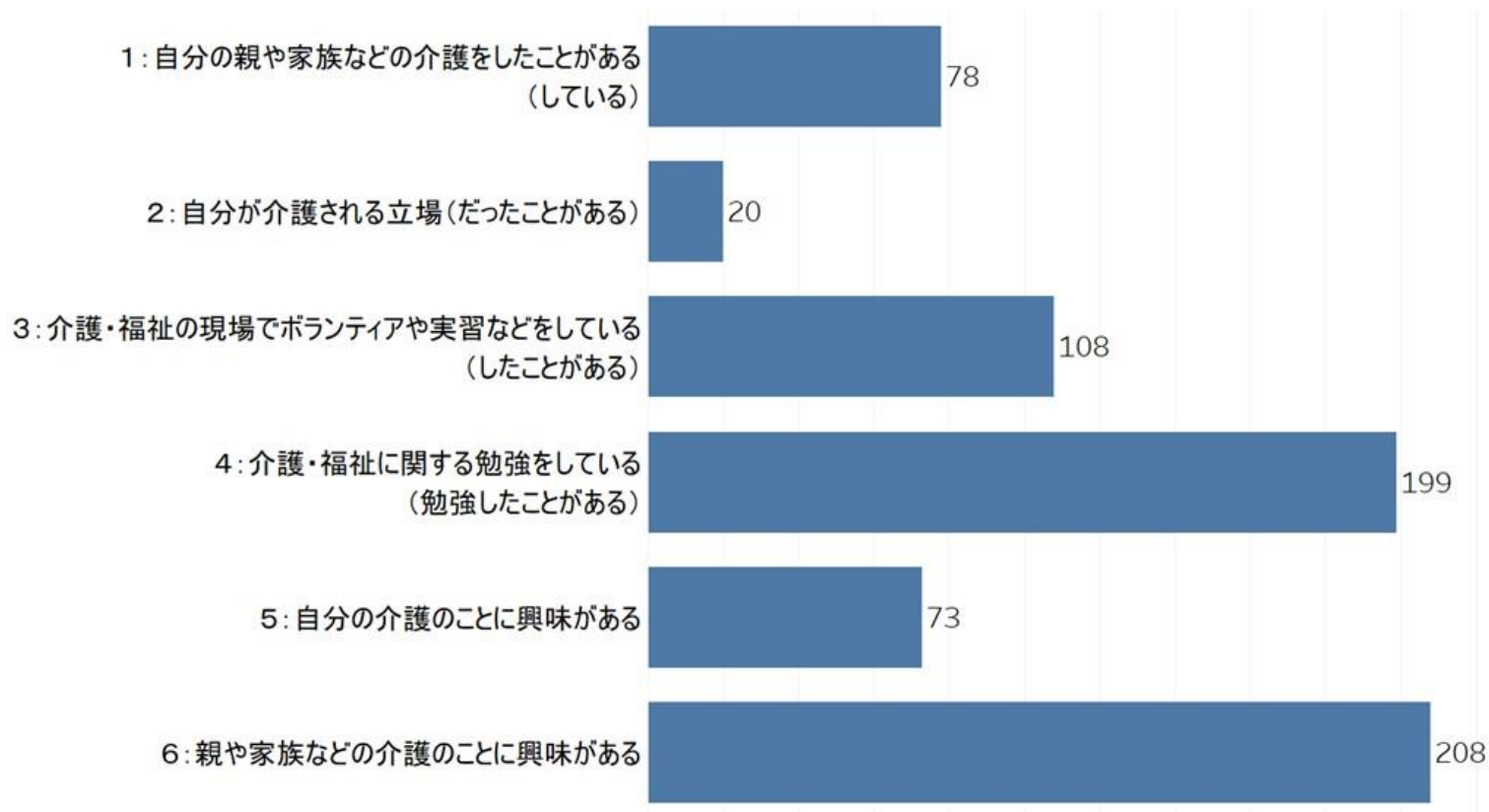


2. 各事業詳細 (3)介護の仕事研究セミナー事業

(3.6) 事業成果 | ①ゲストスピーカーによる出前授業

- ✓ 回答結果より、ほとんどの参加者が「介護・福祉」と何かしらの関わりを持っていることが想定される。

Q4_2 あなたと「介護・福祉」との関わりについて、あてはまるものをすべて教えてください。
(N=518) ※複数回答有

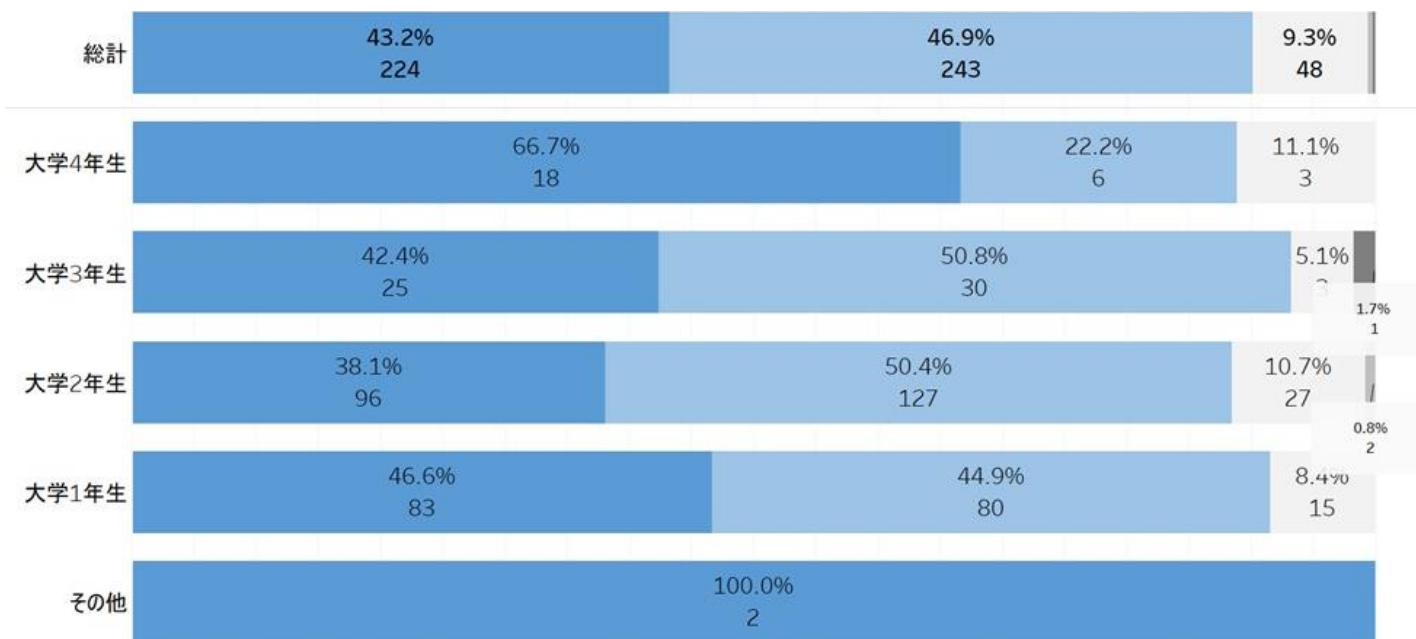


2. 各事業詳細 (3)介護の仕事研究セミナー事業

(3.6) 事業成果 | ①ゲストスピーカーによる出前授業

- ✓ 参加者の9割以上が出前講義に満足している（5段階評価の4以上）と回答している。
- ✓ 学生別に満足度を見ても概ね9割以上が満足していると回答している。

Q5 出前講義の満足度を教えてください。
(N=518)



Q5 出前講義の満足度を教えてください。

- 1: 不満
- 2: やや不満
- 3: 普通
- 4: 満足
- 5: 非常に満足

2. 各事業詳細 (3)介護の仕事研究セミナー事業

(3.6) 事業成果 | ①ゲストスピーカーによる出前授業

Q6 出前講義の満足度の理由、および印象に残ったエピソードや言葉を教えてください。 (原文ママ、抜粋)

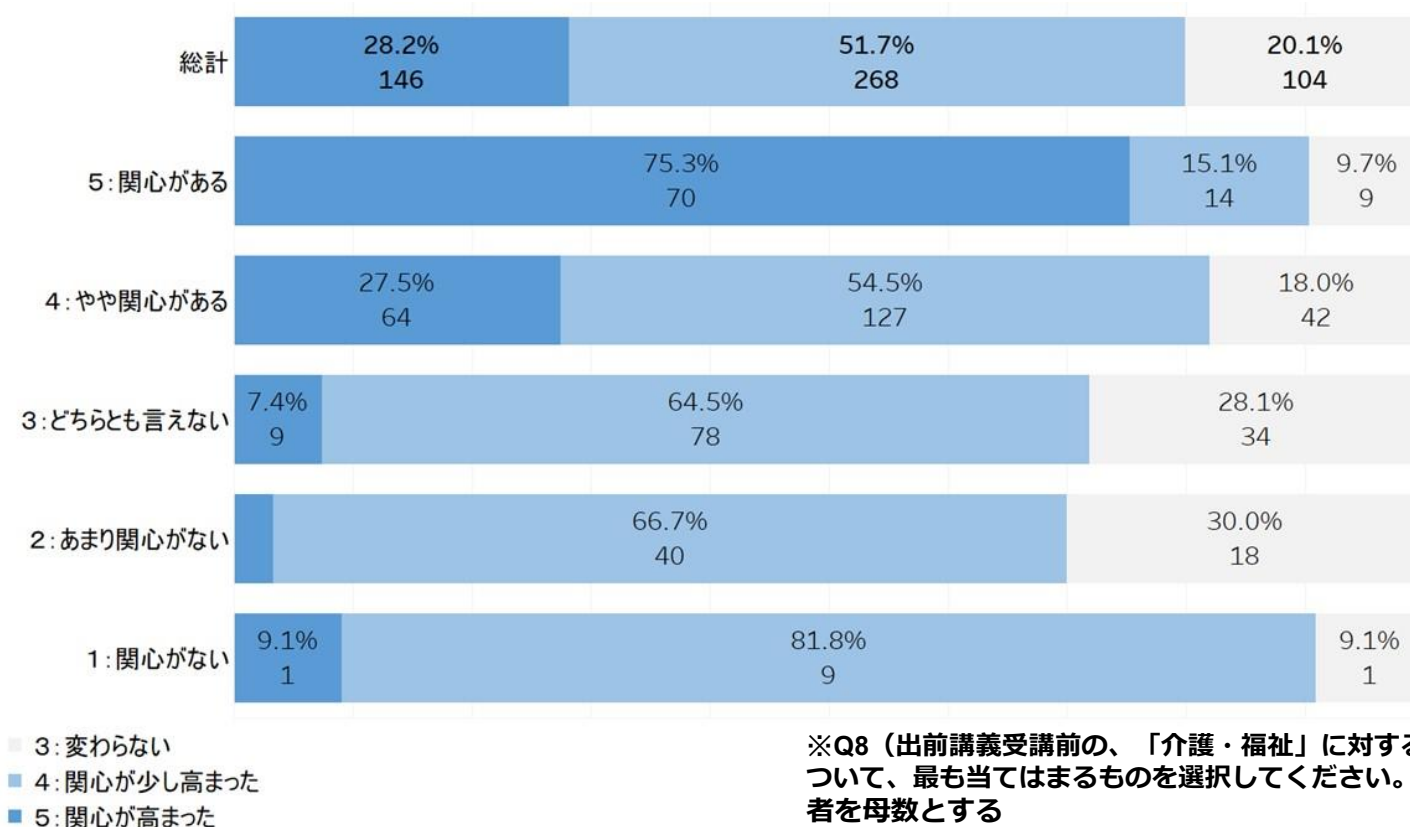
- 高齢者福祉の仕事は体力勝負のイメージがあったが、自分のアイデアを直に活かしていける楽しそうなイメージに変わった。
- ご高齢の方はなんとなく衰えていくばかりなような印象があったのですが、子供たちにあいに行くためにリハビリを頑張ったというエピソードを聞いて、働きかけ次第で可能性が広がるのだなと感じた。
- 施設の方のお話を聞く際、綺麗な部分しか聞いたことがありませんでしたが、しんどい部分、大変な部分を聞くことが出来たので、仕事を具体的にイメージすることに繋がりました。
- ある高齢者の方は帰りたい場所が家ではなくホームに帰りたいと言ったことが印象に残った。それは田中さんたちの思いや努力が実ったことであり、自分も将来そういった誰かのためになるような仕事をしたいと思った。
- ごちゃまぜ福祉については高齢者と子どもたちの交流の様子を見てごちゃまぜ福祉をもっと広めるべきだなと思いました。
- 90歳層の年齢が1番多く占めることになるであろう町でも、視点を変えると危機ではなく、活気ある素晴らしい町になるといった考えが印象に残っています。
- 高齢者が健康に過ごすには、生きがいを持って生活することが大切だということを改めて知ることができました。人々が得意なことを活かした活動を取り入れることで、高齢者の方だけでなく障がい者も自分らしく生活することができるので大切なことだなと思いました。

2. 各事業詳細 (3)介護の仕事研究セミナー事業

(3.6) 事業成果 | ①ゲストスピーカーによる出前授業

- ✓ 出前講義を通じて、参加者の8割近くが介護・福祉に対する関心度合いが高まったと回答している。
- ✓ 出前講義前より介護・福祉に関心を示している参加者ほど関心度合いが高まっている傾向にあるが、関心がないと回答した学生の9割以上の関心度合いを高めることもできた。

Q9 出前講義受講後の、「介護・福祉」に対する関心度について、最も当てはまるものを選択してください。(N=518)



2. 各事業詳細 (3)介護の仕事研究セミナー事業

(3.6) 事業成果 | ①ゲストスピーカーによる出前授業

Q10 出前講義を通じて、「介護・福祉」に対する関心度において変化を感じられた方は、その理由をお聞かせください。(原文ママ、抜粋)

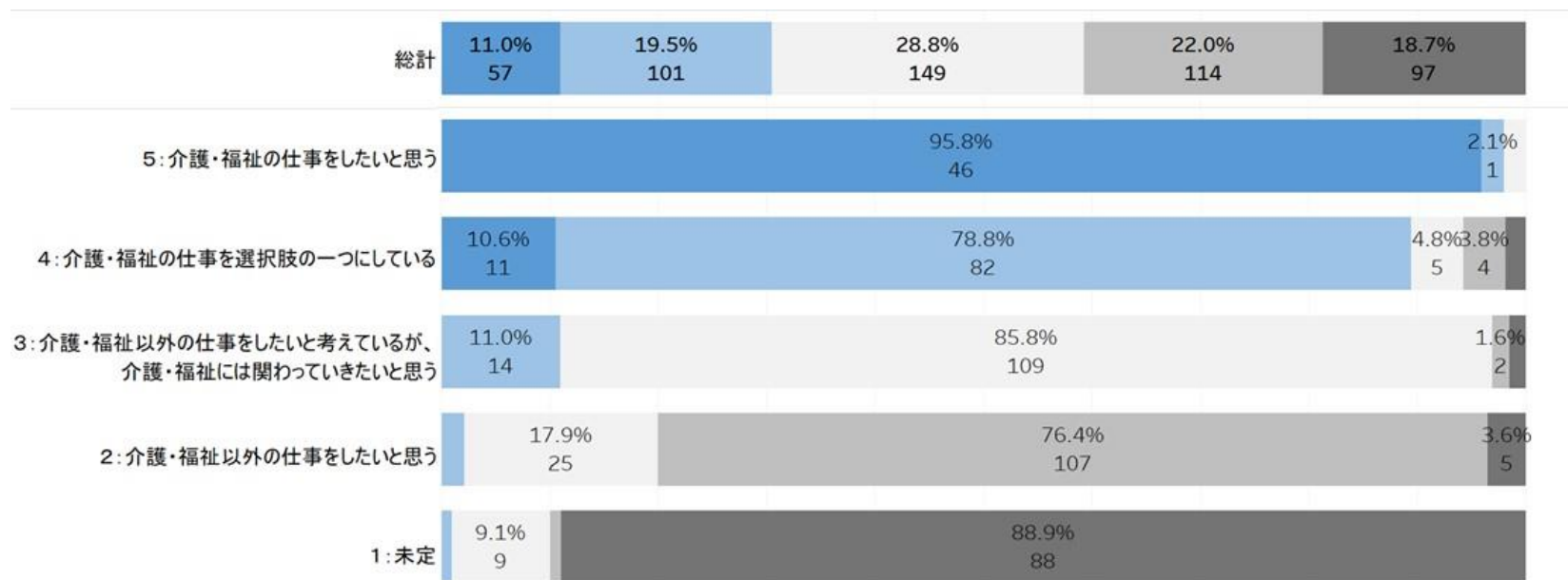
- 介護に関して、新たな形のもの考えられているのだと知ることができたため。
- 自分の今までの介護の認識が少し変わったと感じたから
- 自分にもなにかできることがあるかもしれないと思えるようになったから。
- 大変なことも多いけれど、発想を転換することでやりがいをより多く感じられるのだと思いました。
- 介護する側にも学びがあるのだと知り介護で得るものや困難さについてもっと知りたいと感じたから。
- その人がその人らしく生きるために介護施設がさまざまな工夫をしていくことで介護の魅力は高まるという言葉がすごく心に残ったからです。
- 実際に看取られたい方法と現実とのギャップが生じていることがあるということが、解決方法はないのかと探求したくなったから。
- 地域で介護ということが今まではあまり想像できなかったが、子どもが最期に関わったエピソードから、不可能なことではないと実感したことで、そうした**介護のあり方を広める**ということに興味が高まった。
- 介護というものは、当事者の今の状態を助けるためにあるのではなくより**これからの人生をより輝かせるためにあるのだ**ということを感じたから。
- 元々誰かを支援する仕事に就きたいと思っており、障害の子供たちを焦点としておいていただく**お年寄りなどの自分よりも上の人の支援も学ぶことがたくさんある**など感じたから。

2. 各事業詳細 (3)介護の仕事研究セミナー事業

(3.6) 事業成果 | ①ゲストスピーカーによる出前授業

- ✓ 出前講義前の介護・福祉分野への就職意欲別に回答を見ると、講義前に就職意欲を示している参加者ほど、講義後に就職意欲を示していることが分かる。

Q12 出前講義を受講後の、「介護・福祉」分野への就職意欲について、最も当てはまるものを選択してください。(N=518)



- 1: 未定
- 2: 介護・福祉以外の仕事をしたいと思う
- 3: 介護・福祉以外の仕事をしたいと考えているが、介護・福祉には関わっていききたいと思う
- 4: 介護・福祉の仕事を選択肢の一つにしている
- 5: 介護・福祉の仕事をしたと思う

※Q11 (出前講義を受講前の、「介護・福祉」分野への就職意欲について、最も当てはまるものを選択してください。)の回答者を母数とする

(3.6) 事業成果 | ①ゲストスピーカーによる出前授業

Q13 出前講義を通じて、「介護・福祉」分野への就職意欲において変化を感じられた方は、その理由をお聞かせください。（原文ママ、抜粋）

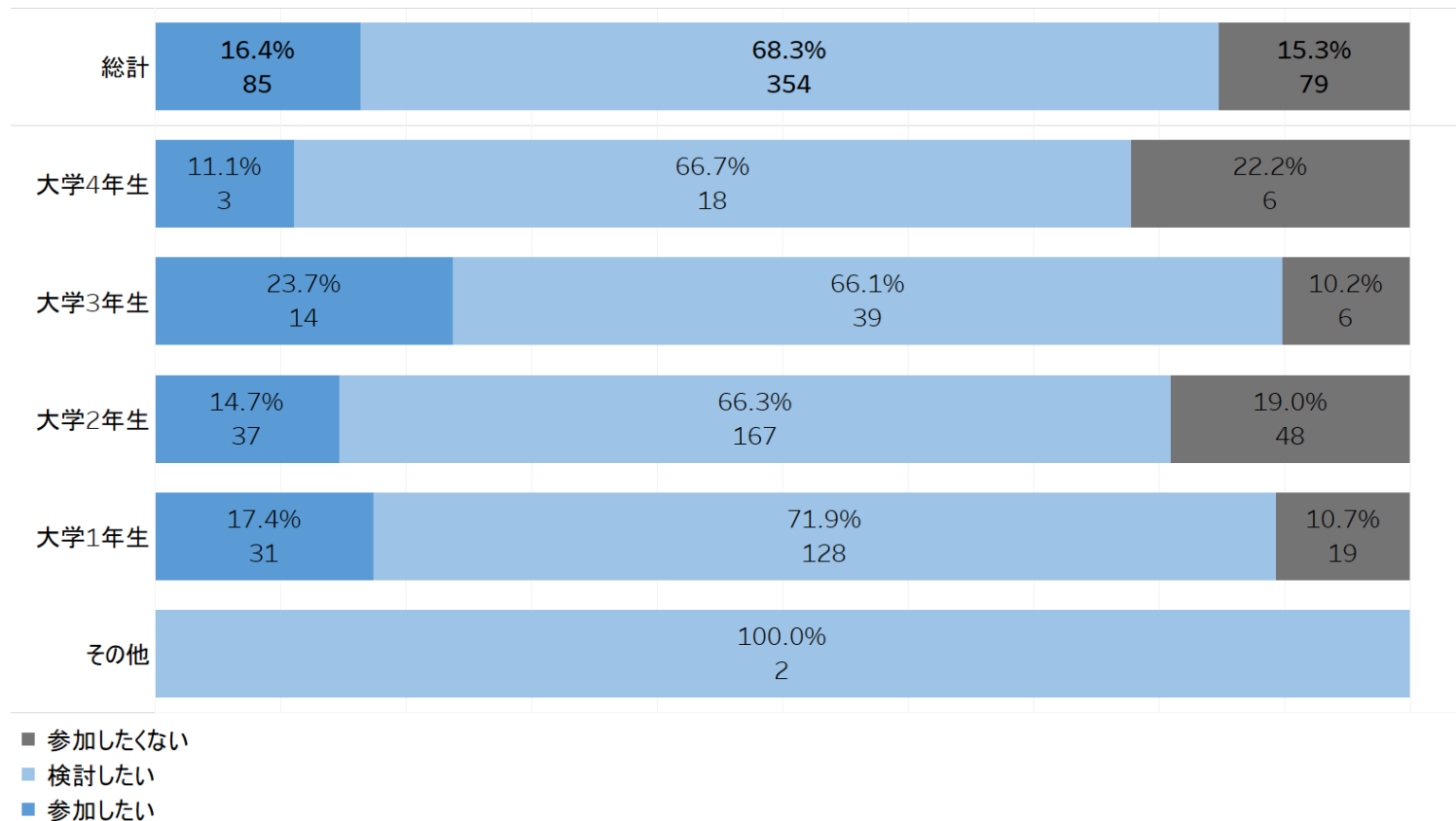
- 人の心に寄り添うことの魅力を得たから。
- 講義を受けて介護内容をわずかではあるが知り、知識のない家族が介護を行うことは不可能に近いと感じた。だからこそ介護の仕事があるのだと**介護・福祉という分野の仕事の存在意義を強く感じ**ため。
- 介護はしんどい汚い仕事しかないという**イメージが変わった**から。
- 仕事の内容などを詳しく知れて、このような人に寄り添った仕事をしたいと感じた。
- **人が生ききる姿を見られるのは素敵**だなと感じたから。
- 介護は人生そのものだし、一人一人人生があることを知れたので、そのような人たちを支える仕事をしたいと思ったから
- 話の内容から、**今の福祉に必要なものを考え、その答えがビジネスにも繋がると感じたので、それを仕事にしたい**と思った。
- 今回の話を聞き、**介護や福祉の重要性をより感じる**ことができたから。
- 福祉職の中でも、介護職にはあまり興味がなかったですが、**やりがいもあるのかも**と今日の講義を聞いて思いました。

2. 各事業詳細 (3)介護の仕事研究セミナー事業

(3.6) 事業成果 | ①ゲストスピーカーによる出前授業

- ✓ 参加者の8割以上が介護・福祉に関連したイベントへの参加を前向きに考えている（参加したい・検討したいと回答）ことが分かる。
- ✓ 学年別に見ると、大学3年生が最もイベント参加を前向きに考えていることが分かる。

Q14 「介護・福祉」に関連したイベントの参加意欲をお聞かせください。
(N=518)

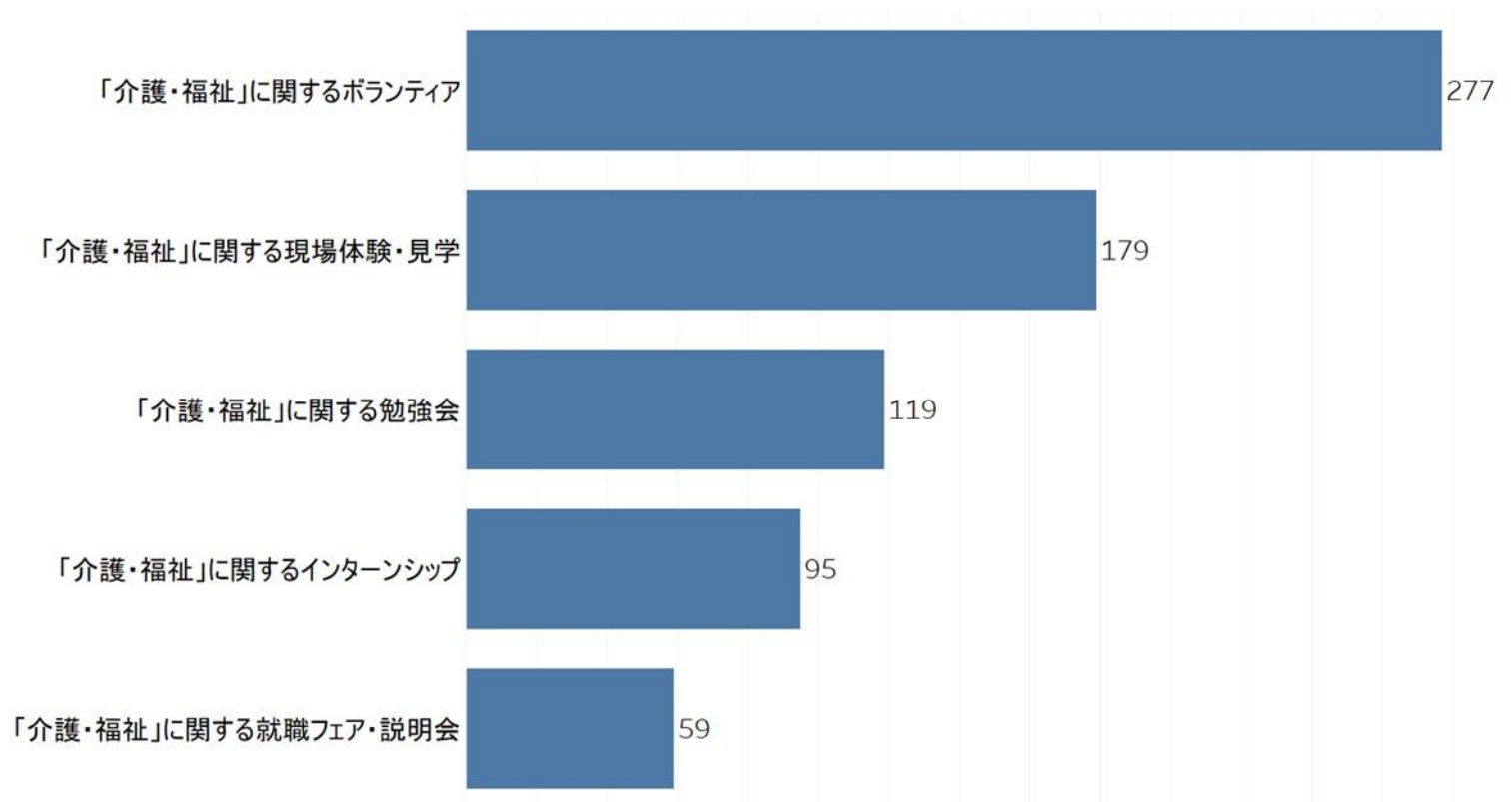


2. 各事業詳細 (3)介護の仕事研究セミナー事業

(3.6) 事業成果 | ①ゲストスピーカーによる出前授業

- ✓ 「介護・福祉」に関するボランティアへの参加を希望しているという回答が最も多かった。次いで、現場体験・見学の参加希望が多かった。
- ✓ 実際の現場を体験できるイベントの需要が高いと考えられる。

Q15 どういったイベントに参加を希望されているのかお聞かせください。(N=518) ※重複回答有



2. 各事業詳細 (3)介護の仕事研究セミナー事業

(3.6) 事業成果 | ②業界研究セミナー | カイゴの仕事研究セミナー

- ✓ セミナー後にアンケートを実施した。
- ✓ アンケート項目は下記の通りである。

アンケート

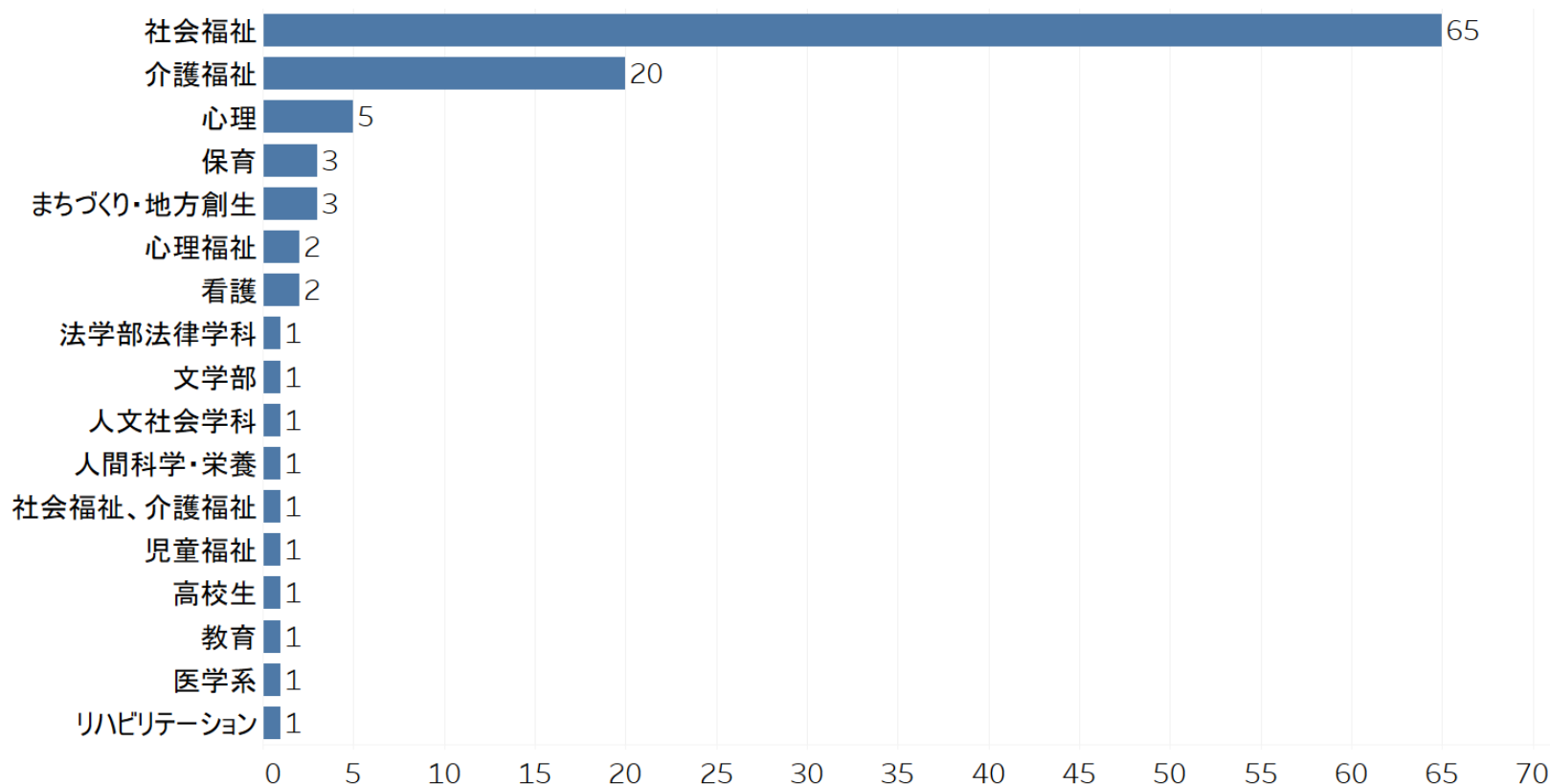
参加者情報	<ul style="list-style-type: none">・ 参加したセミナー名を教えてください。・ お名前を教えてください。・ 学校名を教えてください。・ 学部学科（ジャンル）を教えてください。・ 学年（卒業見込み年）を選択してください。
介護・福祉との関わり	<ul style="list-style-type: none">・ あなたと「介護・福祉」との関わりについて、あてはまるものをすべて教えてください（複数回答可）
セミナー参加理由	<ul style="list-style-type: none">・ セミナーに参加した理由についてお聞かせください。
満足度	<ul style="list-style-type: none">・ セミナーの満足度を教えてください。・ セミナーの満足度の理由、および印象に残ったエピソードや言葉を教えてください。
介護・福祉に対する関心度合い	<ul style="list-style-type: none">・ 本セミナー受講前の、「介護・福祉」に対する関心度について、最もあてはまるものを選択してください。・ 本セミナー受講後の、「介護・福祉」に対する関心度について、最もあてはまるものを選択してください。・ 本セミナーを通じて、「介護・福祉」に対する関心度において変化を感じられた方は、その理由をお聞かせください。
介護・福祉業界への進学・就職意欲	<ul style="list-style-type: none">・ 本セミナーを受講前の、「介護・福祉」分野への就職意欲について、最もあてはまるものを選択してください。・ 本セミナーを受講後の、「介護・福祉」分野への就職意欲について、最もあてはまるものを選択してください。・ 本セミナーを通じて、「介護・福祉」分野への就職意欲において変化を感じられた方は、その理由をお聞かせください。
イベント参加意欲	<ul style="list-style-type: none">・ 「介護・福祉」に関連したイベントの参加意欲についてお聞かせください。・ どういったイベントに参加を希望されているのかお聞かせください。
	<ul style="list-style-type: none">・ ご意見や本日の感想等がございましたら、お聞かせください。

2. 各事業詳細 (3)介護の仕事研究セミナー事業

(3.6) 事業成果 | ②業界研究セミナー | カイゴの仕事研究セミナー

- ✓ 福祉・介護を中心に医療や文学、法学と幅広い学部学科の学生が参加していた。

Q4 学部学科（ジャンル）を選択してください。 ※最も近いものを回答ください。（N=110）

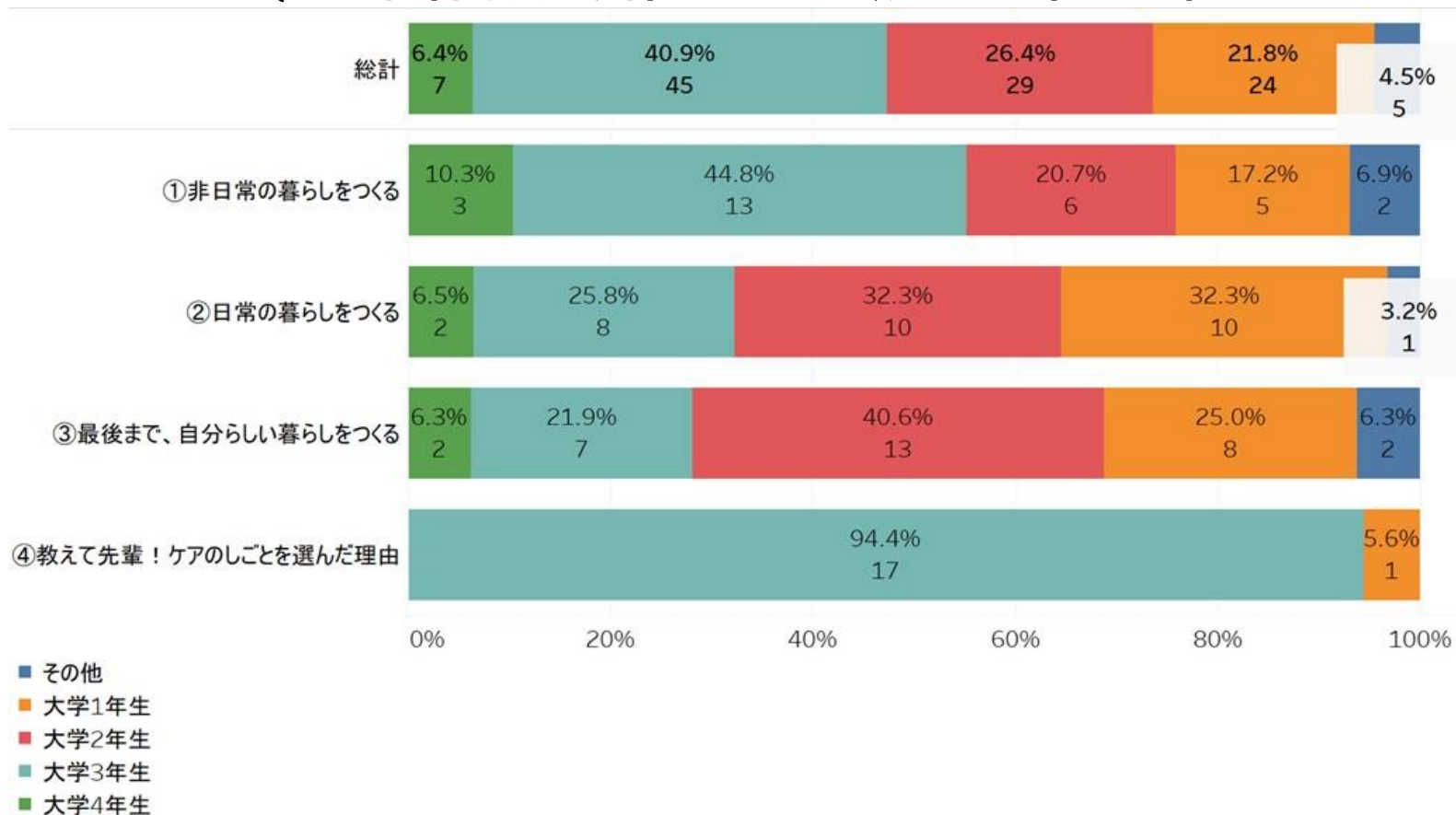


2. 各事業詳細 (3)介護の仕事研究セミナー事業

(3.6) 事業成果 | ②業界研究セミナー | カイゴの仕事研究セミナー

- ✓ 全4回のセミナーに大学1年生、2年生、3年生と幅広い学年の学生が参加していることが分かる。4回目のセミナーに関しては、これから就職活動をはじめ3年生の参加者が多かった。

Q5 学年（卒業見込み年）を選択してください。（N=110）

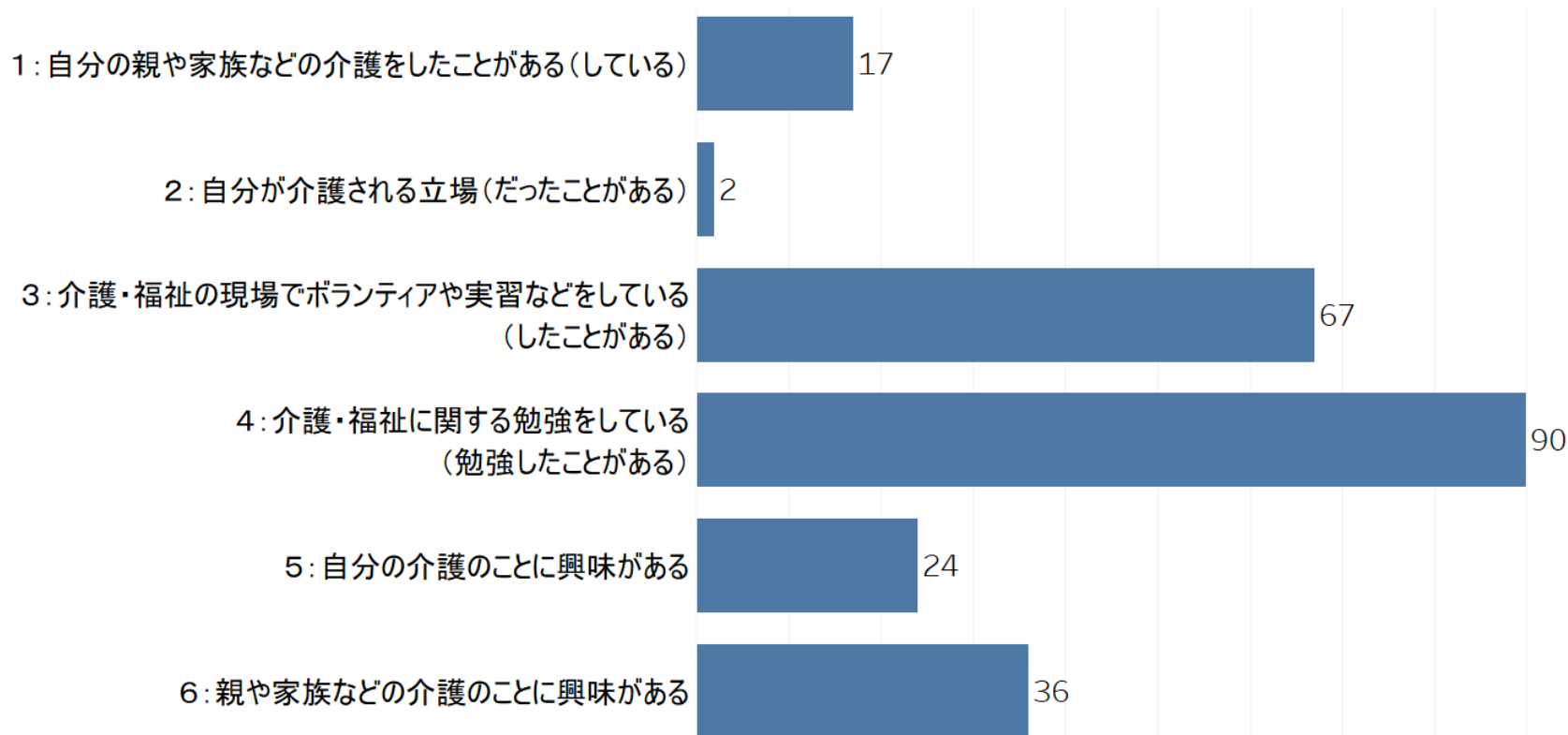


2. 各事業詳細 (3)介護の仕事研究セミナー事業

(3.6) 事業成果 | ②業界研究セミナー | カイゴの仕事研究セミナー

✓ 回答結果より、ほとんどの参加者が「介護・福祉」と何かしらの関わりを持っていることが想定される。

Q6 あなたと「介護・福祉」との関わりについて、あてはまるものをすべて教えてください。
(N=110) ※重複回答有

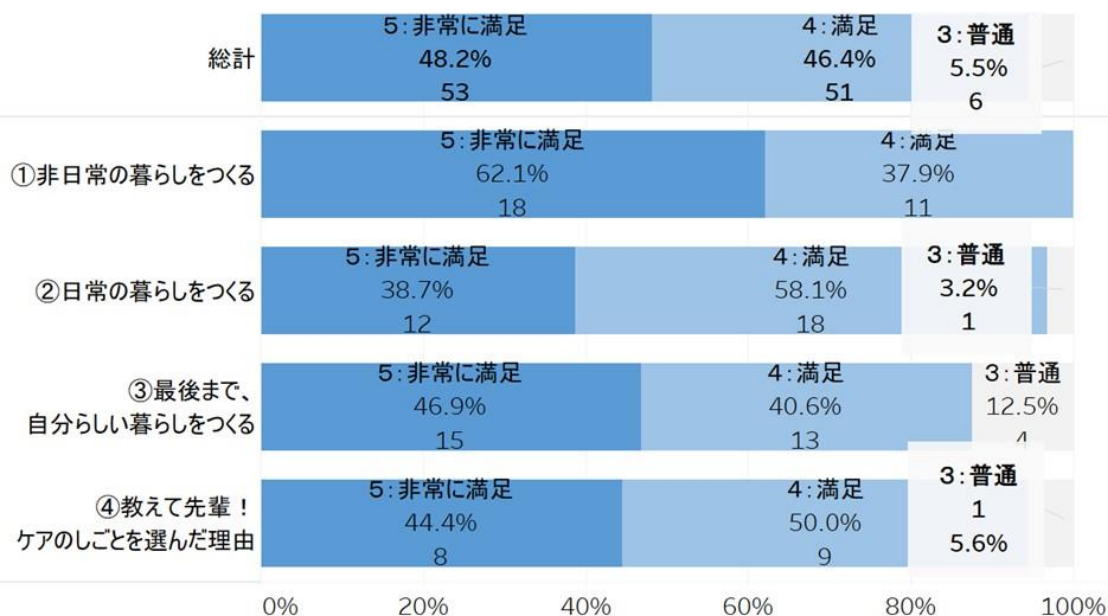


2. 各事業詳細 (3)介護の仕事研究セミナー事業

(3.6) 事業成果 | ②業界研究セミナー | カイゴの仕事研究セミナー

- ✓ 参加者の9割以上がセミナーに満足している（5段階評価の4以上）と回答している。
- ✓ 学年問わず、ほとんどの参加者が満足していることが分かる。

Q8 セミナーの満足度を教えてください。(N=110)



Q9 セミナーの満足度の理由、および印象に残ったエピソードや言葉を教えてください。(原文ママ、抜粋)

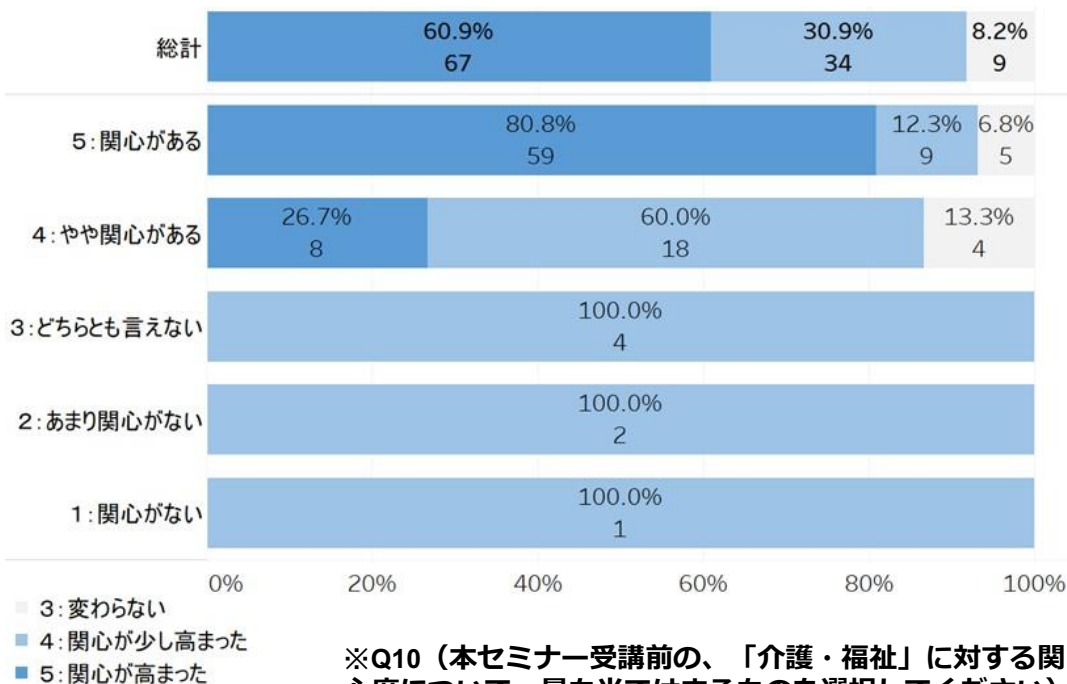
- 山崎さんの建築と人の関係の考え方や空間の意味の持たせ方など改めている「普通」にたいして疑問をもって見ることの大切さを気づかせていただきました。
- 他人と違う視点を持って物事を考えてみると見えてこなかったものが見えるということ。
- 「近くの異業種、同業種」という言葉が印象的でした。より客観的に自分のやっていることを見るため、素人である感覚を大切にすること、外の人と話すことをこれから大事にしていきたいと思いました。
- 他人に対して自分ごとにするのと自分に対しての自分ごとにするとの共通点に「感情が動く」という共通点があることが自分の中で印象に残りました。

2. 各事業詳細 (3)介護の仕事研究セミナー事業

(3.6) 事業成果 | ②業界研究セミナー | カイゴの仕事研究セミナー

- ✓ セミナーを通じて、参加者の9割以上が介護・福祉に対する関心度合いが高まったと回答している。
- ✓ セミナー前より介護・福祉に関心を示している参加者ほど関心度合いが高まっている傾向にあるが、関心がないと回答した学生の関心も少し高めることができた。

Q11 本セミナー受講後の、「介護・福祉」に対する関心度について、最も当てはまるものを選択してください。(N=110)



Q12 本セミナーを通じて、「介護・福祉」に対する関心度において変化を感じられた方は、その理由をお聞かせください。(原文ママ、抜粋)

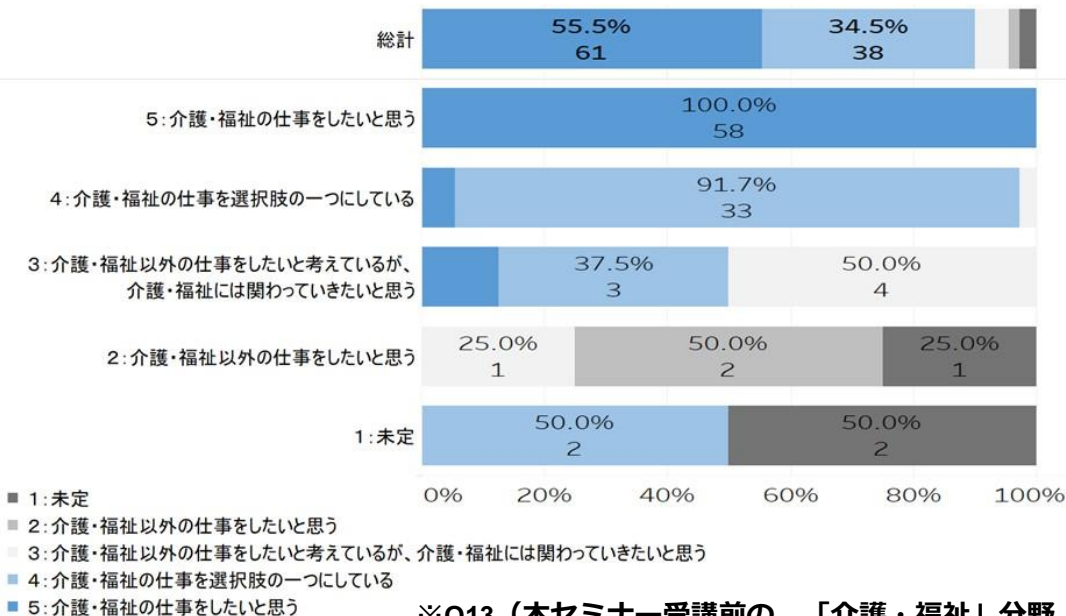
- 人々にとってとても重要な非日常の提供に関わる介護職はとてもやりがいのある仕事だと感じたから。
- 「介護=施設、身体介護」ではなく、「非日常を楽しむための支援もある」という考え方に気付くことができたから。
- 実際に介護をする中で、今あるその人を見るのではなく、その人の「未来」を考えながら関係づくりをすることが大切だということを学ぶことができたため。
- 今まで知らなかった事例や考えに触れて、介護・福祉というものの正解のあり方に決まりはないことを改めて感じたから。

2. 各事業詳細 (3)介護の仕事研究セミナー事業

(3.6) 事業成果 | ②業界研究セミナー | カイゴの仕事研究セミナー

- ✓ セミナー後、参加者の9割（5段階評価の4以上の割合）が介護・福祉分野への就職意欲を示している。
- ✓ セミナー前の介護・福祉分野への就職意欲別に回答を見ると、セミナー前に就職意欲を示している参加者ほど、セミナー後に就職意欲を示していることが分かる。

Q14 本セミナー受講後の、「介護・福祉」分野への就職意欲について、最も当てはまるものを選択してください。（N=110）



※Q13（本セミナー受講前の、「介護・福祉」分野への就職意欲について、最も当てはまるものを選択してください。）の回答者を母数とする

Q15 本セミナーを通じて、「介護・福祉」分野への就職意欲において変化を感じられた方は、その理由をお聞かせください。（原文ママ、抜粋）

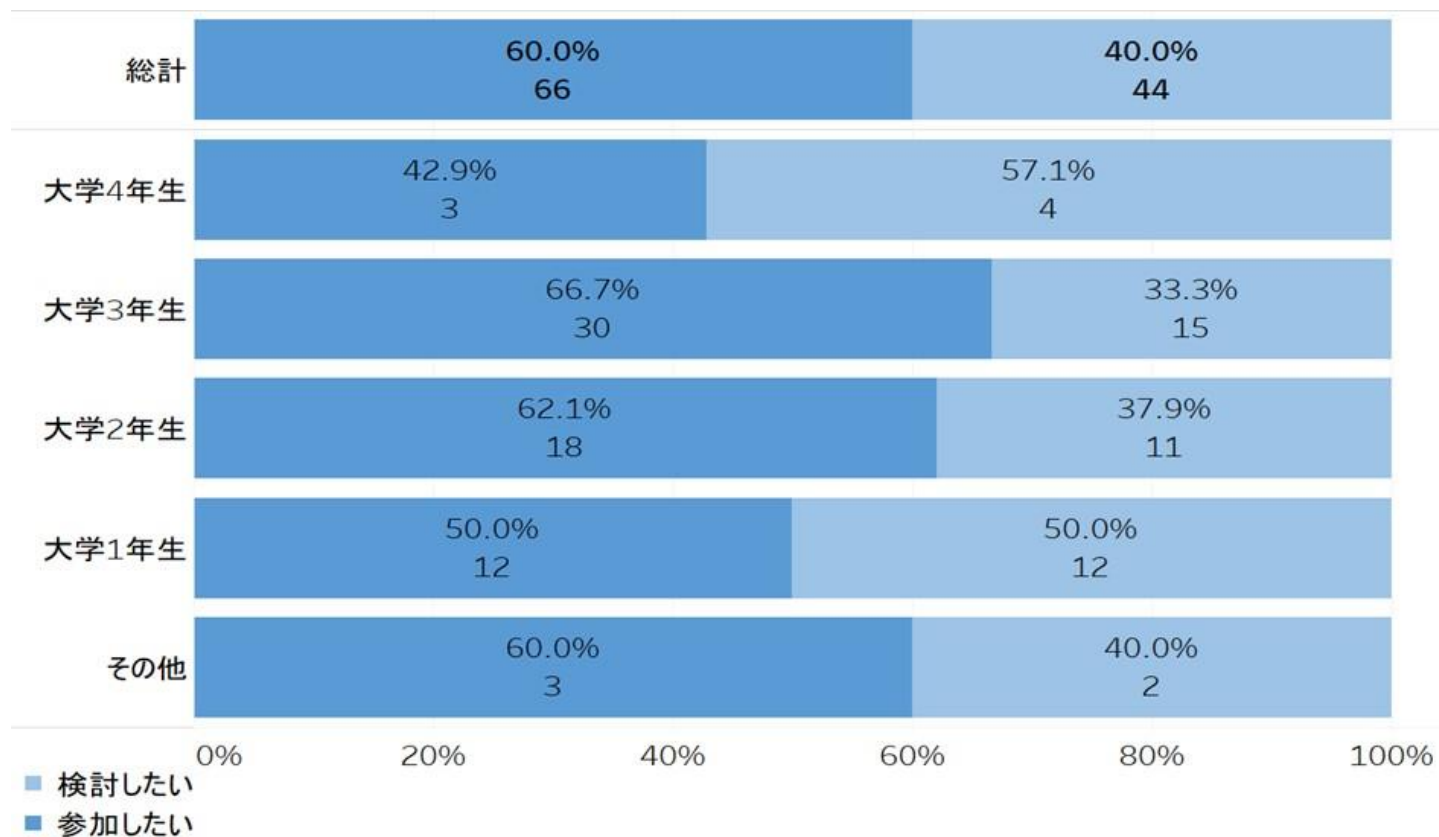
- 目指したい介護福祉士のイメージが少し明確になった。
- 人々にとって非常に重要な「非日常」を要介護者や要支援者に提供することに携わる介護・福祉職はとてもやりがいのある仕事だと実感した。
- 介護や福祉は大変な業界という認識だったため、なるべく違う分野に進もうと考えていたが、まだまだ新しい可能性があるとわかり、これからの介護・福祉のあり方を自分でも考えてみたいと思ったから。
- 介護現場の説明会など行って業界研究をしたことがなかったのですが、今回のセミナーが第一歩となったのでよかったです。

2. 各事業詳細 (3)介護の仕事研究セミナー事業

(3.6) 事業成果 | ②業界研究セミナー | カイゴの仕事研究セミナー

- ✓ 参加者の6割が「介護・福祉」に関連したイベントへの参加を希望していると回答している。
- ✓ 今後、就職活動を控えていることが想定される大学3年生、2年生の学生の「参加したい」という回答が特に多い。

Q16 「介護・福祉」に関連したイベントの参加意欲についてお聞かせください。(N=110)

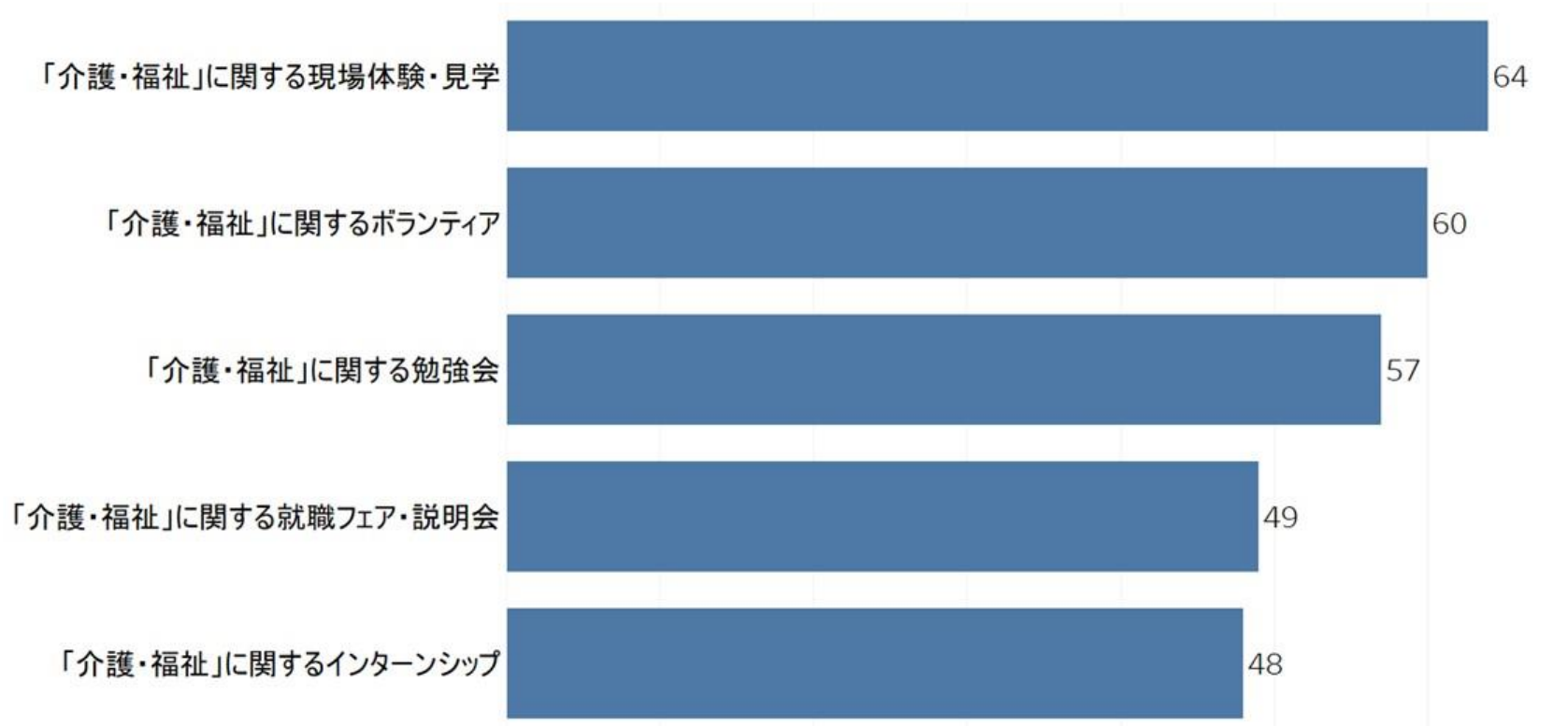


2. 各事業詳細 (3)介護の仕事研究セミナー事業

(3.6) 事業成果 | ②業界研究セミナー | カイゴの仕事研究セミナー

- ✓ 「介護・福祉」に関する現場体験・見学を希望するという回答が最も多く、次いで「介護・福祉」に関するボランティアを希望しているという回答が多かった。
- ✓ 実際の現場を体験できるイベントの需要が高いと考えられる。

Q17 どういったイベントに参加を希望されているのかをお聞かせください。
(N=110) ※複数回答有



2. 各事業詳細 (3)介護の仕事研究セミナー事業

(3.7) 事業総括

- ✓ 介護のリアルを伝えることで、介護・福祉系学生の介護・福祉業界への就職意欲を高めることができた。また出前講義を実施することで、大学や専門学校等の教育機関の学生にもアプローチすることができた。
- ✓ 本事業のセミナーの動画等を制作したことでリアルタイムでのセミナー以外でも介護の魅力を発信することができた。

①介護のリアルを伝えることで、介護・福祉系学生の介護・福祉業界への就職意欲を高めることができた


- 介護・福祉分野に関心を持っている学生を対象にしたセミナーを実施することで、参加学生の介護のイメージをアップデートし、介護・福祉業界への就職意欲を高めることができた。就職意欲が高まった一部の学生は、介護業界の就職イベントへ参加した。
- 出前講義を実施することで、大学や専門学校等の教育機関の学生（介護業界への就職意欲が高くない学生含む）にもアプローチすることができ、参加学生の就職意欲を高めることができた。

②オンデマンド動画等を用いて介護の魅力を発信することができた

- 介護の魅力を発信することができるように本事業のセミナーに関連した動画やレポート、社会福祉法人の紹介動画を制作したことで、リアルタイムでのセミナー以外でも介護の魅力を発信することができた。
- しかし、動画の完成時期が遅かったこともあり、大学、専門学校の教員の活用にはつながらなかった。

③現場体験や事業者との対話を通じて介護の実践イメージを伝えていくことが求められる

- 就職意欲が高まった学生を就職にまでつなげるためには、介護の現場体験等を行い、就職イメージを形成することが必要となってくる。
- また、リアリティショックの発生を防ぐためにも、ダイレクトリクルーティング等の採用手法を用いて介護の実践イメージを伝えていく丁寧なアプローチが求められる。

- 
1. 介護のしごとと魅力発信等事業
ターゲット別魅力発信事業（若年層向け）
 2. **各事業詳細**
 - (1)福祉教育事業
 - (2)裾野拡大事業
 - (3)介護の仕事研究セミナー事業
 - (4)**介護就職マッチング事業**
 3. 全体総括

2. 各事業詳細 (4)介護就職マッチング事業

(4.1) 事業概要

■ 事業の目的

福祉・介護に特化したダイレクト・リクルーティング型の少人数で対話を重視した採用手法を開発し、介護に関心のある学生はもちろんのこと、広く福祉に関心のある学生にもアプローチをすることで、福祉法人への就職までつなげていく。

■ ターゲット

介護・福祉に関心のある大学生・専門学校生

■ 実施内容

1. 学生のデータベース化

介護の仕事研究セミナーに参加した学生等を中心に介護・福祉分野への就職に関心のある学生をデータベース化する。

2. ダイレクトリクルーティング型就職サイトの作成

学生データベースにアクセスできるダイレクト・リクルーティング型就職サイトを作成する。

■ 成果目標

次ページ以降の直接アウトカム、KPI参照

■ 成果測定の方法

アンケート、インタビュー、参加者数の測定

2. 各事業詳細 (4)介護就職マッチング事業 (4.2) 事業成果の要約 | 主要成果

✓ 本事業において以下の成果が得られた。

活動	No	KPI指標	目標	実績	詳細内容
学生のデータベース化	①	登録学生数	100人	451人	
ダイレクト・リクルーティング型就職サイトの作成	②	登録法人数	15法人	35法人	
	③	説明会・選考等参加回数	30回	270回	サイト経由で説明会や選考等につながった人数

2. 各事業詳細 (4)介護就職マッチング事業

(4.3) 実施スケジュール

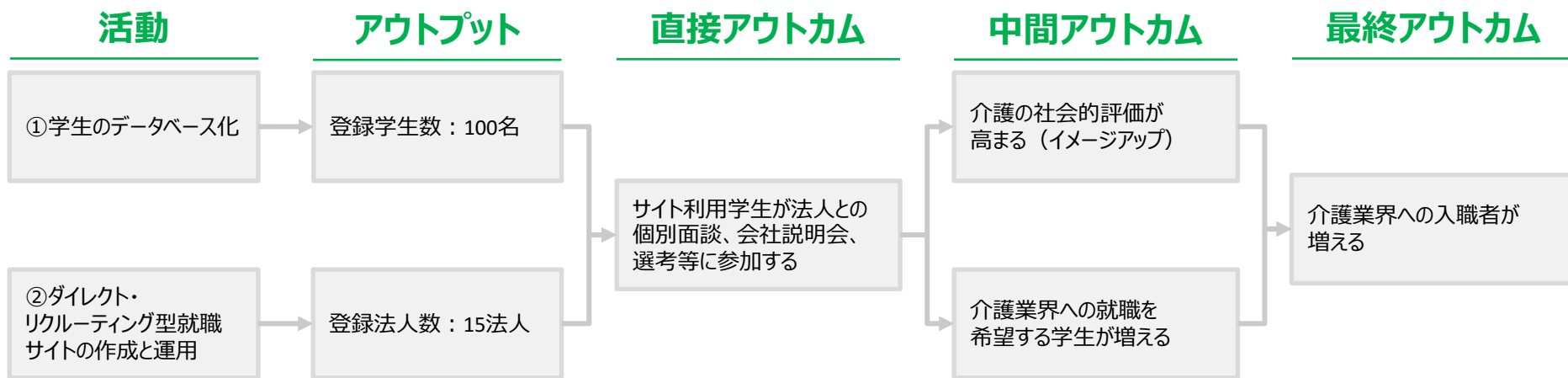
✓ 本事業の実実施スケジュールは下記の通りである。

活動	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1. 学生のデータベース化					セミナー・広報の企画			就職セミナーの実施				
2. ディレクトリクルーティング型 就職サイトの作成	サイトの企画・開発								サイト公開			
					モニター利用法人への説明会			フォローアップ セミナーの実施				
3. 企画委員会			第1回 7/1 ●		第2回 9/2,3 ●			第3回 12/22 ●			第4回 3/1,2 ●	

2. 各事業詳細 (4)介護就職マッチング事業 (4.4) 成果目標 | 活動と成果指標

【ターゲット】 介護に関心を持っている大学生・
専門学校生

✓ 直接アウトカムが本事業の今年度を目指すべき成果である。



2. 各事業詳細 (4)介護就職マッチング事業

(4.4) 成果目標 | KPI指標と測定方法

✓ アウトカムを計測するためにKPI指標とデータの収集法を下記の通り定めた。

活動	ターゲット	アウトカム	KPI指標	目標	データ収集法
学生のデータベース化	介護・福祉分野への就職に関心のある 大学生・ 専門学校生	法人との個別面談、会社説明会、選考等に 参加する	サイトから個別面談、説明会、選考等への移行者数	30名	利用法人からの回答
ダイレクト・リクルーティング型就職サイトの作成					

2. 各事業詳細 (4)介護就職マッチング事業

(4.5) 実施内容 | ①学生のデータベース化 | 就職セミナー

- ✓ 学生向けに就職セミナーを実施し、学生の就職活動のサポートを行う。また、サイトの概要の説明や活用方法の使い方をレクチャーすることで、介護就職マッチングサイト「FUKUROSS（フクロス）」の利用を促す。

自分の希望に合った法人と出会える

介護・福祉業界に特化した
法人からスカウトが届く
オファー型就活サイト
2022.2.1.OPEN

就活をサポートする講座も充実!

オファー型就活サイトの特長

- ① プロフィールや関心のある分野を登録する
- ② 法人から直接オファーが届く
- ③ 気になる法人の個別説明会や面談に参加

自己分析や自己PRの準備がまだ...という方も準備を進められる
オンライン就活セミナーも開催!
就職活動の準備を進めるためのオンラインセミナーも毎月開催します。自己分析や自己PRの準備を効率よく進めたい方は、ぜひご参加ください!

12/20 19:00~20:00	就活本番に備える! 自分の魅力を伝えるES対策講座	まずはココから!	2/7 19:00~20:00	人事が語る、プロフィールは「ここを見ます!」	オファー型PRを目指す!
1/16 14:00~15:40	人事が語る、プロフィールは「ここを見ます!」	オファー型PRを目指す!	2/21 14:00~17:00	事例から学ぶ! 自己PRやプロフィールの書き方改善講座	自己PRを磨こう!
2/1 19:00~20:00	オファー型採用サイトオープン! <キックオフセミナー> サイトの使い方&プロフィール記入のポイント講座	オファー型PRを目指す!	3/11 19:00~20:00	今からでも間に合う! 自己分析&自己PRの書き方講座	まだ間に合う!

会員登録(無料)をすると、サイトやセミナー情報が届きます
フクシゴト 会員登録
<https://fukushigoto.t2f.or.jp/entry>

まずは登録!

一般社団法人 FACE to FUKUSHI ☎06-4799-0108 ✉fukushigoto@t2f.or.jp

日時	タイトル	申込者数	参加者数
2021年 11月29日(月) 19:00~20:00	福祉に特化したオファー型就活サイトが始まる! サイトの特徴と今から準備すべきポイントについて&就活相談会	30	22
2021年 12月20日(月) 19:00~20:00	就活本番に備える! 自分の魅力を伝えるES対策講座	62	50
2022年 1月16日(日) 14:40~15:40	人事が語る、プロフィールは「ここを見ます!」	88	88
2022年 2月1日(火) 19:00~20:00	オファー型採用サイトオープン! <キックオフセミナー> サイトの使い方&プロフィール記入のポイント講座	91	78
2022年 2月7日(月) 19:00~20:00	人事が語る、プロフィールは「ここを見ます!」	69	49
2022年 2月21日(月) 16:00~17:00	事例から学ぶ! 自己PRやプロフィールの書き方改善講座	114	49
2022年 3月11日(金) 19:00~20:00	今からでも間に合う! 自己分析&自己PRの書き方講座	80	60
合計		534	436

2. 各事業詳細 (4)介護就職マッチング事業

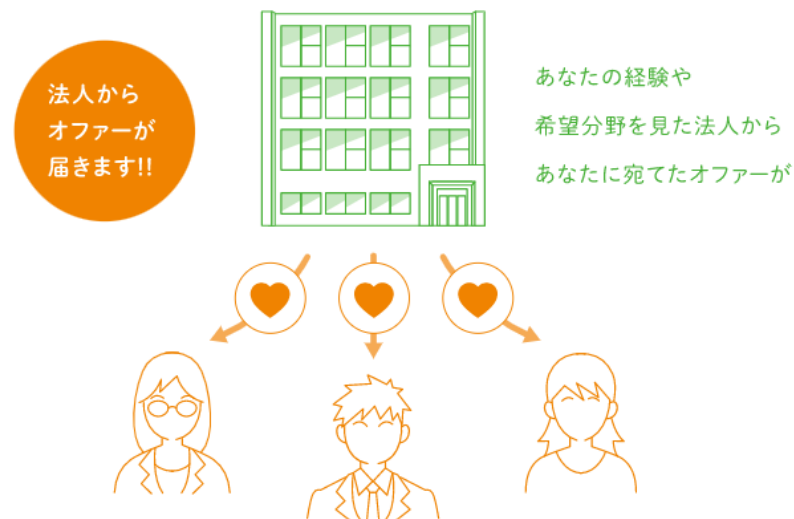
(4.5) 実施内容 | ②ダイレクト・リクルーティング型就職サイトの作成 | サイト概要

■ サイトコンセプト

- 売り手市場である現在の就職市場において、有効なアプローチ手法であると考えられるダイレクト・リクルーティング型の採用を可能とするサイトである。
- 情報を可視化し、学生と法人の適切なマッチングを促す。そして学生一人ひとりに丁寧なアプローチを行うことで、学生の興味関心を高め、就職まで結びつけることを可能とする。



FUKUROSSとは？



FUKUROSSは、介護・福祉業界に特化したオファー型就活サイトです。
あなたの**希望分野や人柄**、これまでの経験を見て、「もっと話を聞いてみたい！」と興味をもった法人から直接オファーが届きます。



このサイトを通じて自分のペースで就活を進めながら自分なりの未来をつくっていく。

一歩踏み出せばワクワクのような、ドキドキのような新しい出逢いと発見が待っています。

2. 各事業詳細 (4)介護就職マッチング事業

(4.5) 実施内容 | ②ダイレクト・リクルーティング型就職サイトの作成 | サイト概要

- ✓ 法人用ページ、学生用ページの一部を掲載している。
- ✓ ホームページ上でプロフィールや希望条件を記載できるようにしており、法人と学生のミスマッチを防ぐ仕様となっている。

【法人用ページ】
(一部のみ)

The screenshot displays the corporate user interface with several key sections:

- オファーの進捗**: A dashboard showing 9/30 available offers, 3 messages, and 10 offers accepted.
- 学生からのアクセス**: A dashboard showing 30 profile views, 48 job listings, and 7 students added to the shortlist.
- アクセスグラフ**: A line graph comparing search results (blue) and profile views (red) from 11/18 to the present.
- プロフィール**: A section for profile management with a 75% completion rate and options for confirmation and editing.
- オファー管理**: A menu for managing offers, including message viewing, shortlist, and viewing resumes.
- 記事管理**: A section for managing articles, including article management and new article creation.
- その他**: A section for other tasks, including notifications from the office, settings, frequently asked questions, contact, and logout.

【学生用ページ】
(一部のみ)

The screenshot displays the student user interface with several key sections:

- 1週間の動き**: A dashboard showing 33 offers acquired, 6 search results, and 13 profile visits.
- プロフィール完成度**: A section for profile completion with a 75% rate and a confirmation button.
- プロフィール編集**: A menu for editing profile information, including basic info, search conditions, and self-PR.
- アクセスグラフ**: A line graph comparing search results (blue) and profile views (red) from 11/18 to the present.
- プロフィール**: A menu for profile management, including profile display, editing basic info, editing search conditions, and editing self-PR.
- オファー管理**: A menu for offer management, including message viewing and a notification for offers from companies.
- 検索**: A search bar for finding jobs.

2. 各事業詳細 (4)介護就職マッチング事業

(4.6) 事業成果

- ✓ アウトプットである登録法人数、登録学生数とアウトカムである学生と法人のマッチング創出数、ともに目標値を上回る結果となった。
- ✓ 学生と法人が**270**回接点を持ち、そのうち選考につながった学生が**84**人、内定につながった学生が**19**人となった。

■ アウトプット

指標	実績	目標
登録法人数	35法人	15法人
登録学生数	451人	100人

■ アウトカム

指標	実績	目標
マッチング創出数	270回	30回

指標	実績
選考につながった学生数	84人

指標	実績
内定につながった学生数	19人

2. 各事業詳細 (4)介護就職マッチング事業

(4.7) 事業総括

- ✓ ディレクトリクルーティング型就職サイトを開発することで社会福祉法人と福祉業界志望の学生のマッチングを成立させることができた。今後は、利用者数増大に対応するためにサイトの機能強化と継続的な利用者フォローを進めていく必要がある。

①社会福祉法人と福祉業界志望の学生のマッチングを成立させることができた

- ディレクトリクルーティング型就職サイト経由で社会福祉法人と福祉業界志望の学生のマッチング（個別面談、法人説明会、選考等への参加）を成立させることができた。一部の学生に関しては、サイト経由で就職にまでつなげることができた。

②介護・福祉業界への就職までつなげられる有効な採用アプローチ及びツールを開発することができた

- ディレクトリクルーティング型就職サイトを開発することで、法人と学生間の就職（採用プラットフォーム）を構築することができた。
- 実際に、サイト経由で法人と学生のマッチングを創出することができており、ディレクトリクルーティングという採用手法と就職サイトの有効性を検証することができたといえる。

③ディレクトリクルーティング型就職サイトの機能強化と利用者支援の継続

- 今後、介護・福祉業界の人材確保においてディレクトリクルーティングという採用手法の重要性は高まっていくことが想定される。そのため、利用法人の拡大に対応するためにサイトの機能のアップデートと継続的な利用者フォローが必要となる。

1. 介護のしごとと魅力発信等事業

ターゲット別魅力発信事業（若年層向け）

2. 各事業詳細

(1)福祉教育事業

(2)裾野拡大事業

(3)介護の仕事研究セミナー事業

(4)介護就職マッチング事業

3. 全体総括

3. 全体総括

事業全体の総括

- ✓ 本事業を通じて、介護・福祉に対する関心度合いが異なる若者に対して多様なアプローチを行うことで、介護の魅力を発信できた。また情報媒体も活用することでイベント参加者だけにとどまらない幅広い層にアプローチできた。
- ✓ 今後は、体験を伴うイベントを通じて介護の実践イメージを伝えていくことが求められる。

① 介護・福祉に対する関心度合いが異なる若者に対して多様なアプローチを行い、介護の魅力を届けられた

- 介護・福祉に対する関心度合いが異なる若者に対して若年層から共感を得やすい切り口からアプローチを行うことで、介護・福祉への魅力付けから関心度合いの向上、就職意欲の向上、社会福祉法人とのマッチング機会の創出までトータルにサポートすることができた。

② SNSや動画サイト等の情報媒体を活用することで幅広い層に介護・福祉の魅力を発信することができた

- イベント情報をweb記事や動画などに変換し、二次利用することでイベント参加者だけにとどまらない幅広い層に介護・福祉の魅力を発信することができた。

③ 体験型イベント等を通じたよりリアルな介護の実践イメージを伝えていくことが求められる

- 今年度は、コロナ禍での開催ということもあり、参加者が実際に体験するイベントは実施することが難しかった。
- しかし、介護のリアルを伝え、魅力を感じてもらうためには実際に現場を体験することが有効であると考えられる。今後、感染症等の非常事態も考慮し、現地とオンラインを組み合わせたハイブリッド型イベントの開催や感染症対策を徹底したインターン等の体験イベントを実施していくことが期待される。